

# SBIホールディングス株式会社 インフォメーション ミーティング

2010年11月19日(金) 大阪

11月24日(水) 東京

11月26日(金) 名古屋

本資料に掲載されている事項は、SBIホールディングス株式会社によるSBIグループの業績、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、SBIグループ各社の発行する株式その他の金融商品への投資の勧誘を目的としたものではありません。

また、当社は、本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分については保証するものではありません。

なお、本資料の内容は予告なしに変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

# 本日のプログラム

**第1部 Key Questionsのご説明**

**第2部 質疑応答（30分程度）**

# 第1部 Key Questions

1. 第2四半期(中間期)の決算はどのように捉えればよいのでしょうか？
2. 新しいコンセプトである「SBIグループのブリリアントカット化」とは？
3. 海外展開の状況はどうなっていますか？
4. 数年後のSBIグループはどうなっていますか？
5. 株価については、どのように考えていますか？

1. 第2四半期(中間期)の決算はどのように捉えればよいのでしょうか？

# SBIホールディングス 半期連結業績推移

(単位:百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	前年同期比 (%)	2010年3月期	
	前上半期 (2009年4~9月)	当上半期 (2010年4~9月)		前下半期 (2009年10~2010年3月)	通期 (2009年4~2010年3月)
売上高	63,153	62,948	▲0.3	61,388	124,541
営業利益	※1、2 3,752	※4 3,605	▲3.9	※1、2、7 ▲320	3,431
経常利益	2,012	※5 695	▲65.4	▲899	1,112
当期純利益	※3 822	※6 686	▲16.6	※8 1,527	2,350

- ※1 2010年3月期を通し、SBIカードにおいて貸倒引当金繰入を15億円計上(うち、12億円は旧SBイコール・クレジットの貸付債権に対するもの)
- ※2 2010年3月期を通し、SBIカードにおいて利息返還損失引当金繰入を8億円計上(うち、5億円は旧SBイコール・クレジットの貸付債権に対するもの)
- ※3 ゼファー社向け貸付金に対して貸倒引当金 15億円を特別損失に計上
- ※4 SBIカードにおいて貸倒引当金繰入を7億円計上(うち、6億円は旧SBイコール・クレジットの貸付債権に対するもの)
- ※5 SBI Korea Holdings において円建借入金の為替差損 6.7億円を計上。
- ※6 ホメオスタイルにおいて、固定資産の減損等により10億円を特別損失に計上
- ※7 KTIC Holdings 前経営者の不正行為による価値毀損に対応した投資損失引当金繰入 26億円(投資額全額)を計上
- ※8 SBIアクサ生命株式の株式譲渡益 8億円、ブロードメディア株式の株式譲渡益 14億円を特別利益に計上

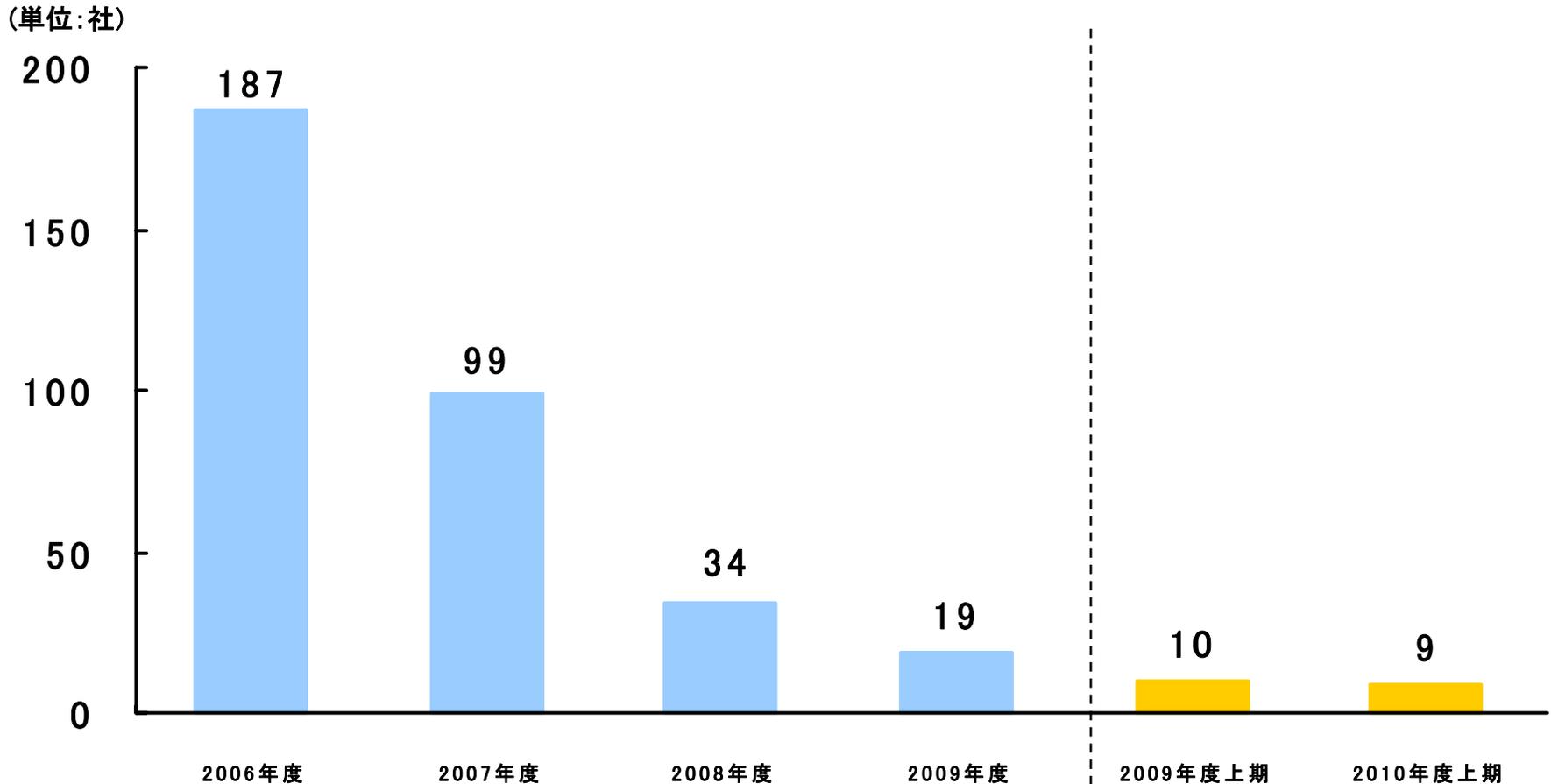
# 連結決算のポイント

- ①事業環境は依然低迷し、  
急激な円高の進行も足元の収益に影響
- ②前期下半期を底に業績は回復基調
- ③主要セグメントはいずれも営業黒字を確保。  
株式市場の影響が大きい部門が前年同期比  
減益となる一方、影響を受けにくい部門の  
成長が利益に貢献
- ④同業他社比、各事業部門とも健闘

①事業環境は依然低迷し、  
急激な円高の進行も足元の収益に影響

# 低迷する国内の新規上場

2009年度の上場会社数は2008年度をさらに下回る19社で着地。2010年度上期は前年同程度の9社であり、国内IPO件数は依然として低水準で推移。



# IPO銘柄、初値低調目立つ

(2010年9月26日 日経ヴェリタス26面より抜粋)

新聞記事

## IPO銘柄の初値状況

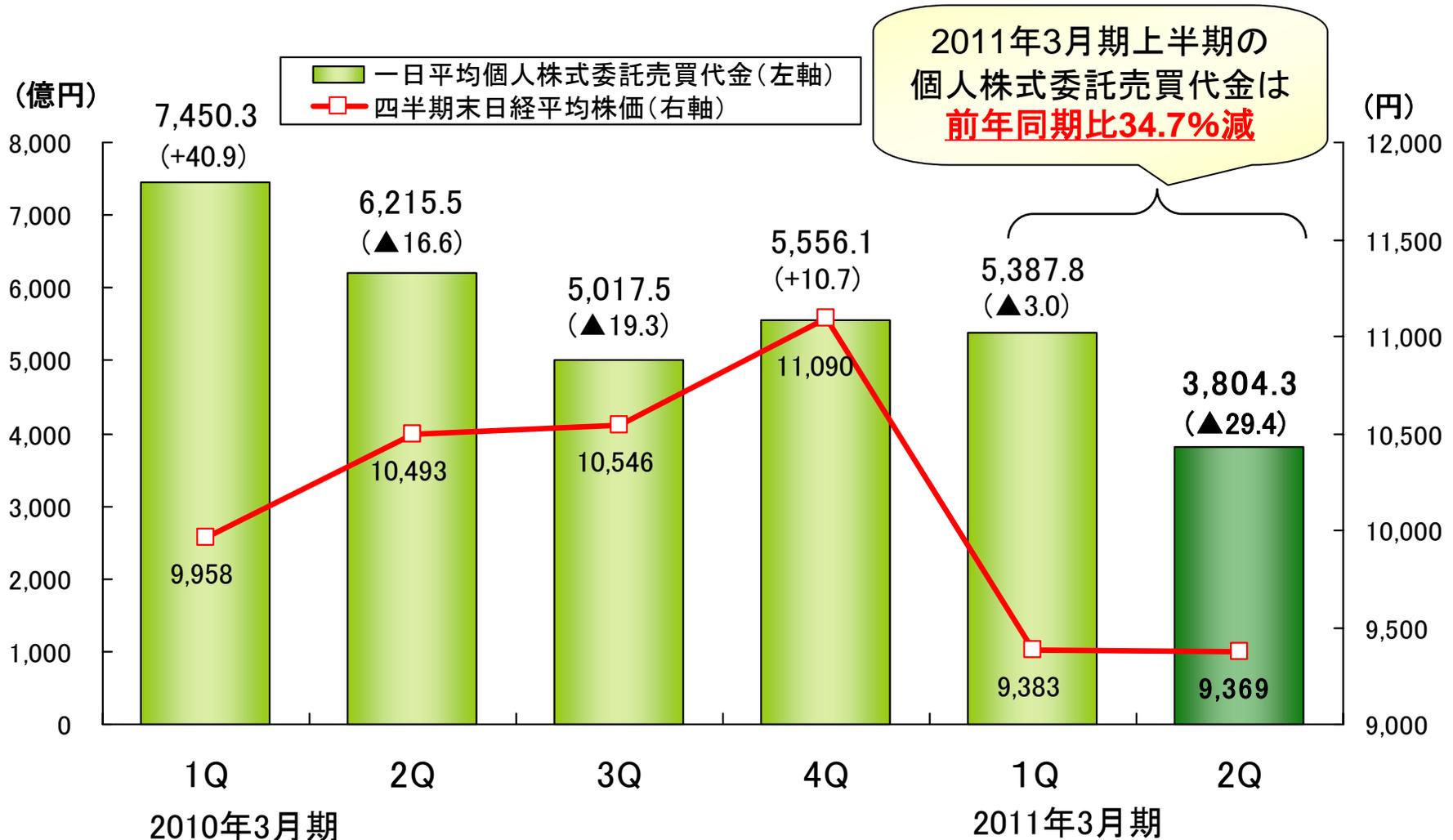
### 公募・売り出し価格との比較

～新規公開(IPO)銘柄の株価がさえない。2010年1～9月に全国の証券取引所に新規規定上場した15社のうち、初値が公募・売り出し(公開価格)価格を上回ったのは全体の47%にあたる7社にとどまり、33%にあたる5社は公開価格を割り込んだ。～

新聞記事

# 個人株式委託売買代金は軟調

## 個人株式委託売買代金四半期推移 (3市場1部2部合計※、括弧内は前四半期比(%))



※東京・大阪・名古屋証券取引所に上場している国内株券(マザーズ、ヘラクレス、セントレックス含む)

## 第2四半期は売買代金が特に低迷

### 新聞記事

「これほど一兆円割れの日が多いのも久しく記憶がない」。株式市場の関係者から最近、こんなぼやきが漏れる。

7~8月で1日の売買代金が薄商いの目安とされる1兆円を割り込んだのは計5日。昨年同時期に1兆円を割った日はゼロで、1兆円割れが半ば“普通”となるのは、小泉元首相の「郵政解散」前で相場が低迷していた2005年前半以来だ。

(8月)日経平均株価が8月24日、約1年4ヶ月ぶりに9000円の節目を割り込んだことも響いた。「評価損を抱えた個人投資家も多く、一段安の警戒から株式売買を敬遠しがち」(中堅証券)との声もある。

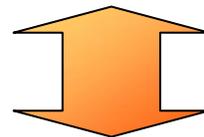
### 新聞記事

# 急激な円高の進行が足元の収益に影響

	2010年3月期 上半期平均 (09年4月～09年9月)	2010年3月期 下半期平均 (09年10月～10年3月)	2011年3月期 上半期平均 (10年4月～10年9月)	前年同期比	前年度 下半期比
米ドル/日本円	95.49円	90.25円	88.94円	6.9%円高	1.5%円高
中国元/日本円	13.98円	13.22円	13.08円	6.4%円高	1.1%円高
韓国ウォン/日本円 (×100)	7.57円	7.81円	7.58円	0.1%円安	2.9%円高

(例)

- New Horizon Fund営業利益貢献額(第2四半期累計) : 約13.4億円  
仮にドル円レートが前年同期から変化しなかった場合: 約14.4億円※  **▲1億円**  
⇒ **営業利益に影響**
- SBI Korea Holdings において、円建借入金の為替差損 **6.7億円**を計上。  
⇒ **経常利益に影響**



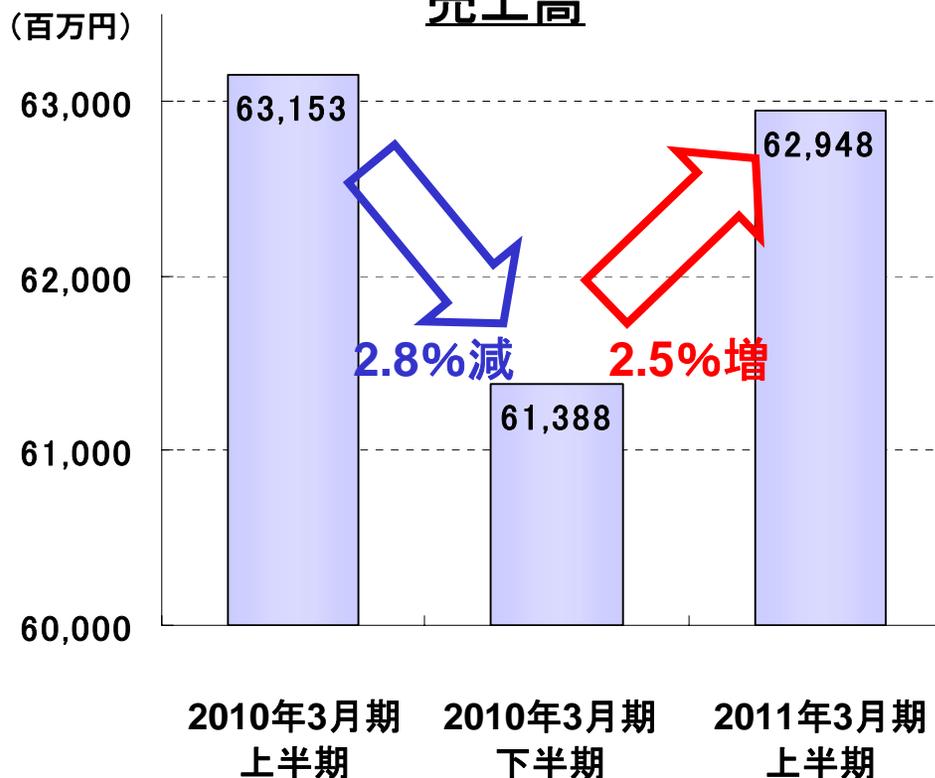
**他方で、円高により海外投資コストは大幅に低減**

## ②前期下半期を底に業績は回復基調

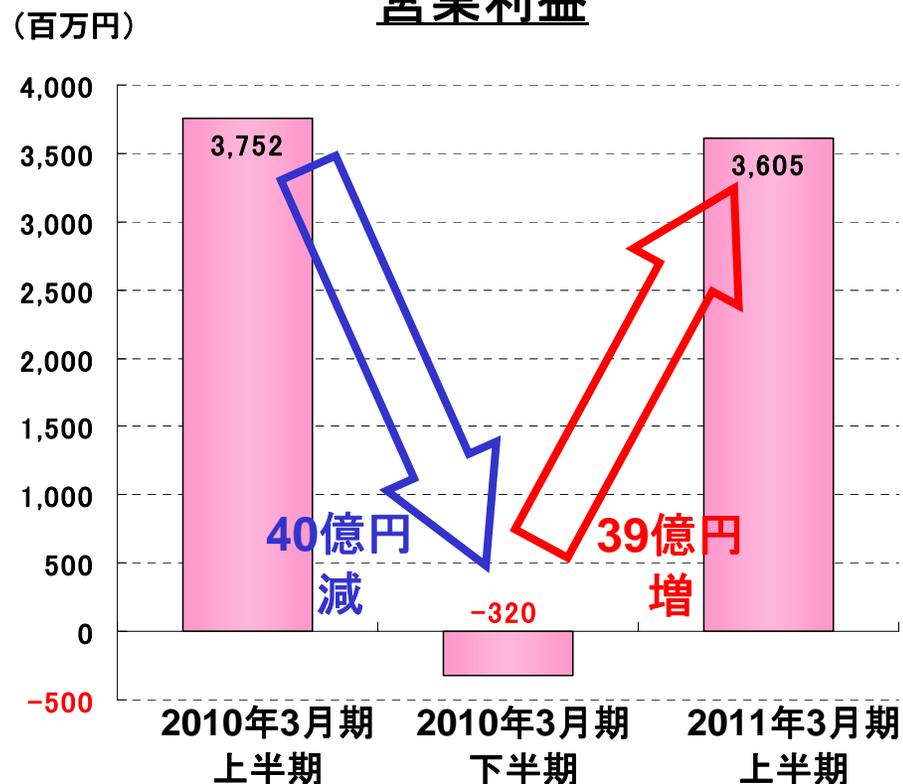
# SBIホールディングス 半期連結業績推移

2010年3月期下半期を底に業績は回復基調

## 売上高

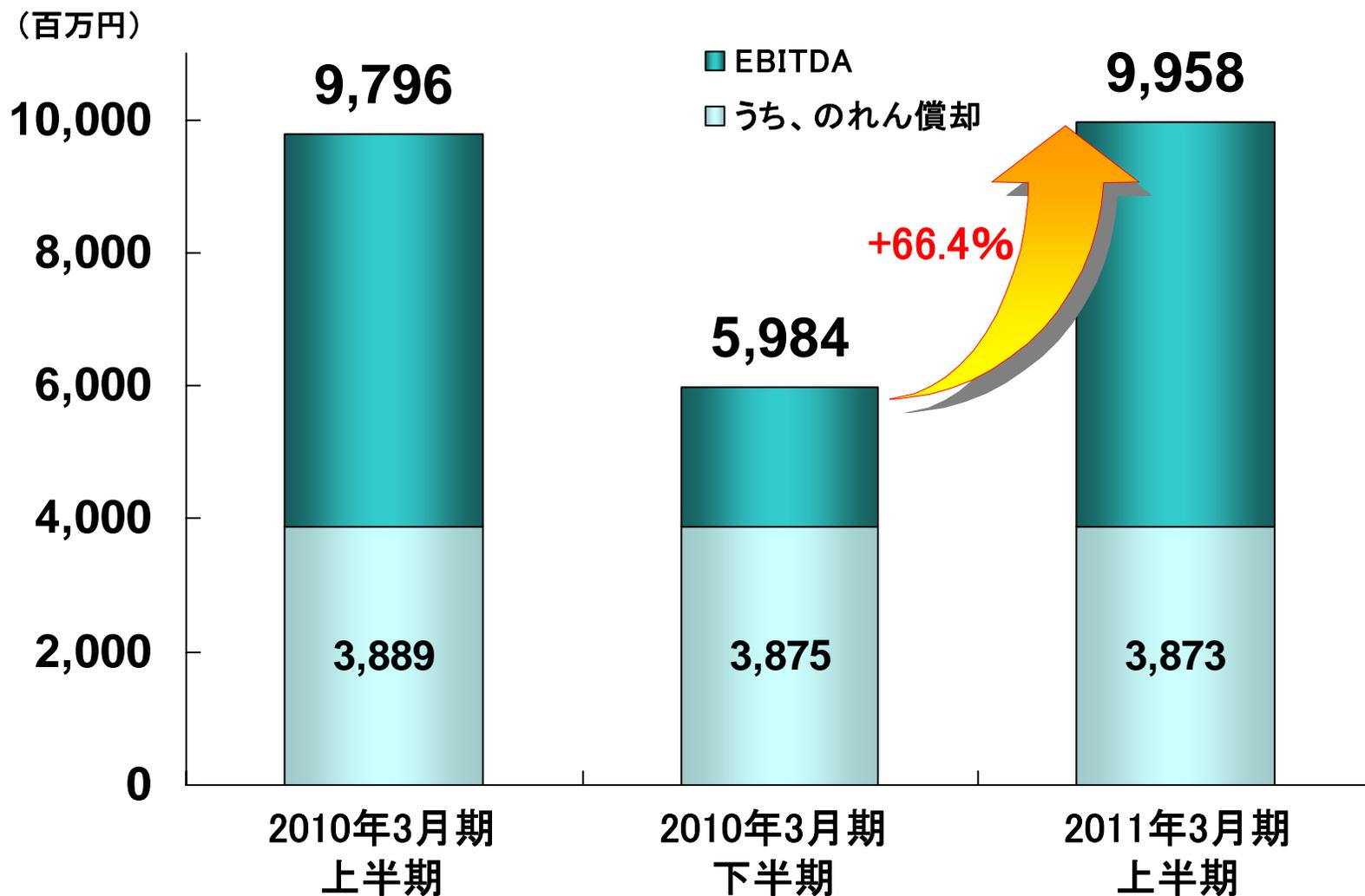


## 営業利益



# EBITDA (=営業利益+減価償却費+のれん償却)の推移

2011年3月期第2四半期のEBITDAは9,958百万円となり、  
前年同期比は1.7%増ながら前年度下半期比は66.4%増と大幅に改善



- ③**主要セグメントはいずれも営業黒字を確保。  
株式市場の影響が大きい部門が前年同期比  
減益となる一方、影響を受けにくい部門の  
成長が利益に貢献**

# セグメント別 営業利益の半期推移①

株式市況が昨年同時期より不透明感が増していく環境下においても  
主要セグメントは営業黒字を確保

(単位:百万円)

	※1 2010年3月期	2011年3月期	前年同期比 増減率／増減額	※1 2010年3月期	
	前上半期 (2009年4～9月)	当上半期 (2010年4～9月)		前下半期 (2009年10～2010年3月)	通期 (2009年4～2010年3月)
アセットマネジメント	2,471	2,679	+8.4%	※6 72	2,543
ブローカレッジ & インベストメントバンキング	5,985	3,780	▲36.8%	3,389	9,374
ファイナンシャル・サービス	※2、3 304	※5 435	+42.9%	※2、3 ▲97	206
住宅不動産関連	※4 ▲181	1,205	+1,387	1,054	872
その他	▲1,104	▲1,020	+83	▲999	▲2,104

※1 2010年3月期についてはセグメント変更反映後の数値

※2 2010年3月期を通し、SBIカードにおいて貸倒引当金繰入を15億円計上(うち、12億円は旧SBイコール・クレジットの貸付債権に対するもの)

※3 2010年3月期を通し、SBIカードにおいて利息返還損失引当金繰入を8億円計上(うち、5億円は旧SBIイコール・クレジットの貸付債権に対するもの)

※4 SBIホールディングスにおいて、たな卸不動産評価損 4億円、セムコーポレーションにおいて貸倒引当金繰入 1億円を計上

※5 SBIカードにおいて貸倒引当金繰入 7億円を計上、当第2四半期より連結子会社となったSBIクレジットにおいて営業損失1.4億円を計上

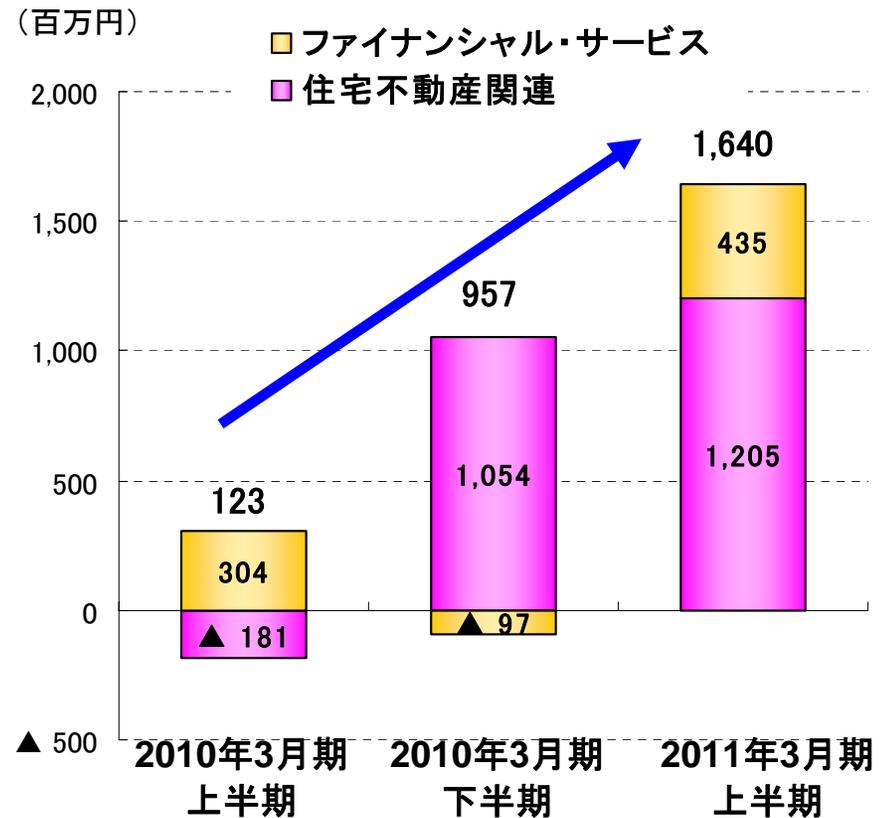
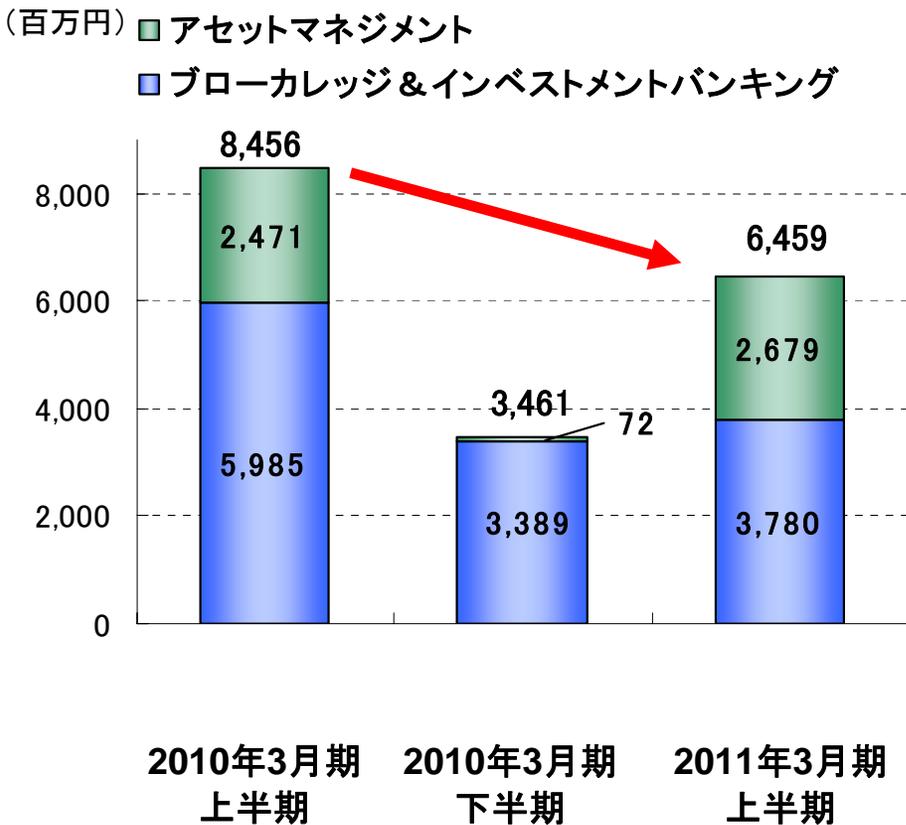
※6 KTIC Holdings 前経営者の不正行為による価値毀損に対応した投資損失引当金繰入 26億円(投資額全額)を計上

# セグメント別 営業利益の半期推移②

株式市場の影響が大きい部門が前年同期比で減益となる一方、影響を受けにくい部門の成長が利益に貢献

収益が株式市況と連動する事業

収益が株式市況と連動しにくい事業



## 【株式市場の影響を受けにくい部門の例】

i ) SBIモーゲージ

ii ) 住信SBIネット銀行

# 順調に業績を拡大するSBIモーゲージ

住宅ローン実行額の急激な伸長に伴い  
営業利益、経常利益、四半期純利益ともに2倍以上に増加

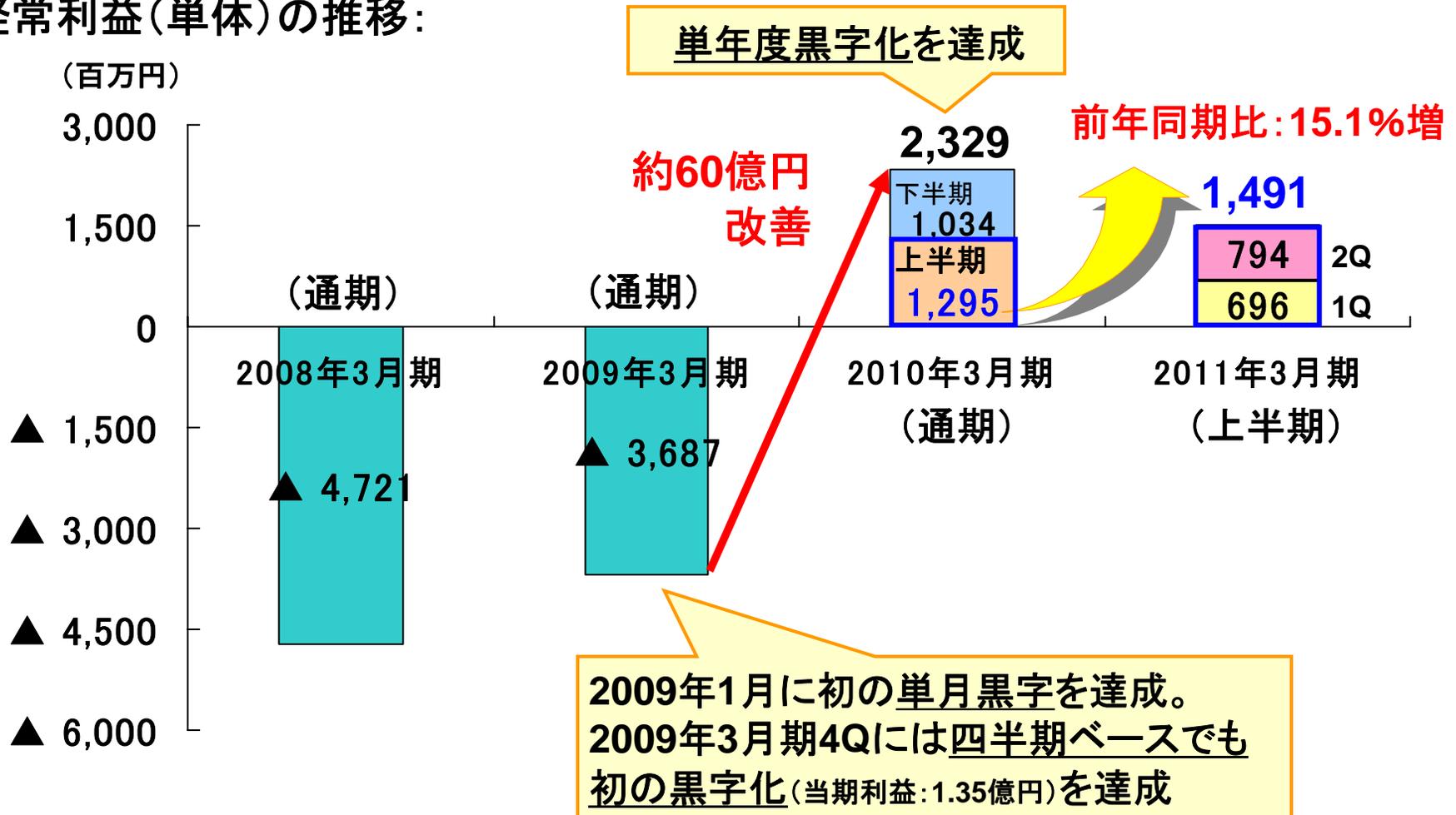
(単位:百万円、%)

	2010年3月期 上半期 (09年4月～09年9月)	2011年3月期 上半期 (10年4月～10年9月)	前年同期比 増減率	2010年3月期 下半期 (09年10月～10年3月)	2010年3月期 通期
売上高	2,620	4,126	+57.5	3,657	6,278
営業利益	503	1,140	+126.6	1,078	1,582
経常利益	512	1,154	+125.2	1,082	1,595
四半期純 利益	222	963	+332.4	575	797

韓国上場の主幹事を韓国のHana Daetoo Securitiesに決定、  
来年度中の公開に向けて準備中

# 住信SBIネット銀行の2011年3月期第2四半期(7~9月) は第1四半期(4~6月)よりも好調に推移

経常利益(単体)の推移:



## ④同業他社比、各事業部門とも健闘

i ) アセットマネジメント事業

ii ) SBI証券

iii ) SBIリクイディティ・マーケット

iv ) 住信SBIネット銀行

## i ) アセットマネジメント事業

# 主要VCの業績についての新聞記事

## VC3社、営業黒字

国内IPO減もアジア健闘

ベンチャーキャピタル(VC)大手3社の2010年4-9月期連結決算は、SBIホールディングス(HD)は営業損益で黒字を維持、他の2社も黒字化したが、日本アジア投資は当期赤字となった。

新聞記事

(出所)2010年11月9日 日刊工業新聞 21面

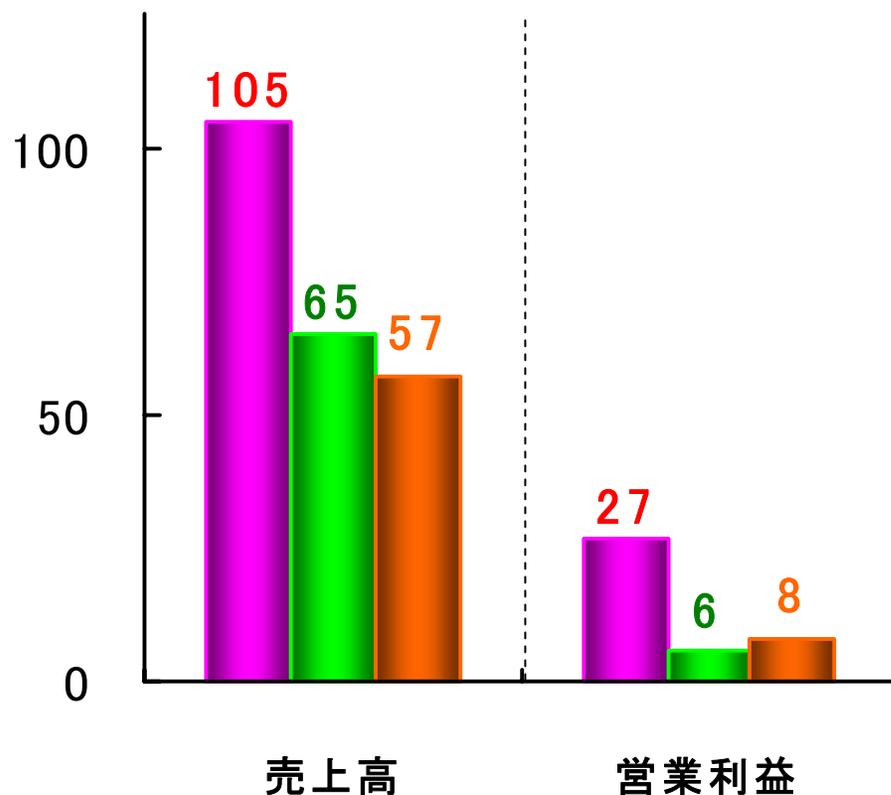
# 主要VCとの業績比較

## JAFCO、日本アジア投資と当社アセットマネジメント事業の 2011年3月期上半期業績

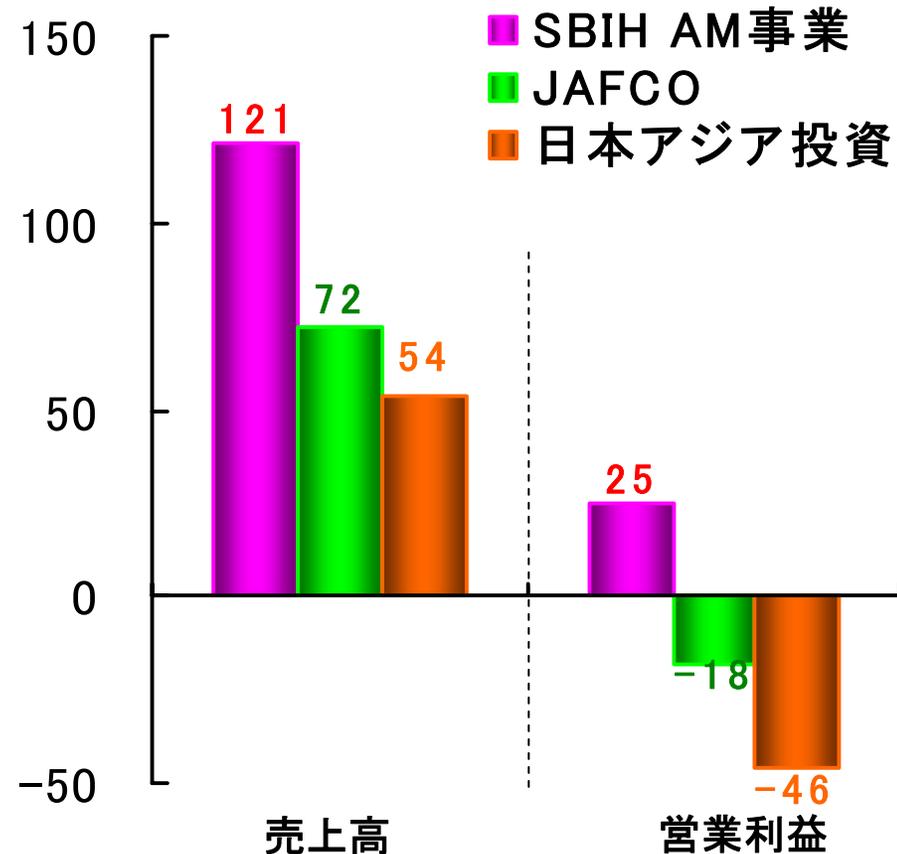
2011年3月期上半期(4~9月)

参考:2010年3月期上半期(4~9月)

(億円)

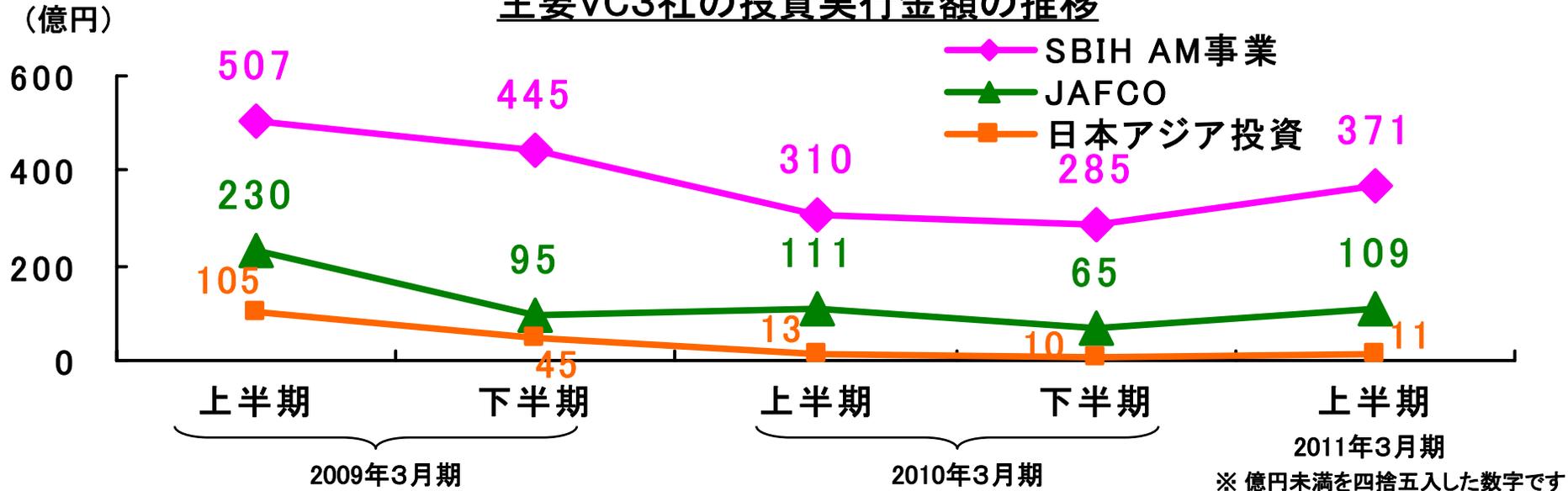


(億円)

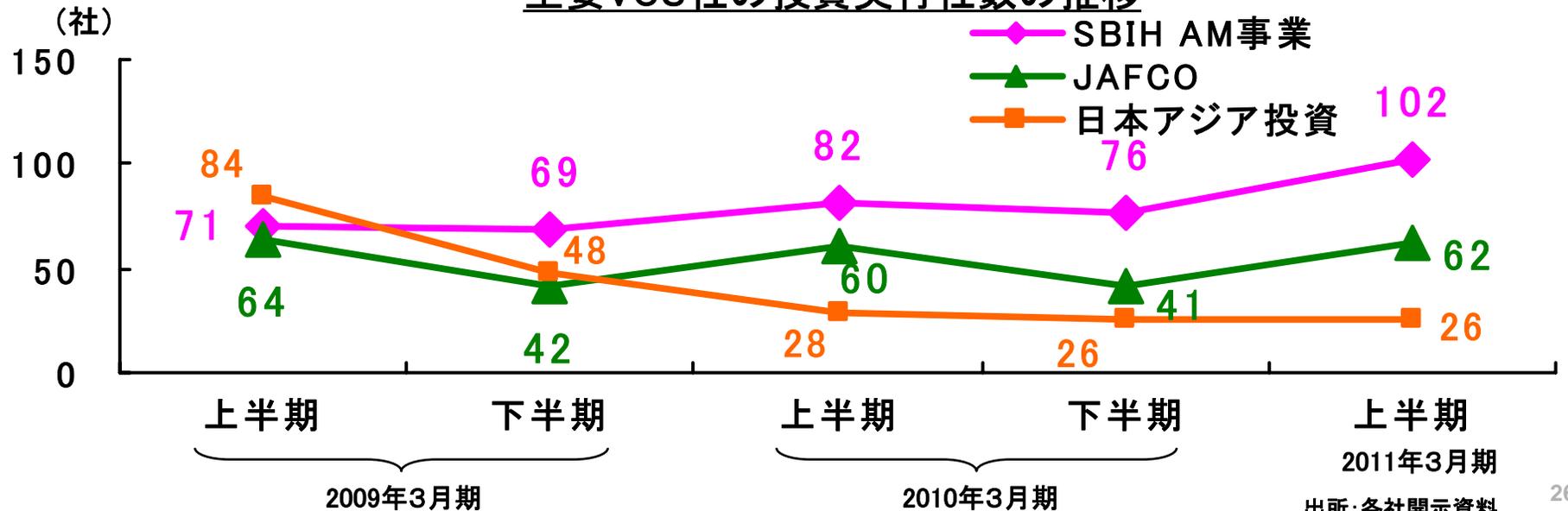


# 主要VCとの投資実績比較

## 主要VC3社の投資実行金額の推移



## 主要VC3社の投資実行社数の推移



## ii ) SBI証券

# リアル証券の2011年3月期上半期業績

(単位:百万円、%)

	営業収益 (上半期累計)	前年同期比 増減率	四半期純利益		
			上半期実績	前年同期比 増減率	7-9月期実績
野村HD	634,434	▲11.8	4,968	▲87.3	1,051
大和証券G	201,388	▲15.3	▲5,384	—	▲4,192
日興	111,370	+30.1	16,138	▲48.9	5,893
みずほ	163,143	▲7.1	6,396	▲95.3	5,926
三菱UFJ	158,502	▲17.6	※1 19,430	▲13.4	▲3,368
岡三	30,559	▲13.2	907	▲64.2	▲698
みずほインベ	26,473	+1.6	4,590	+4.0	1,957
SMBCフレンド	26,405	▲29.3	2,540	▲72.9	534
東海東京	25,188	▲16.4	2,342	▲37.8	▲238
岩井コスモHD	9,463	※2 ▲28.2	3,991	※2 +375.1	▲540
丸三	7,346	▲13.8	▲297	—	▲353
いちよし	6,101	▲25.2	▲1,199	—	▲989
東洋	5,646	▲17.3	▲769	—	▲389
水戸	4,775	▲17.6	▲963	—	▲671
極東	4,152	▲31.5	831	▲61.7	520
高木	2,317	▲46.6	▲6,379	—	▲6,565
光世	278	▲39.2	▲329	—	▲79

出所:各社公表資料、百万円未満は切捨て

※1 特別利益として持分変動利益 27,913百万円を計上しており、営業利益は▲6,944百万円

※2 岩井コスモHD(旧岩井証券)は2010年4月16日付でコスモ証券を完全子会社化しているため、前年同期比の算出にあたっては旧岩井証券とコスモ証券を単純合算した数値を使用

# SBI証券の証券業界におけるポジショニング



(2011年3月期上半期連結業績)

## 営業収益ランキング

単位:百万円

1	野村HD ※2	634,434
2	大和証券G	201,388
3	みずほ	163,143
4	三菱UFJ	158,502
5	日興	111,370
6	岡三	30,559
7	みずほインベ	26,473
8	SMBCフレンド	26,405
9	東海東京	25,188
10	<b>SBI</b>	<b>22,117</b>
11	マネックス	12,685
12	楽天 ※3	11,608
13	松井	11,026
14	カブドットコム ※3	7,020

## 当期利益ランキング

単位:百万円

1	三菱UFJ	19,430
2	日興	16,138
3	みずほ	6,396
4	野村HD ※2	4,968
5	<b>SBI</b>	<b>4,829</b>
6	みずほインベ	4,590
7	松井	3,305
8	楽天 ※3	2,585
9	SMBCフレンド	2,540
10	東海東京	2,342
11	マネックス	1,600
12	カブドットコム ※3	1,487
13	岡三	907
14	大和証券G	▲ 5,384

※1 オンライン証券5社及び営業収益100億円以上の主要証券各社開示資料より当社集計

※2 野村は米国会計基準。営業収益は収益合計を使用

※3 非連結

(百万円未満は切り捨て)

新聞記事

## ネット証券5社の中間連結決算

(億円、%)

	純営業収益	最終損益
<b>SBI</b>	<b>203(▲10.2)</b>	<b>48 (9.8)</b>
マネックス	112 (13.0)	16(▲21.4)
楽天	107(▲2.2)	25(▲6.4)
松井	106(▲16.5)	33(▲19.1)
カブドットコム	63(▲13.4)	14(▲17.7)

※カッコ内は前年同期比増減率

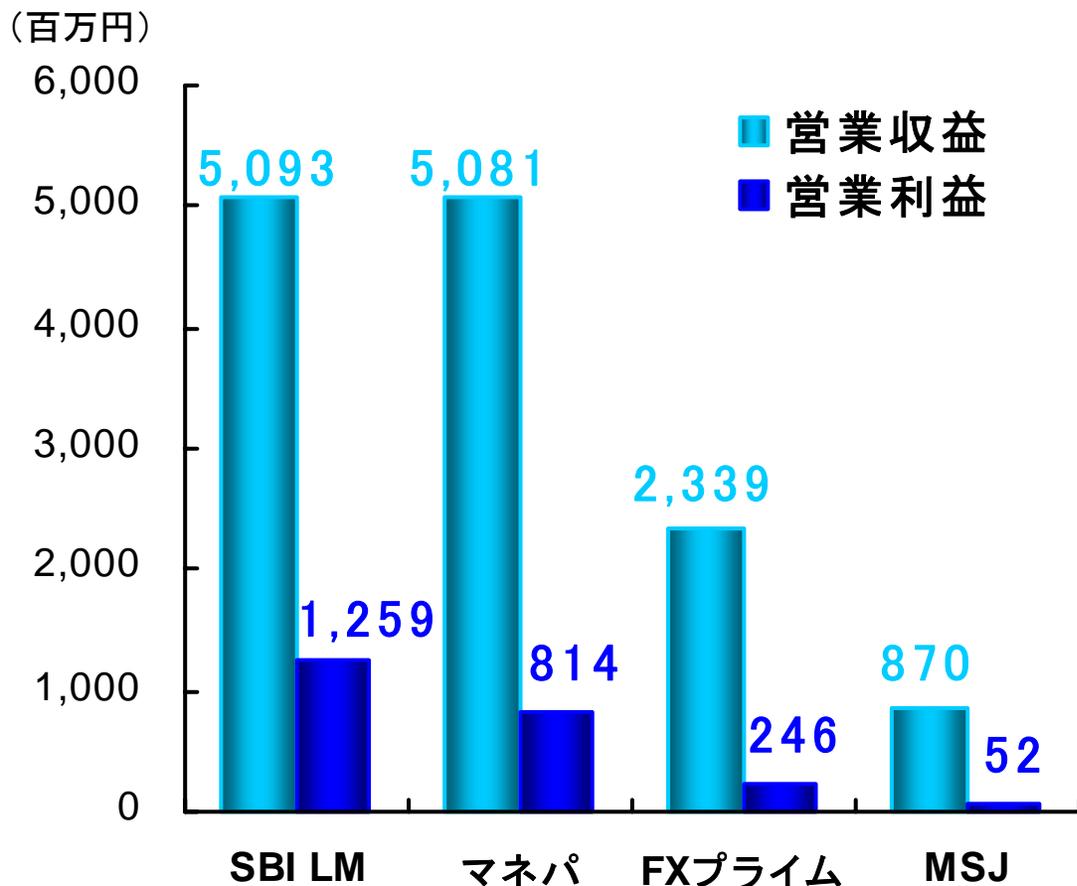
「10年9月中間連結決算も株価低迷の影響を受け、SBI証券を除き4社が減益となった。」

### iii) SBIリクイディティ・マーケット

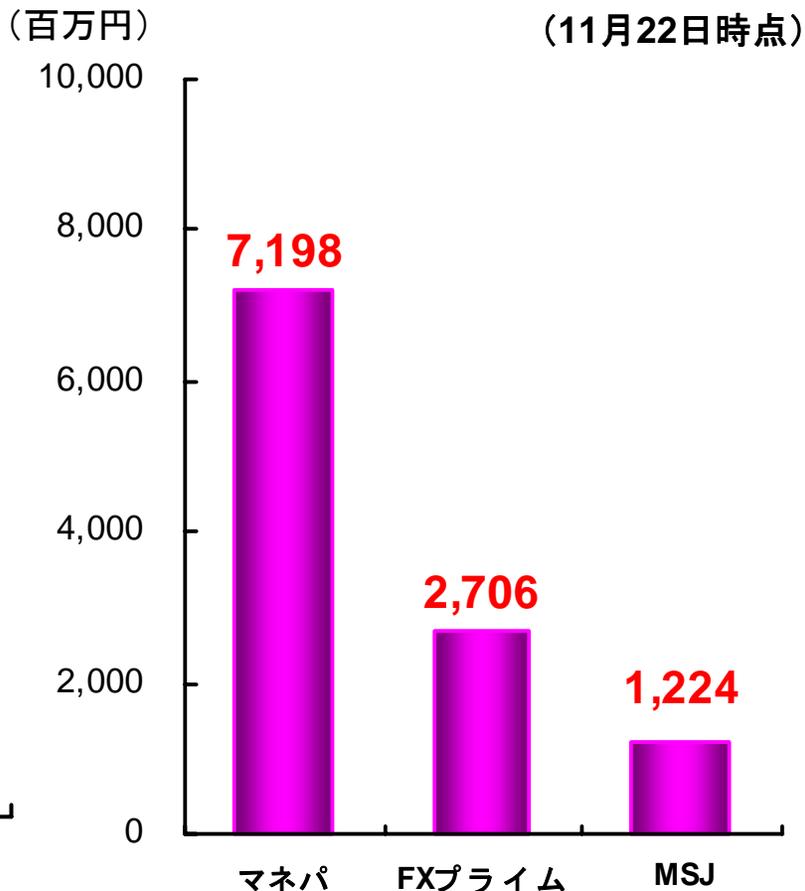
(FX取引のプラットフォーム会社)

# SBIリクイディティ・マーケットと上場FX専業会社との比較

2011年3月期上半期(4~9月)業績



参考: 上場FX専業各社の時価総額



注) SBI LM : SBIリクイディティマーケット(2008年11月17日営業開始)  
 マネパ : マネーパートナーズグループ(07年6月上場:大証ジャスダック)  
 FXプライム: FXプライム(08年9月上場:大証ジャスダック)  
 MSJ : マネースクエア・ジャパン(07年10月上場:大証ジャスダック)

## iv) 住信SBIネット銀行

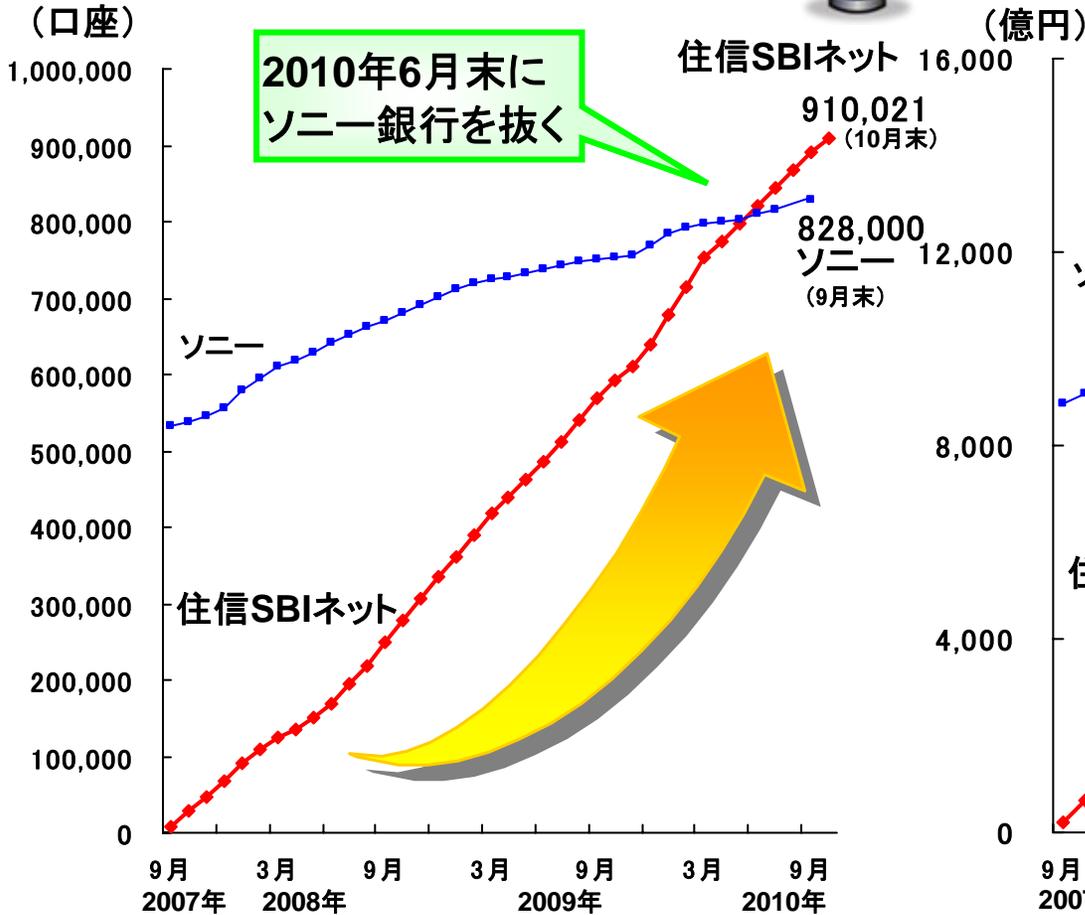
# ソニー銀行 VS. 住信SBIネット銀行①

(2001年6月開業) (2007年9月開業)

※ソニー銀行は2010年8月以降、月次数値未公表

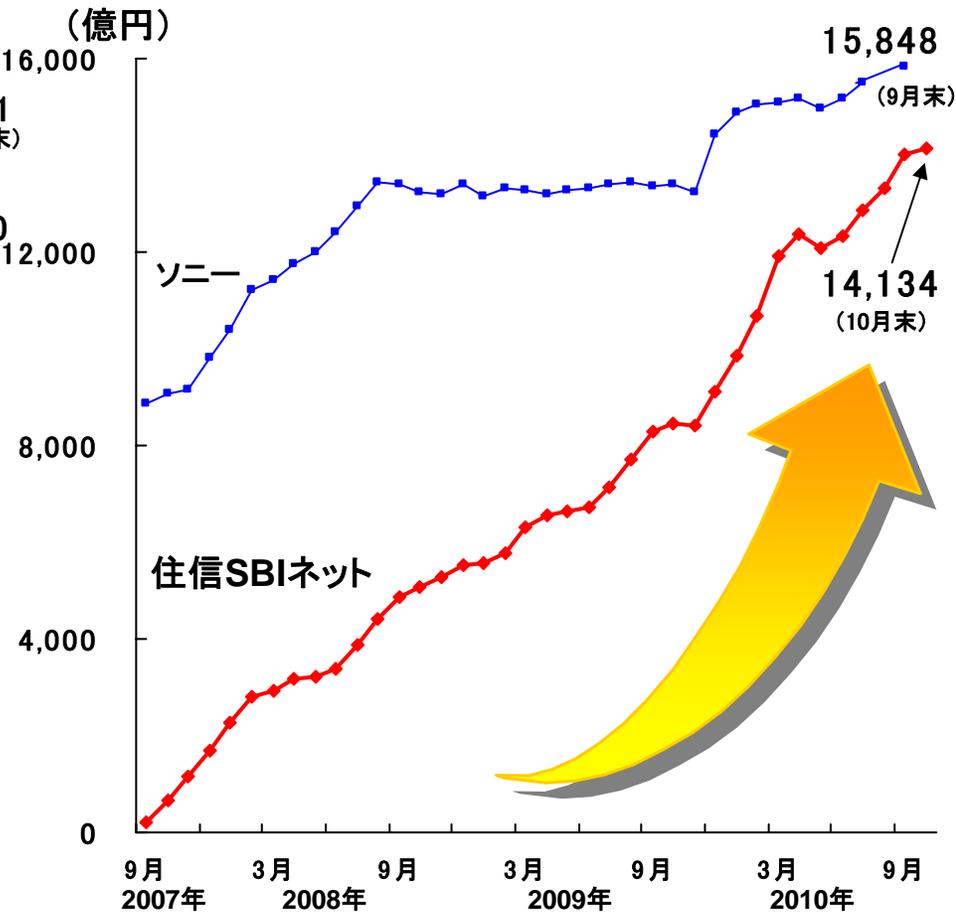
## 口座数の推移

(2007年9月末～2010年10月末)



## 預金残高の推移

(2007年9月末～2010年10月末)



**住信SBIネット銀行は口座数・預金残高ともにこの1年間で約2倍に拡大** 34

# ソニー銀行 VS. 住信SBIネット銀行②

(2001年6月開業)

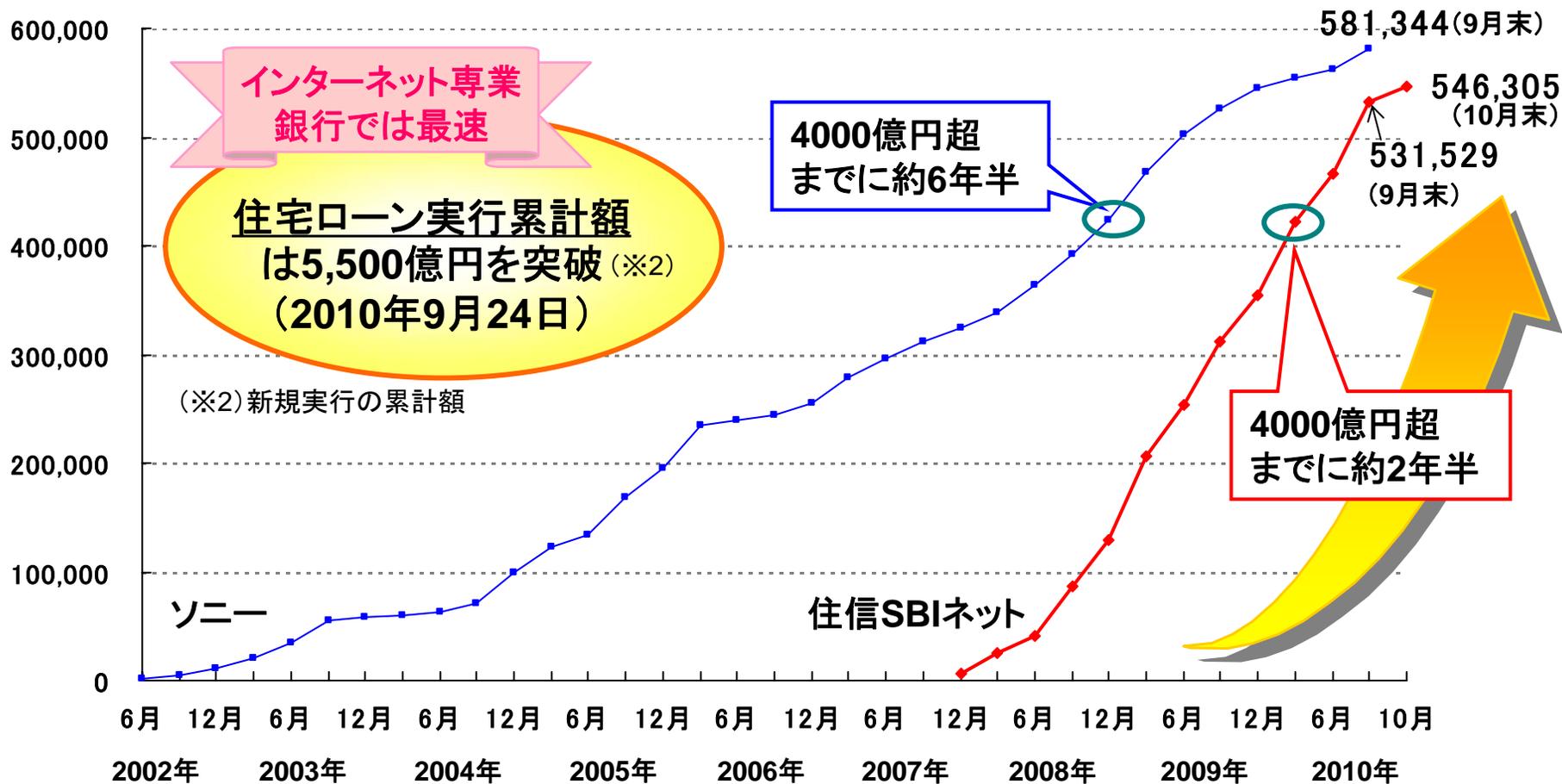
(2007年9月開業)

## 住宅ローン残高(※1)の推移

(※1)新規実行の累計額から返済分を控除

(百万円)

(2002年6月末～10月末)



住宅ローンの残高も直近1年間で約2倍に拡大

# ソニー銀行 VS. 住信SBIネット銀行③

(2001年6月開業)

(2007年9月開業)

★口座数:住信SBIネット銀行が2010年6月末に抜く。



★預金残高:ソニー銀行(6月末)1兆5,171億円 ↔ 住信SBI(10月末)1兆4,128億円

開業後、約9年

開業後、約3年

新聞記事

**ネット銀首位 住信SBI視野**

預金1.4兆円突破 ソニー銀猛追

「住信SBIは10年3月期決算で黒字化を達成し、利益水準ではすでにソニー銀に肩を並べた」

「住信SBIが規模と収益の両面でネット銀行首位の座に王手をかけているのは間違いなさそうだ」

(2010年10月8日付け、フジサンケイビジネスアイより抜粋)

# インターネット専業銀行の業績比較

## <直近の業績比較>

※単位:百万円

当期純利益 ※連結、ジャパンネット銀行のみ単体	2011年3月期		
	1Q 2010年4月～6月	2Q 2010年7月～9月	上半期 2010年4月～9月
2007年9月開業 住信SBIネット銀行	<b><u>667</u></b>	<b><u>804</u></b>	<b><u>1,471</u></b> 
2001年6月開業 ソニー銀行	<b>258</b>	<b>407</b>	<b>665</b>
2001年7月開業 楽天銀行(旧イーバンク銀行)	<b>895</b>	<b>129</b>	<b>1,024</b>
2000年10月開業 ジャパンネット銀行 ※単体	<b>654</b>	<b>479</b>	<b>1,133</b>

出所:各行公表資料

## 2. 新しいコンセプトである「SBIグループのブリリアントカット化」とは？

- (1) 「ブリリアントカット化」とは？
- (2) 黒字企業における収益の拡大
- (3) 赤字企業の早期黒字化
- (4) 拡大する顧客基盤及び販売チャネル

## (1) 「ブリリアントカット化」とは？

# 収益重視の経営に向けた、 SBIグループの「ブリリアントカット化」

ブリリアントカットとは：  
ダイヤモンドが最も美しく輝くとされる研磨方法

(1919年、ベルギーの数学者マルセル・トルコフスキーが考案)



ダイヤモンドは**58面体**に研磨すると最も美しく輝く

企業生態系に適用



グループの規模拡大の最優先から収益力向上に向け、  
100社超のSBIグループの事業体から、  
主要な58事業体を選出

SBIグループを、58面各々がより美しく、そして全体として  
最も輝くブリリアントカット化されたダイヤモンドへ

# 第2の成長ステージに入ったSBIグループ

創業からの10年間

グループの規模拡大を優先した第1ステージ

**規模の拡大と企業生態系の構築を最優先**



2011年3月期～

当社の1株当たり当期純利益(EPS)の成長を重視した第2ステージ

- 「金融サービス事業のペンタゴン経営」推進によるグループシナジー強化と収益力の増強
- 海外新興諸国への金融生態系移出を進め、「日本のSBIから世界のSBIへ」を具現化

**EPSの持続的成長を目指した収益重視の経営へ**

# 主要な事業体58事業とは？

(上半期末現在)

## SBIグループ 主要58事業体

### SBIホールディングス

黒字会社・事業部: **30**社・事業部

[2011年3月期上半期営業利益合計: 135億円]

例) SBI証券、SBIインベストメント、住信SBIネット銀行、SBIリクイディティ・マーケット、SBIモーゲージ、SBIビジネスサポート、SBIリース等

赤字会社・事業部: **11**社・事業部

[2011年3月期上半期営業利益合計: ▲32億円]

例) SBI損保、SBIカード、SBIアラプロモ、SBIバイオテック、SBIネットシステムズ等

新設(予定含む)の子会社および新規買収子会社: **9**社 (2009年4月以降のグループ会社化)

WSJJ、SBIゲオマーケティング、ネット生保準備会社、SBIレミット、SBIクレジット、SBIソーシャルレンディング(旧SBIプロスパー)、KTIC、SBI Global Investment、中国証券報社との合併会社

海外現地法人および海外駐在員事務所: **7**社・事務所 [年間運営コスト見込額: 7億円]

シンガポール現法、香港現法、北京、上海、ハノイ、モスクワ、クアラルンプール

# 規模の拡大から収益力強化へ

## ➤ 黒字会社・事業部:

相互シナジーの発揮(とりわけペンタゴン経営の推進)により、  
更なる利益拡大へ

## ➤ 赤字会社・事業部:

グループリソースを有効活用し、グループシナジーを更に追求することで、今後(新設会社は設立後)3年以内の黒字化を目指す

※黒字化目処の立たないものは、原則として清算或いは売却の方針

- ・会社設立: 現在設立準備中の会社以外に、新たな会社は設立しない
- ・買収: 黒字企業且つSBIグループの企業生態系に含まれる企業群と強いシナジーが期待されるものに限る

## (2) 黒字企業における収益の拡大

- ① SBI証券
- ② SBIベリトランス

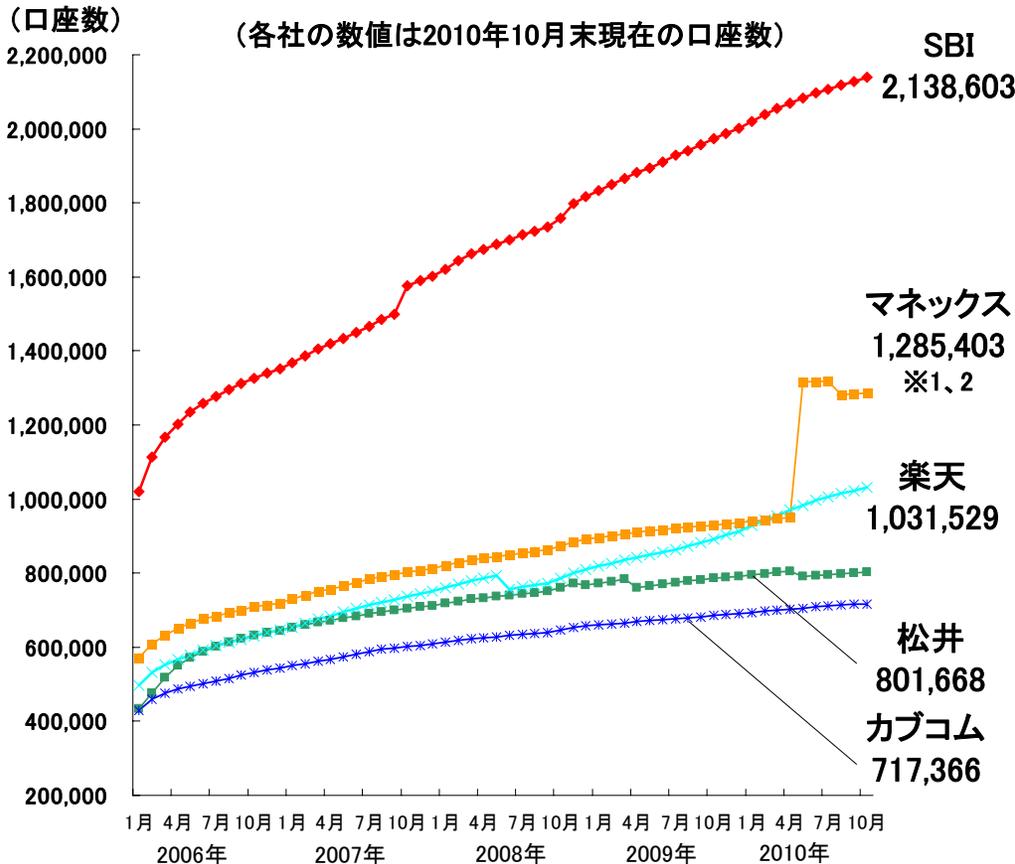
# ① SBI証券

# 強固な顧客基盤を有するSBI証券 ①

SBI証券の獲得口座数は順調に推移しており、2009年12月にはオンライン証券で初めて200万口座を突破

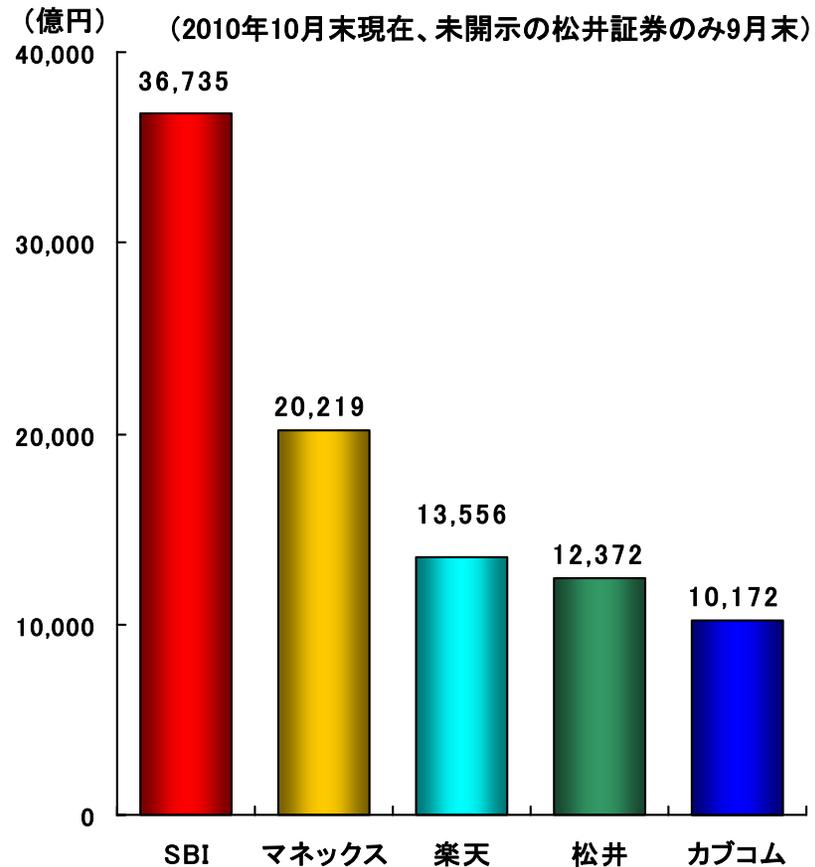
## 主要オンライン証券5社の口座数推移

(各社の数値は2010年10月末現在の口座数)



## 主要オンライン証券の預り資産残高

(2010年10月末現在、未開示の松井証券のみ9月末)



出所: 各社ウェブサイトの公表資料より当社にて集計

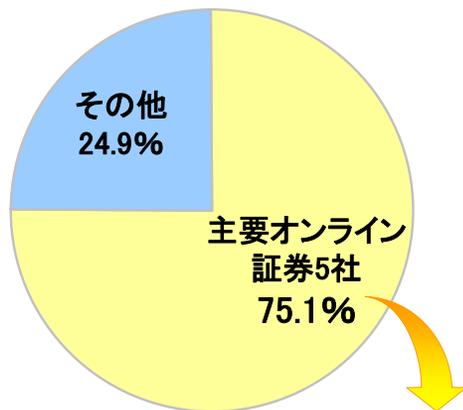
※1 2010年5月以降のマネックス証券における口座数はマネックス証券と旧オリックス証券の単純合計で、重複口座(2010年10月末時点 約10万口座)を含む。

※2 旧オリックス証券の口座数は2009年12月末時点で372,347口座(2010年1月以降非開示)。

# 圧倒的な顧客基盤を有するSBI証券 ②

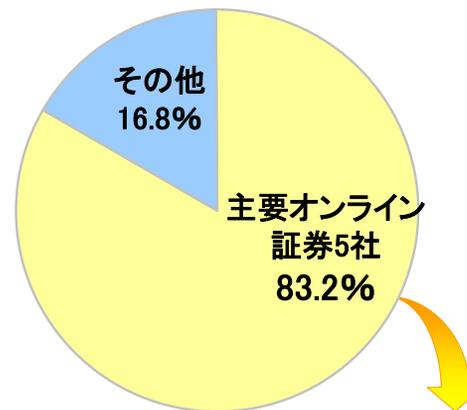
SBI証券は個人株式委託売買および個人信用取引委託売買においても引き続き他社を大きく上回るシェアを誇る

個人株式委託売買代金シェア  
2011年3月期 上半期シェア  
(2010年4月～2010年9月)



	シェア	前年同期比
<b>SBI証券</b>	<b>37.2%</b>	<b>+2.6p</b>
楽天証券	15.6%	+1.4p
松井証券	8.3%	0p
マネックス証券	7.3%	+1.8p
カブドットコム証券	6.8%	+1.0p

個人信用取引委託売買代金シェア  
2011年3月期 上半期シェア  
(2010年4月～2010年9月)



	シェア	前年同期比
<b>SBI証券</b>	<b>41.1%</b>	<b>+2.4p</b>
楽天証券	17.3%	+1.2p
松井証券	9.0%	▲0.4p
カブドットコム証券	8.3%	+1.5p
マネックス証券	7.6%	+2.0p

出所：東証統計資料、JASDAQ統計資料、各社ウェブサイトの公表資料より当社にて集計

※ 個人株式委託売買代金、個人信用取引委託売買代金は東証・大証・名証の各1部・2部とJASDAQを合算

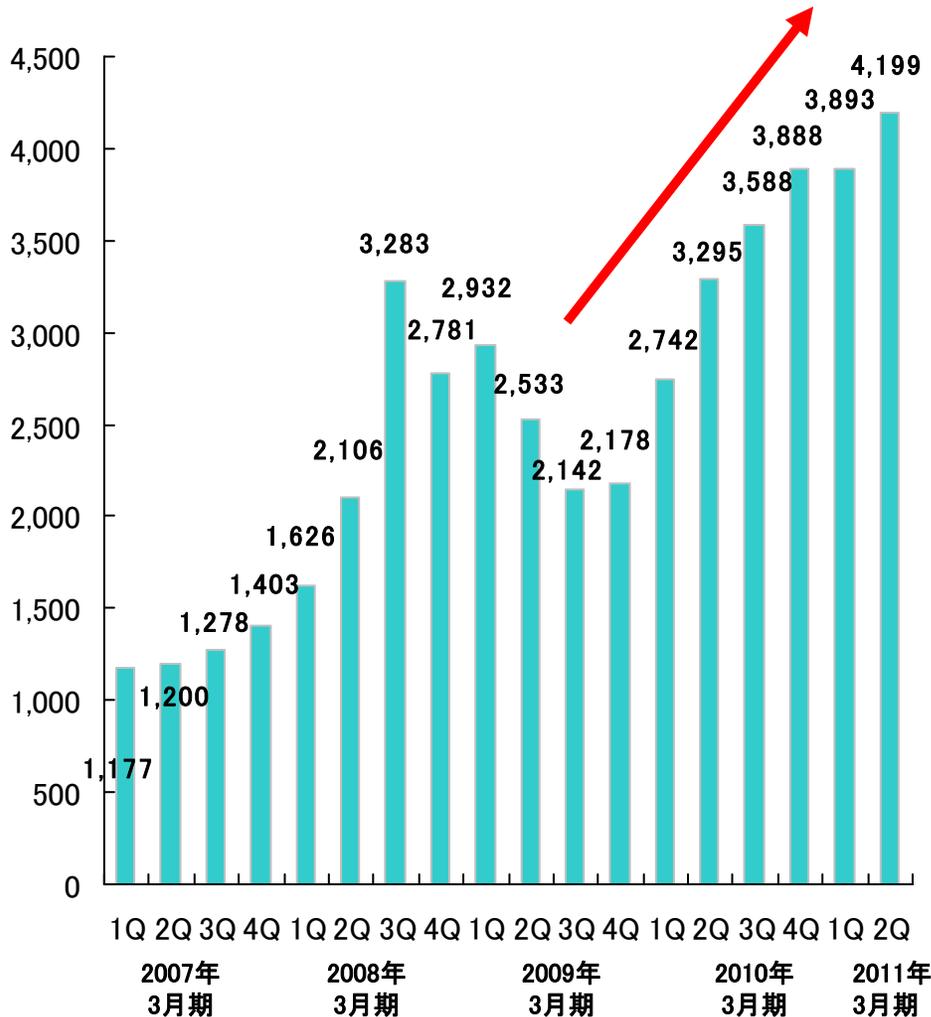
※ SBI証券はインターネット取引のみで算出

※ 2010年5月1日付でマネックス証券とオリックス証券が合併

# 収益多様化に向けた取り組み ＜投資信託＞

## 投資信託 四半期末残高の推移

(億円)



※MMF、中国ファンドおよび対面口座分の預りを含む

## 投資信託販売拡大への取組み

### ◆主要オンライン証券で取扱本数No.1

主要オンライン証券で初めて  
投資信託の取扱本数「1,000本」超を実現。  
(2010年10月20日現在1,017本)

### ◆外貨建MMF銘柄を拡充

主要オンライン証券最多の通貨の取扱い  
(6通貨、9銘柄)

米ドル:3銘柄、ユーロ:2銘柄、  
カナダドル、豪ドル、NZドル、南アランド:各1銘柄

投資信託サイトのコンテンツ拡充、  
リニューアルを実施するなど、  
取扱商品・サービスを拡充

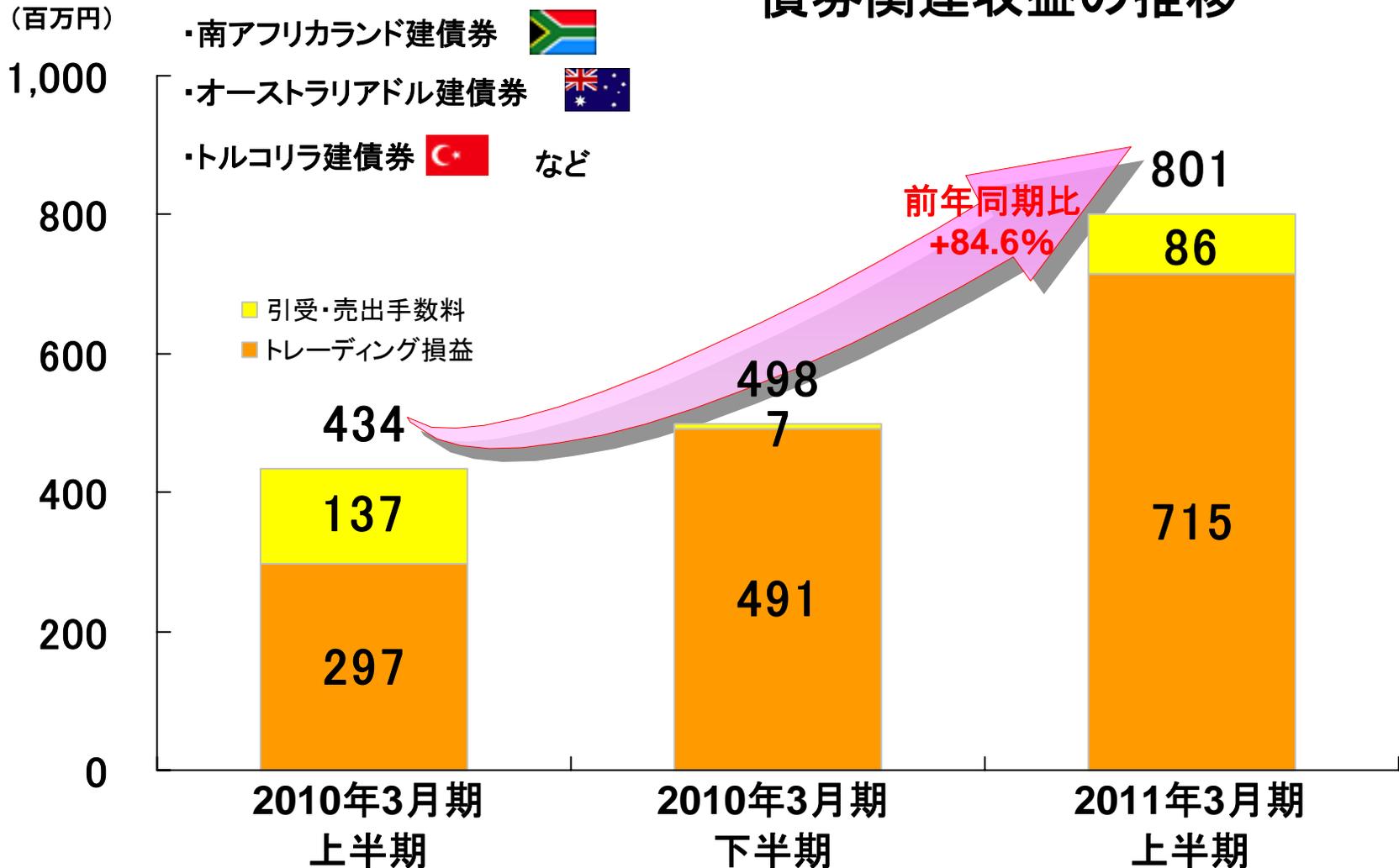
※主要オンライン証券は投資信託を取り扱っている、  
SBI証券、楽天証券、カブドットコム証券、マネックス証券の4社

# 収益多様化に向けた取り組み ＜債券＞

## 外国債券への取組み強化

- ・ブラジルレアル建債券 
- ・南アフリカランド建債券 
- ・オーストラリアドル建債券 
- ・トルコリラ建債券  など

## 債券関連収益の推移



# 収益多様化に向けた取り組み ＜外国為替保証金(FX)取引①＞

## 13通貨ペアのスプレッドを縮小

米ドル/円など13通貨ペアの  
スプレッドを縮小  
(2010年8月9日～)

### 主要通貨ペアのスプレッド変更内容

通貨ペア	旧	8月9日～
米ドル/円	2銭	1～2銭
ユーロ/円	4銭	3～4銭※1
ポンド/円	6銭	5～6銭※2

## 「逆手数料」キャンペーンの実施

(2010年9月7日～11月30日、期間延長中)

各通貨の取引数量に応じ、現金を還元

投資家



FX取引注文



SBI証券

SBI FX α

スプレッドおよびカバー取引による収益

## 「ローレバレッジ1倍、3倍、5倍コース」

提供開始(2010年11月29日～)

新たに低レバレッジコースを開設し、比較的风险を抑えた取引が可能に

商品性を高め、新規顧客獲得と流動性の向上を図る

※1 キャンペーンにより11/30まで2～4銭

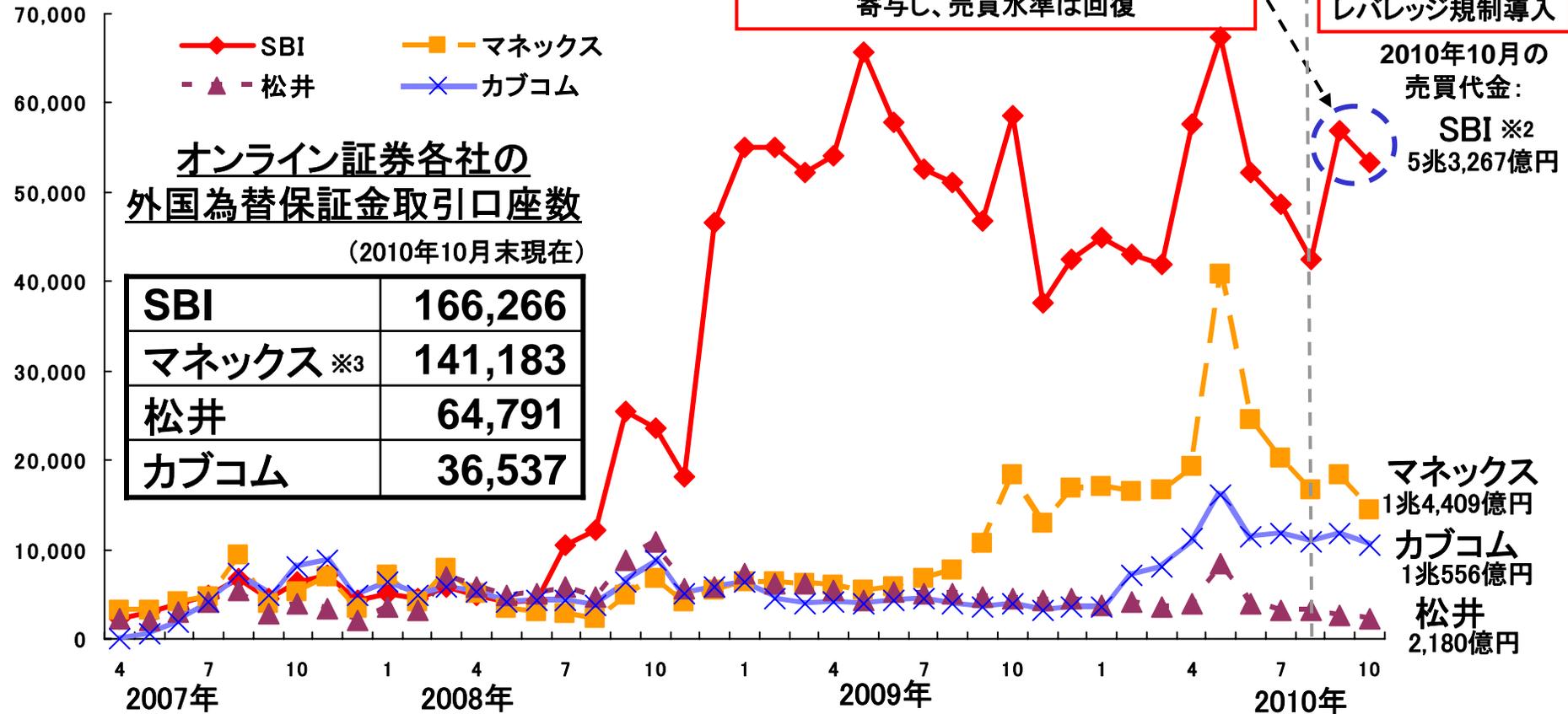
※2 キャンペーンにより11/30まで3～5銭

# 収益多様化に向けた取り組み ＜外国為替保証金(FX)取引②＞

8月1日よりFX取引に係るレバレッジ規制が導入されたものの、  
SBI証券における売買代金は引き続き高水準を維持

## オンライン証券4社※1の外国為替保証金取引売買代金の推移

(単位:億円)



※1 SBI証券とデータが開示されているマネックス証券、松井証券、カブコム証券の計4社

※2 2008年11月～2009年2月は、『SBI FX』及び『SBI FXα』の売買代金合計

※3 2010年10月末における外国為替証拠金取引の口座数には、一部重複口座を含む

# レバレッジ規制前後におけるFX取引高推移

SBIリクイティ・マーケットは他事業者に比べ、当該規制の影響を抑制できている

	規制開始月(8月)取引量(※1)の 対前月比増減(%)
くりっく365	▲11.84
店頭FX取引事業者合計 (金融先物取引業協会参加会員 58社)	▲32.70
<b>SBIリクイティ・マーケット</b>	<b>▲10.19</b>

出所:くりっく365ならびに金融先物取引業協会HPより当社にて算出

## <参考:個別事業者の状況>

社名	規制開始月(8月)取引量の 対前月比増減(%)
トレーダーズ証券	▲68.03
フォレックス・トレード	▲54.70
FXCMジャパン	▲39.92
DMM.com証券	▲39.53
クリック証券	▲32.27

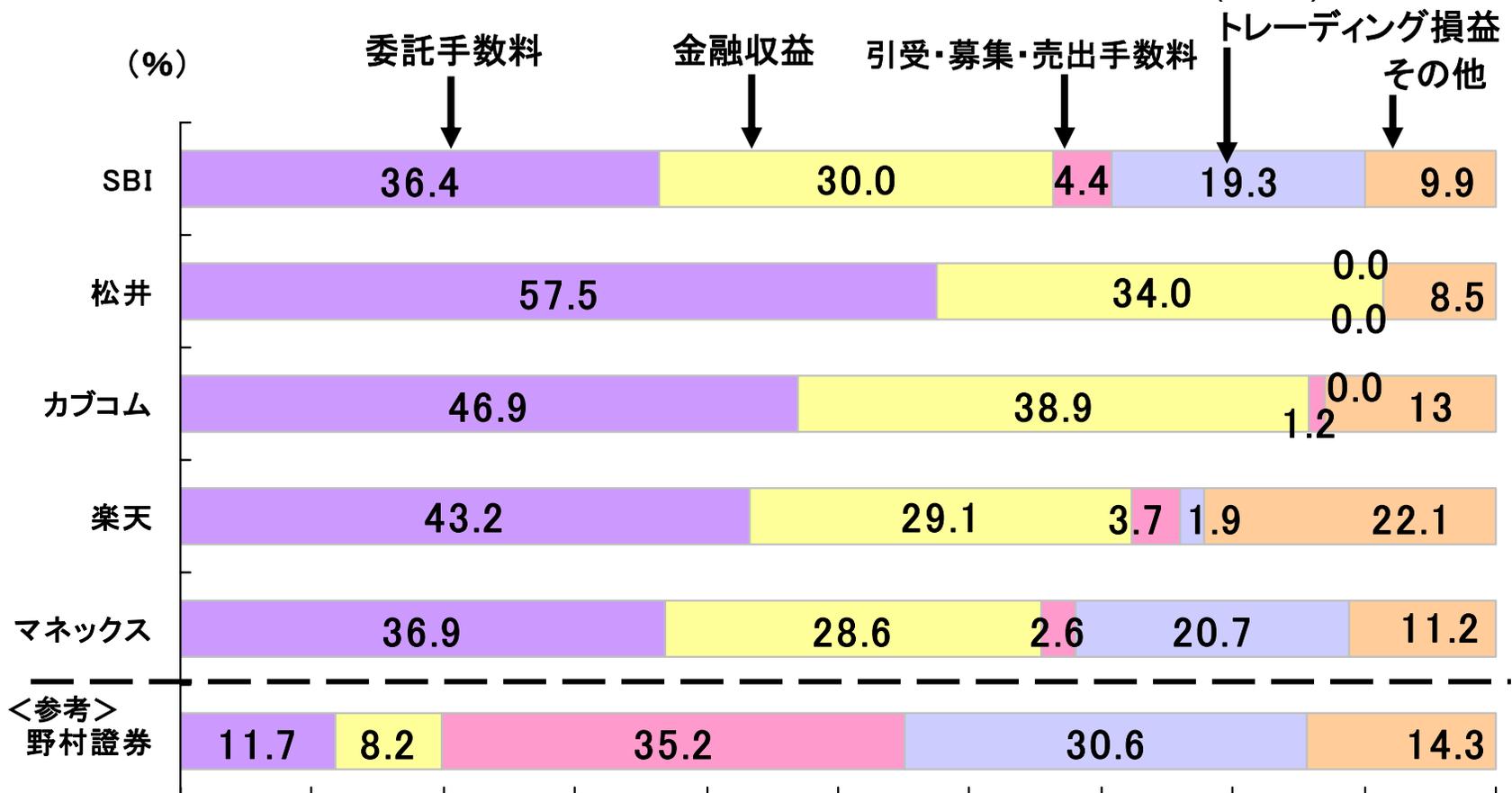
出所:『有力FX企業12社の月間データランキング-2010年8月-』 矢野経済研究所

※1 SBIリクイティ・マーケットおよびくりっく365は取引数量(枚)、店頭FX取引事業者合計は取引金額より算出

# 収益の多様化により、 株式委託売買のみに依存しない事業体質へ

**新規上場株式だけでなく公募株式や社債の引受業務等を拡大すべく、  
今後は法人ビジネスの強化も進める**

2011年3月期上半期 主要オンライン証券各社 営業収益(連結) 構成比



※出所:各社ホームページ、決算資料(野村証券は国内基準の決算書より抽出)

# 株式売買代金にも回復の兆し

## 新聞記事

インターネット証券大手5社の10月の売買代金は、前月比0.5%増の5兆6,886億円となり、6ヶ月ぶりの増加となった。

(中略)

10月の各社の売買代金は5社中3社がプラスとなった。最大手のSBI証券は同0.4%増の2兆7,573億円。

## ② SBIベリトランス

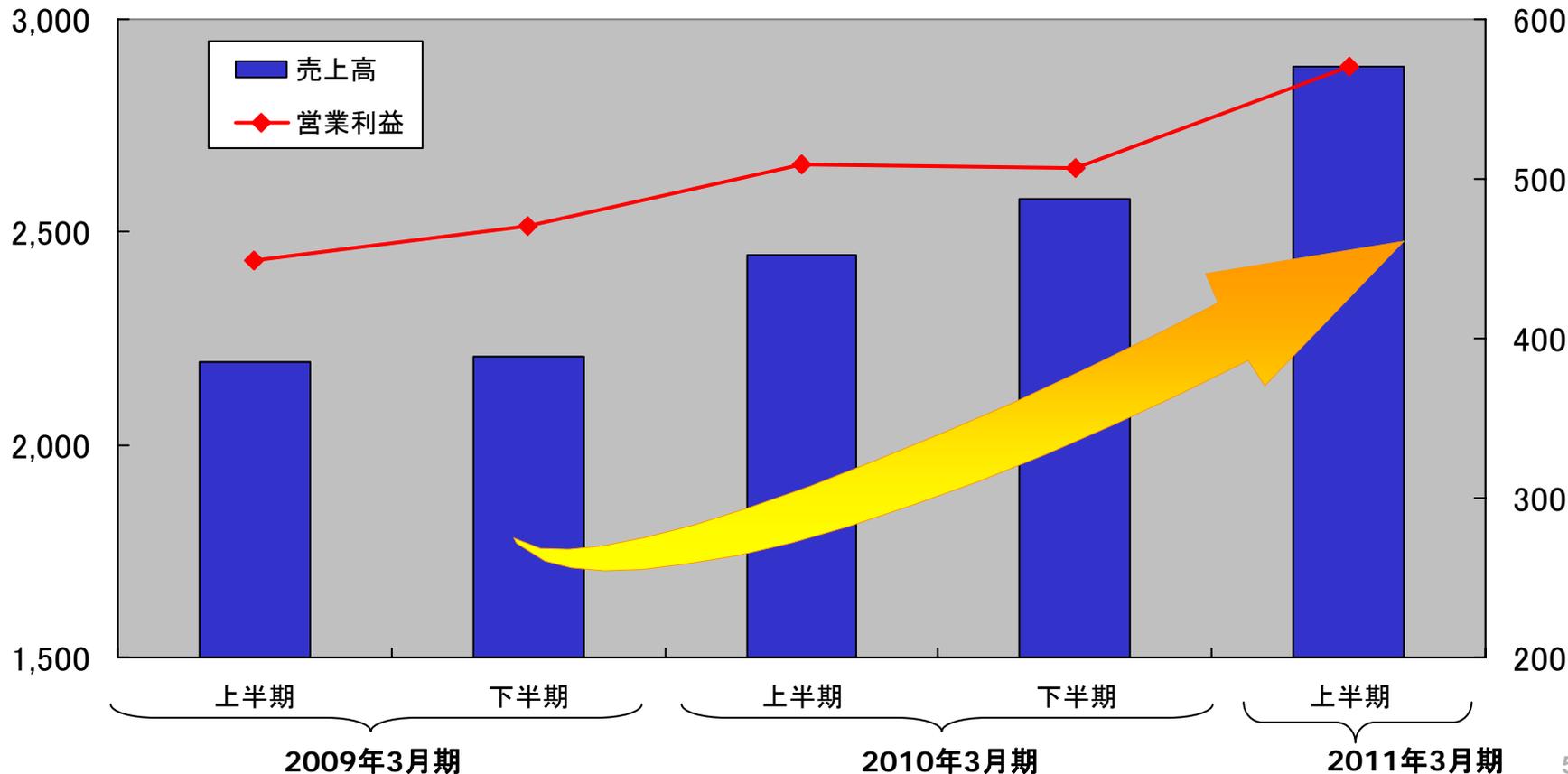
# SBIベリトランス 連結売上高・営業利益の半期推移

SBIベリトランスの売上高は前年同期(09年4-9月)比18.1%増、営業利益も同11.9%増となり、今2Qは売上高・利益の全項目において過去最高を更新

## SBIベリトランス 連結売上高・営業利益の半期推移

(売上高:百万円)

(営業利益:百万円)



# 中国人向けネット通販での銀聯カード決済を開始

(2009年1月～)

◆インターネット通販での「銀聯カード」決済取り扱い  
は日本初、世界でも中国・香港以外では初めて



## 「銀聯ネット決済」

中国銀聯



三井住友カード株式会社



SBI VeriTrans

日本でも12,300店舗が加盟

日本初の銀聯ネット決済に対応したECモール「佰宜杰.com」  
(バイジェイドットコム)も運営

## (3) 赤字企業における収益の拡大

例：SBI損保

# SBI損保の保有契約件数は20万件超と順調に拡大

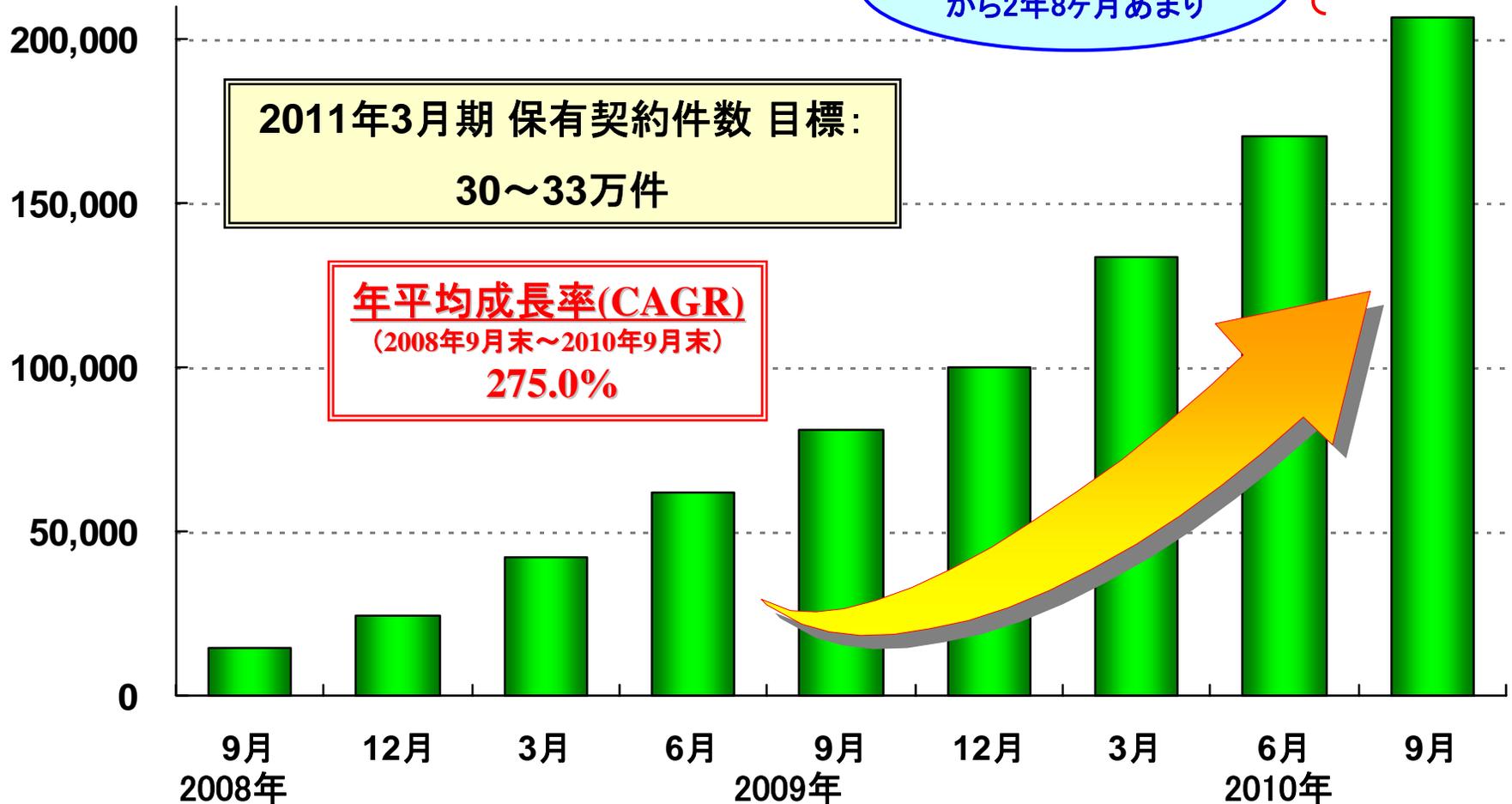
**2010年9月末現在、自動車保険の保有契約件数は20万件を突破！**

自動車保険 契約数(計上ベース※)・累計

(件数)(継続契約、継続期間満了、中途解約者数は除く)

開業(2008年1月)  
から2年8ヶ月あまり

2010年10月末現在:  
**21万7千件**



2011年3月期 保有契約件数 目標:  
30~33万件

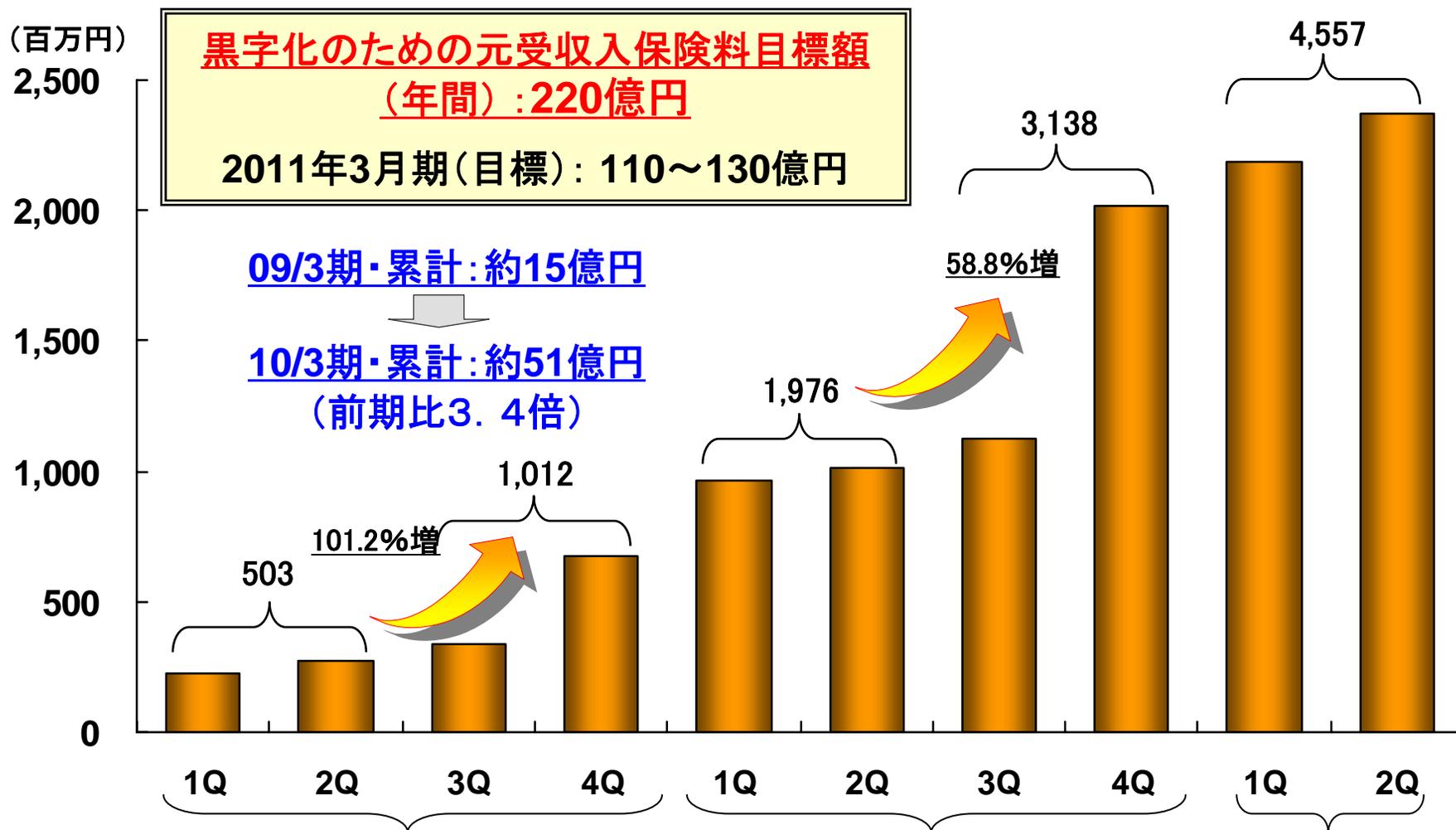
年平均成長率(CAGR)  
(2008年9月末~2010年9月末)  
275.0%

※計上=保険料の入金完了

# SBI損保の元受収入保険料は順調に増加

2011年3月期上半期(4月~9月)は前年同期比では130.6%増、  
前下半期比でも45.2%増の約46億円

元受収入保険料(計上ベース※)の推移



※計上=保険料の入金完了

2009年3月期

2010年3月期

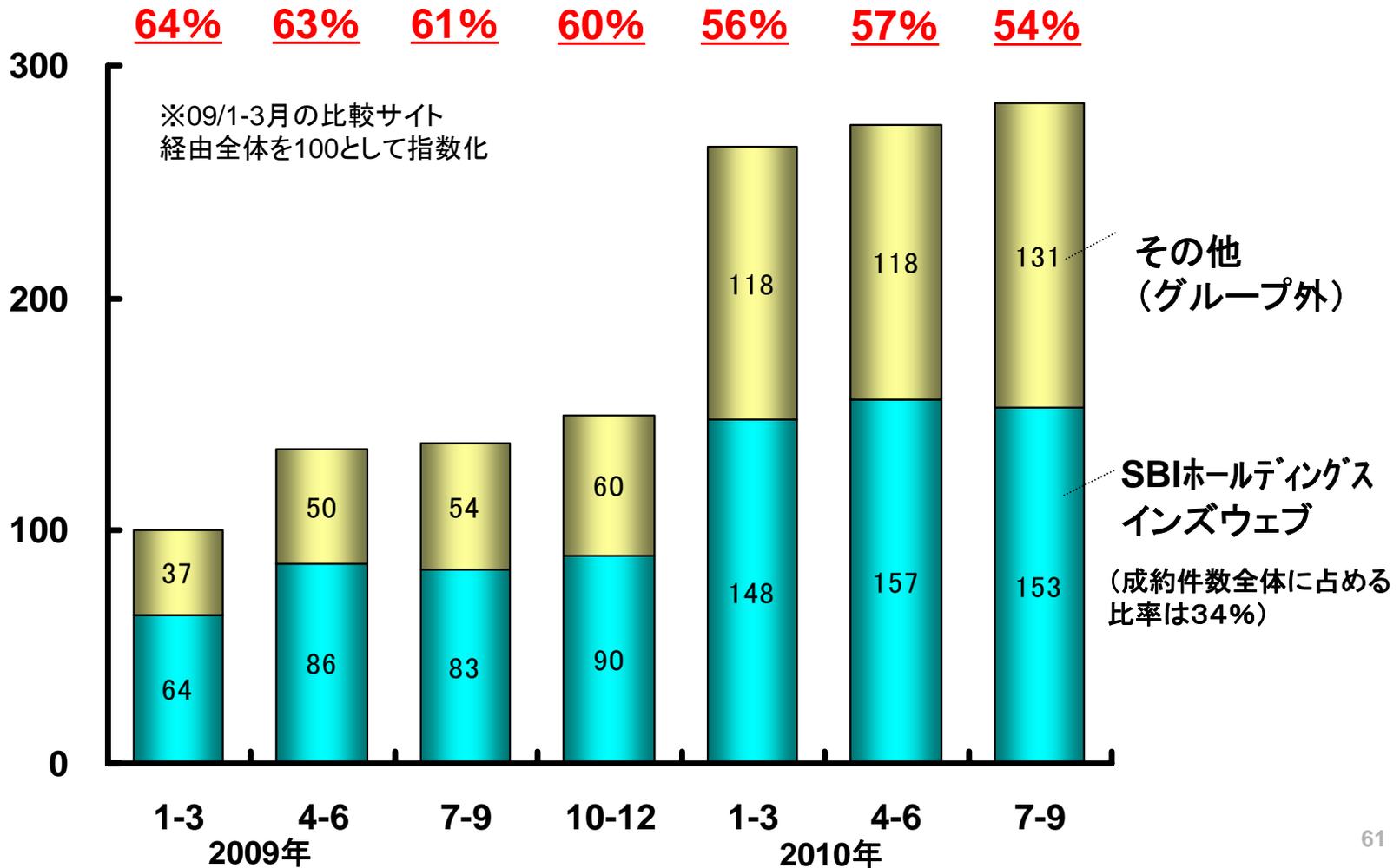
2011年3月期



# SBI損保とインズウェブとのシナジー

## 比較見積りサイト経由でのSBI損保の成約件数 四半期比較(指数)

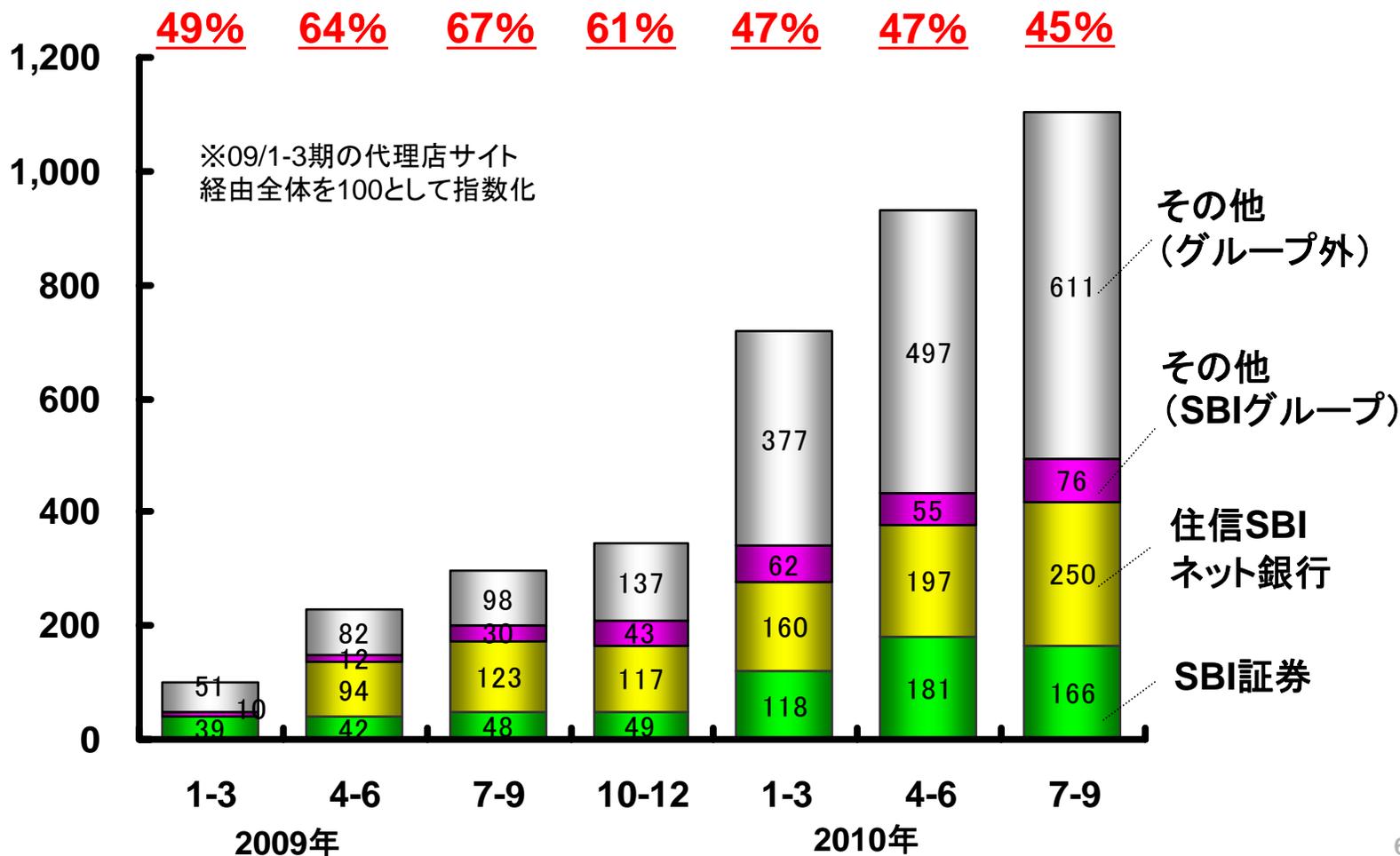
### 比較見積りサイト経由の成約件数に占めるインズウェブのシェア



# SBI損保とグループ各社とのシナジー

## 代理店サイト経由でのSBI損保の成約件数 四半期比較(指数)

### 代理店サイト経由の成約件数に占めるSBIグループのシェア



## (4) 拡大する顧客基盤及び販売チャネル

- ① 拡大する顧客基盤と認知度
- ② リアルチャネルの展開状況

## ① 拡大する顧客基盤と認知度

# 急拡大するSBIグループの顧客基盤



主なグループ企業・事業部等		2010年10月末
SBI証券	(口座数)	213.9
SBIH インズウェブ	(保有顧客数)	366.0
イー・ローン	(保有顧客数)	97.9
上記以外の金融系サイト	(保有顧客数)	12.9
MoneyLook(マネールック)	(登録者数)	60.7
モーニングスター	(新ポートフォリオ登録者数)	6.2
SBIカード	(カード発行枚数)	8.6
住信SBIネット銀行	(口座数)	91.0
SBI損保	(累計成約者数)	21.7
オートックワン	(09年度利用者数)	128.0
生活関連サイト(チケット流通、ムスビー)	(登録会員数)	63.0
SBIクレジット	(顧客数)	8.0
その他		33.2
<b>合計</b>		<b>1,111.1</b>

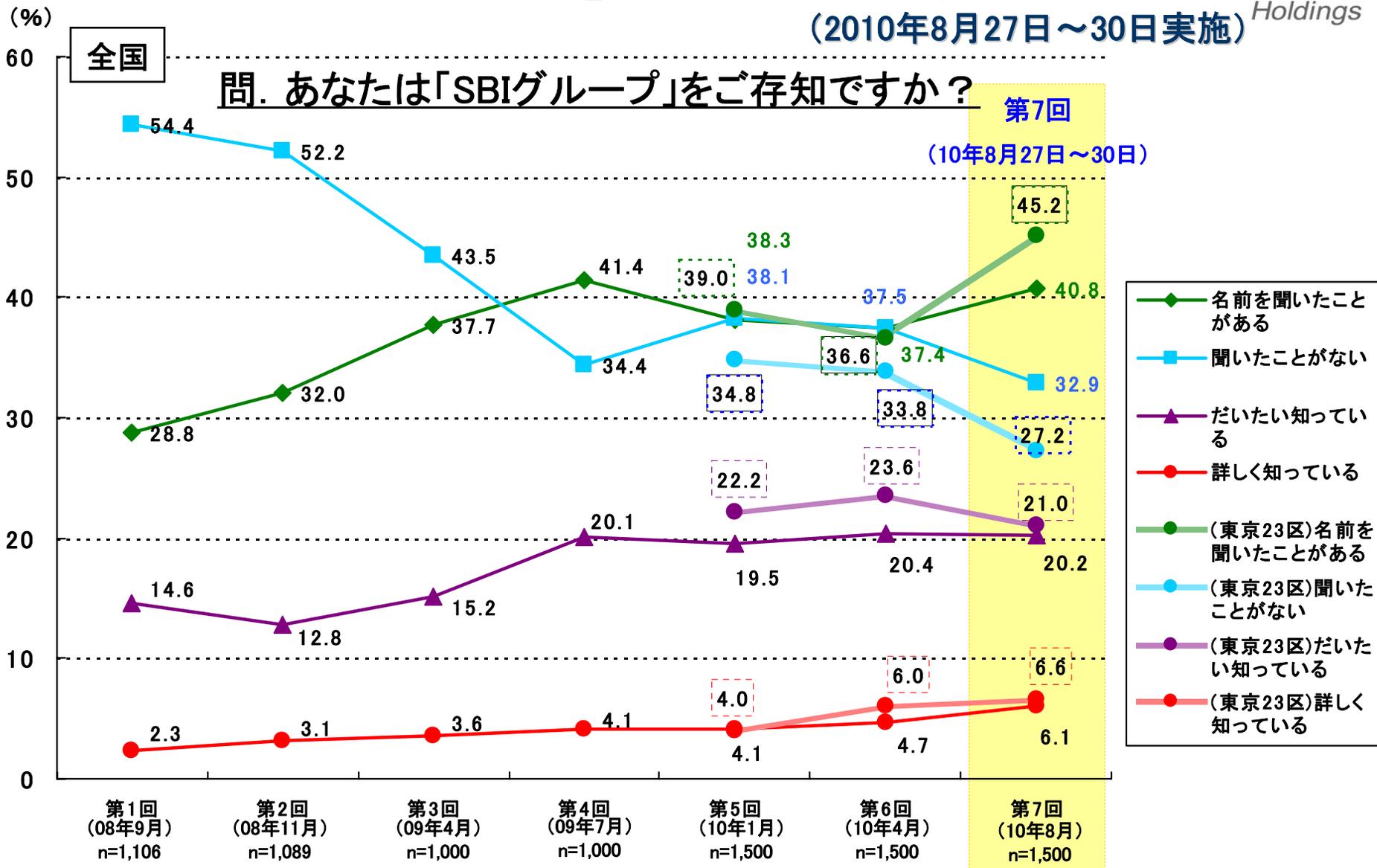
※ 2009年9月に定義の見直しを行ったため、2009年3月以前と2010年3月以降とは集計方法が一部異なります。

※ 各サービスサイトの性質上、複数の取引を行ってもユニークユーザーを認識しうる場合には重複を省く一方、グループ企業間における重複顧客はダブルカウントされています。

※ SBI損保の累計成約者数は、継続契約、継続期間満了、中途解約者数等の数字を除いた数字です。

# 「SBIグループ」に対する認知度調査

(2010年8月27日～30日実施)



調査方法: goo!サーチを利用したWebアンケート調査

調査実施期間: 第1回(08年9月9日～9月11日)、第2回(08年11月26日～11月28日)、第3回(09年04月13日～04月16日)、第4回(09年7月1日～7月3日)、第5回(10年1月6日～1月8日)、第6回(10年4月2日～4月6日)、第7回(10年8月27日～8月30日)

# 「SBI」ブランド認知の向上へ向けたテレビCM展開

(2010年10月～12月のCM素材)

## 「変革を起こそう」篇

名ばかりの 顧客中心主義なんかいらない

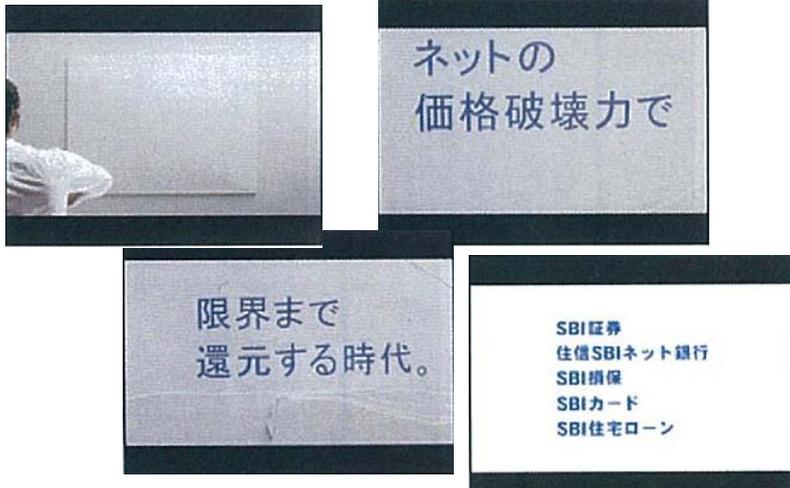
金融サービスに 変革を起こそう

新しい時代が やってきた

それは ネットの価格破壊力で

あなたに 限界まで還元する時代

**全力顧客還元主義 SBI!**



## 「賛同票」篇

いま、SBIを

選び利用してくださる お客さま

1,100万人 その意思是!

次世代金融サービスへの

賛同票と 信じている

**全力顧客還元主義 SBI!**



# インフォメーションミーティング開催地区 CMオンエア実績及び予定

## ◆スポット提供

第1弾(実施済): 10/30(土)~11/7(日)

地区	局
関東	フジテレビ、テレビ朝日 計78本
関西	関西テレビ、ABC朝日放送 計70本
中部	中部日本放送、名古屋テレビ 計98本

**NEW!**

第2弾: 11/27(土)~12/5(日)

地区	局
関東	日本テレビ
関西	ABC朝日放送
中部	名古屋テレビ

◆他、番組提供も一部実施

## ② リアルチャネルの展開状況

# SBI証券支店・SBIマネープラザ



## インフォメーションミーティング開催各地での展開状況 (\*)

SBI証券

全国23支店

SBI マネープラザ

全国183店舗

住宅ローン取扱:90店舗(うち証券仲介も行う店舗:18店舗)  
証券仲介のみ:93店舗

近畿地域:計30店舗

SBI証券

3支店

SBI マネープラザ

27店舗

住宅ローン取扱:13店舗(うち証券仲介も行う店舗:1店舗)  
証券仲介のみ:14店舗

東京近郊:計64店舗

SBI証券

9支店

SBI マネープラザ

55店舗

住宅ローン取扱:35店舗(うち証券仲介も行う店舗:13店舗)  
証券仲介のみ:20店舗

東海地域:計25店舗

SBI証券

1支店

SBI マネープラザ

24店舗

住宅ローン取扱:8店舗(うち証券仲介も行う店舗:2店舗)  
証券仲介のみ:16店舗

(\*) 2010年11月19日現在

(\*)2) 証券仲介を行う店舗とは、SBI証券を所属金融商品取引業者とする金融商品仲介業者店舗

### 3. 海外展開の状況はどうなっていますか？

(1) 収益に不可欠なグローバル展開

(2) グローバルネットワークバリューの創出に向けて

# SBIグループの海外投資に関する最近の記事



**VC、海外投資拡大**  
SBIやサイバーエージェント系

**SBI 現地の顔役と連携**  
新興国でJVファンド加速

**SBI 未公開大企業に投資**  
中国・東南ア 共同ファンド活用

新聞記事

(2010年11月10日 フジサンケイビジネスアイ)

新聞記事

(2010年11月10日 日刊工業新聞朝刊)

新聞記事

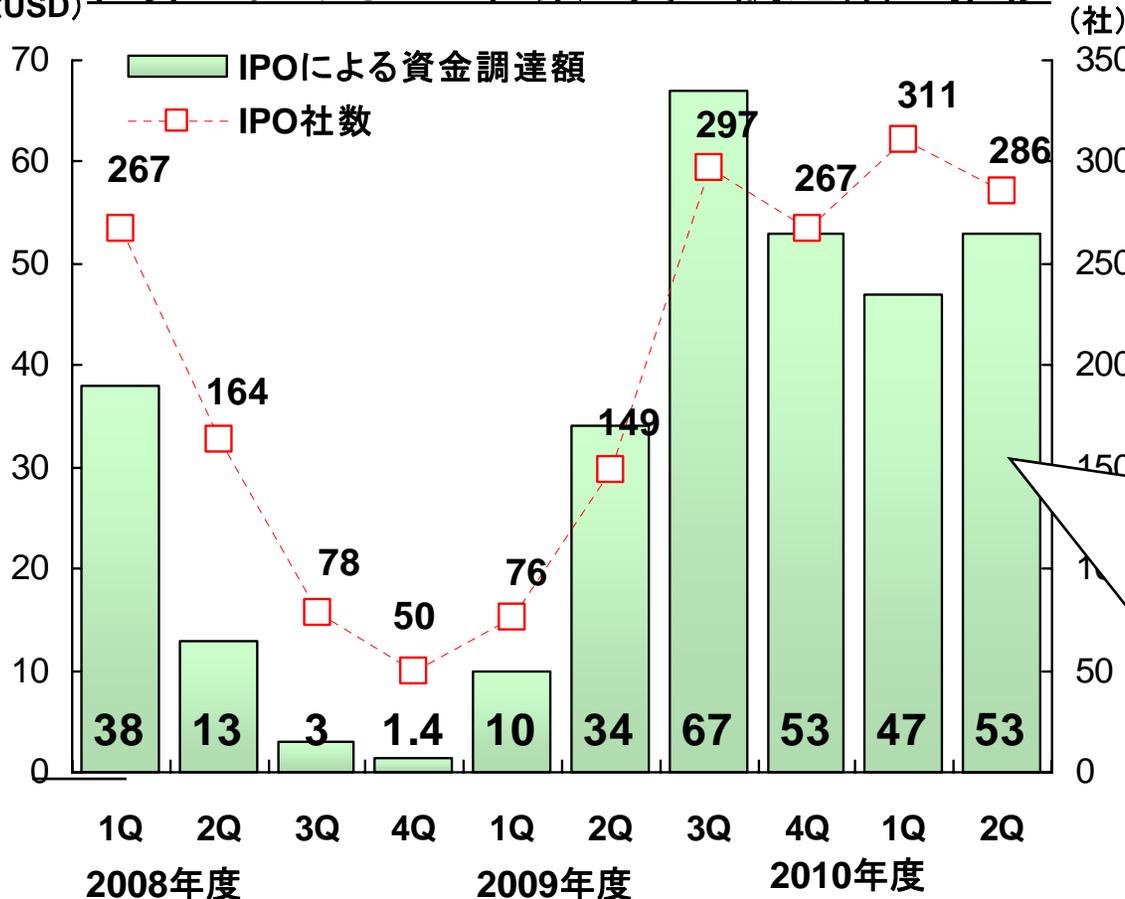
(2010年11月10日 日本経済新聞朝刊)

# (1) 収益に不可欠なグローバル展開

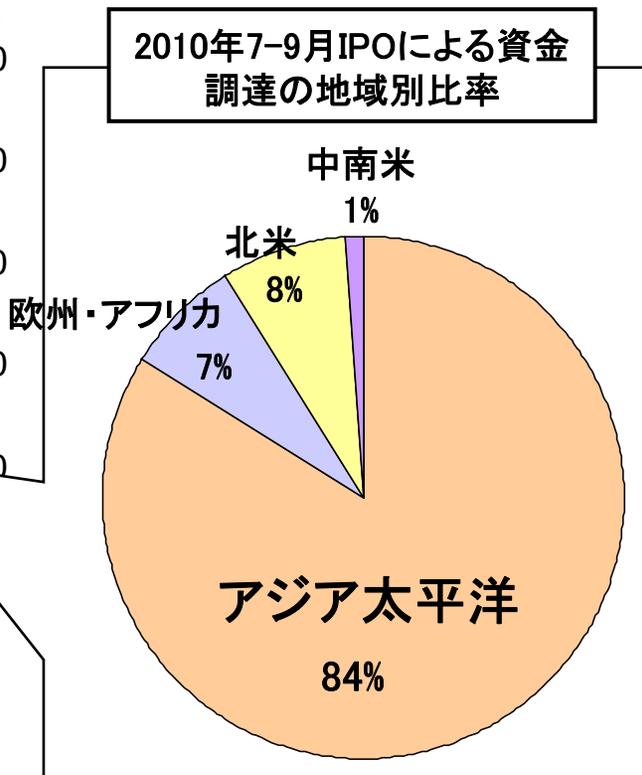
# 世界のIPO、とりわけアジアにおけるIPOは高水準で推移

## 世界におけるIPO社数と資金調達額の推移

(10億USD)



(社)



- 2010年7-9月期のIPOにおける資金調達額上位10社のうち5社、上位20社のうち10社が新興国におけるIPO
- 同期間でIPOによる全資金調達額の84%がアジア太平洋地域におけるIPOによる

# 新興国に流入する資金が増加

## 個人の投資 株に回帰

「投信マネーの大半は、経済成長で株高が期待できる新興国に向かう。  
10月初旬に新興国ファンドは週間で約60億ドルの買い越しと、2007年12月以来の高水準になった」

新聞記事

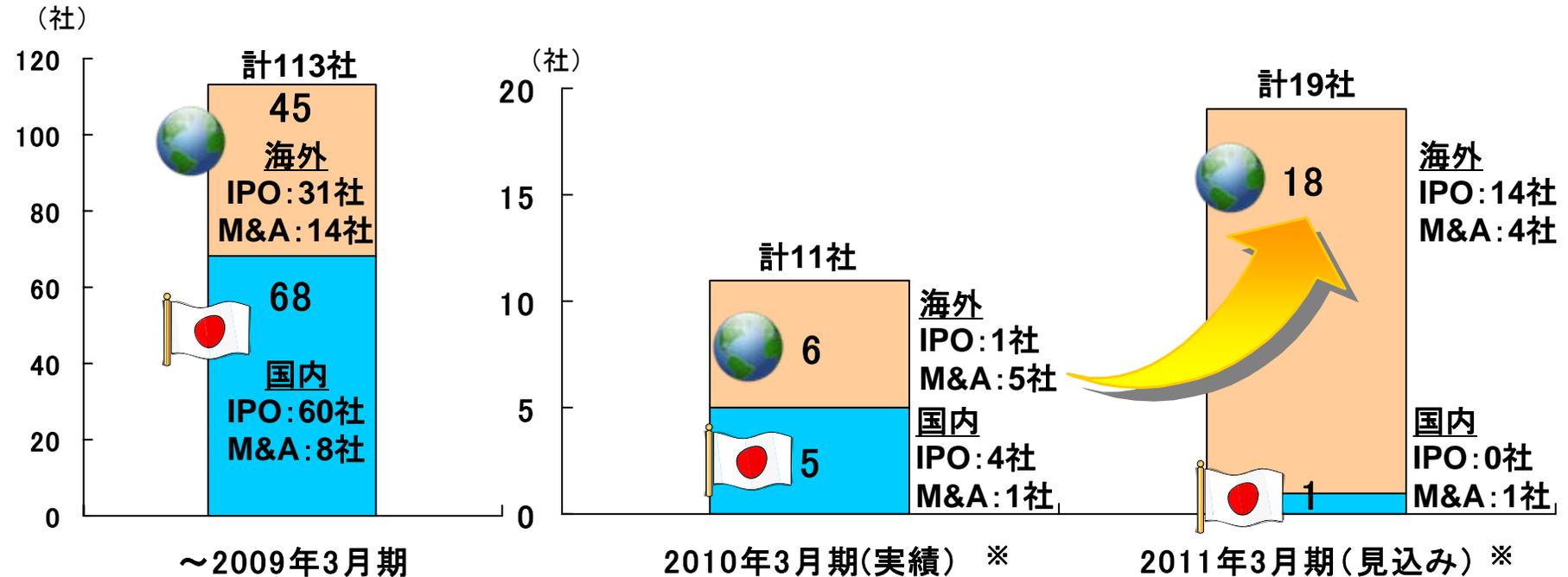
～世界各国の株式指数上昇率～  
(2010年9月～10月末)

指数	上昇率(%)
MSCIエマージング市場 (新興国21カ国の株式で構成)	14%
ダウ工業株30種平均	11%
日経平均株価	4%

(2010年11月2日付け 日本経済新聞夕刊より抜粋)

# アセットマネジメント事業における IPO・M&A実績

低調な国内IPOマーケットに依存することなく、  
海外マーケットで今後も順調にイクジットする見込み



第2四半期末までに、下記4社がIPO・M&AによりEXITを実現しています

- |       |  |          |
|-------|--|----------|
| 4月1日  | メディカモバイル(株)                            | (M&A)    |
| 5月18日 | Navinfo Co., Ltd.                      | (深圳)※    |
| 6月23日 | Harbin Gloria Pharmaceuticals Co. Ltd. | (深圳)※    |
| 9月11日 | Wisol Co., Ltd.                        | (KOSDAQ) |

※ LP出資しているNew Horizon Capital(2号ファンド) に組入れられている銘柄からのExit社数(2010年3月期:3社 2011年3月期:5社)を含みます。

# 世界に広がる今後のIPO・M&A

第3四半期では既に下記3社がIPOを実現

◆印: 海外ファンドからの投資分

時期	会社	市場(国名)	組入れファンド
10月 7日	Sunac China Holdings Limited	香港(中国)	◆ New Horizon Capital (2号ファンド)
10月26日	ITEK Semiconductor, Inc.	KOSDAQ(韓国)	◆ KTIC運用ファンド
10月27日	Betfair Group plc	ロンドン(英国)	SBIHD/SBIインベストメント運用ファンド

2010年11月以降、下記12社のIPO・M&Aを見込む

予定時期	予定会社	予定市場(国名)	組入れファンド
第3四半期	A社	テルアビブ(イスラエル) 上記のほか NASDAQ S-1申請済	SBIインベストメント運用ファンド
	B社	ブタペスト(ハンガリー)	◆ SBI European Fund (ハンガリーファンド)
	C社	M&A	◆ New Horizon Capital (2号ファンド)
第4四半期	D社	M&A	◆ SBI Global
	E社	KOSDAQ(韓国)	SBIインベストメント運用ファンド
	F社	香港(中国)	SBIHD/SBIインベストメント運用ファンド
	G社	ホーチミン(ベトナム)	◆ Vietnam Japan Fund (ベトナムファンド)
	H社	台湾(台湾)	◆ SBI & Capital22 (台湾ファンド)
	I社	GTSM(台湾)	◆ SBI & Capital22 (台湾ファンド)
	J社	M&A	◆ New Horizon Capital (2号ファンド)
	K社	M&A	SBIHD
	L社	KOSDAQ(韓国)	◆ KTIC運用ファンド

# 高パフォーマンスを誇るNew Horizon Fund

(ファンドパートナー:シンガポール政府系投資会社TEMASEK グループ)

## New Horizon Fund (1号ファンド、出資約束金100百万USD、出資比率50%)

- 投資先10社のうちこれまでに8社がIPO/M&A等によりEXIT済
- 2009年度末までの当社営業利益への貢献は累計で87.8億円、当第2四半期(4-9月)は13.4億円

(単位:百万USD、括弧内は日本円換算額)

投資残高	累計キャピタルゲイン	含み益
31.4(26.2億円)	285.9(238.5億円)	72.4(60.4億円)

\*ファンド全体での金額 \*11月17日現在。為替レート1USD=82.53JPYで日本円に換算

## New Horizon Capital (2号ファンド、出資約束金500百万USD,LP出資、出資比率10%)

- 18社に投資を実行しており、これまでに6社がEXIT済、その他10社も2012年までのEXITを予定
- EXIT済銘柄はすでにファンド全体で473百万USD(394.0億円)の含み益を有している(11月17日現在)



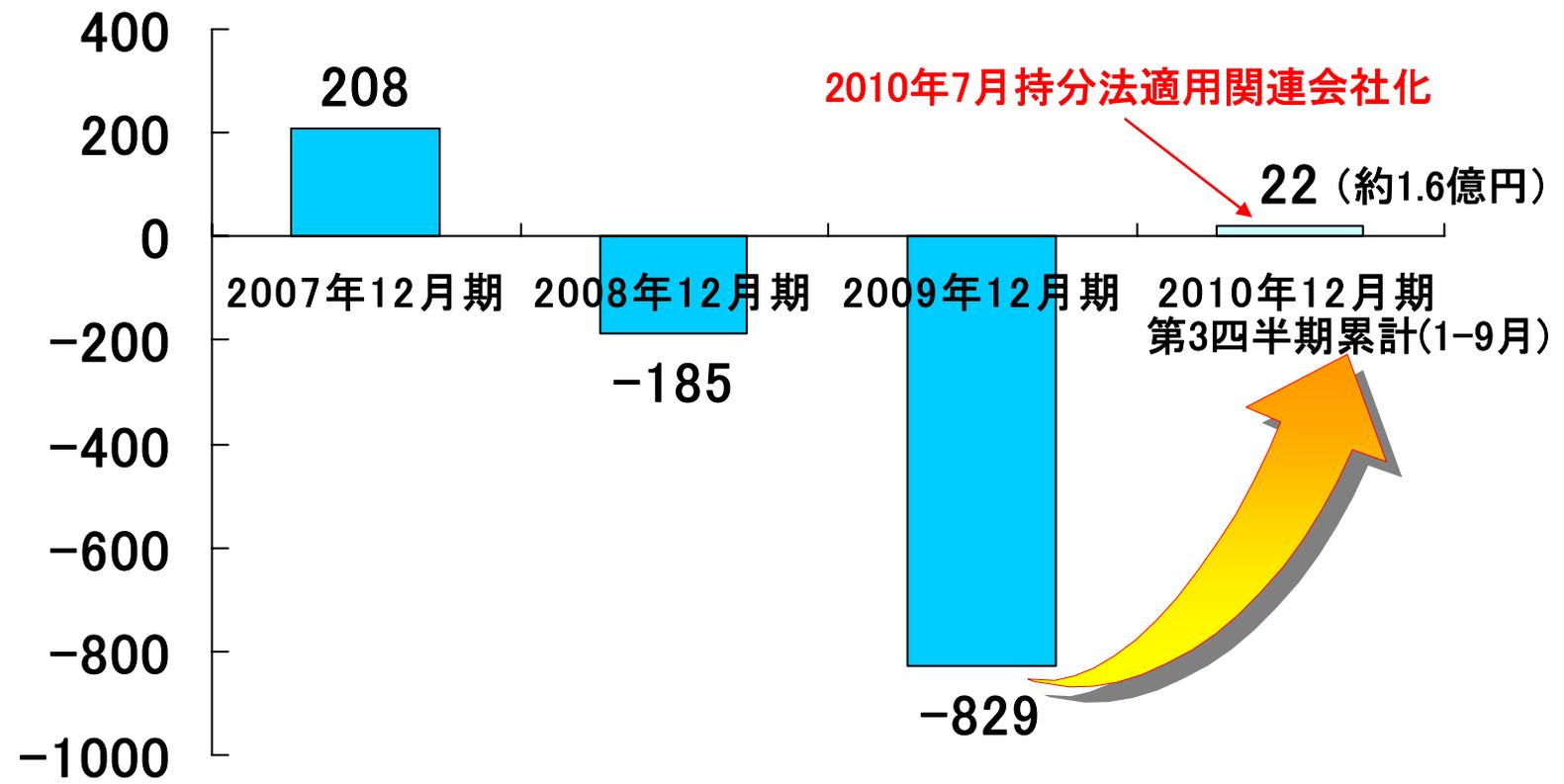
# グループ会社化した韓国投資会社 2社の業績は今期に入り黒字化①



**Korea Technology Investment Corporation (KTIC)**  
(持分法適用関連会社、韓国KOSDAQ上場)

単位: 億韓国ウォン

## 営業利益推移



韓国政府資金を主とした1000億KRW規模の「日韓部品素材ファンド」の運用会社に内定

\*1億韓国ウォン = 734.3万円 (2010年9月30日時点)



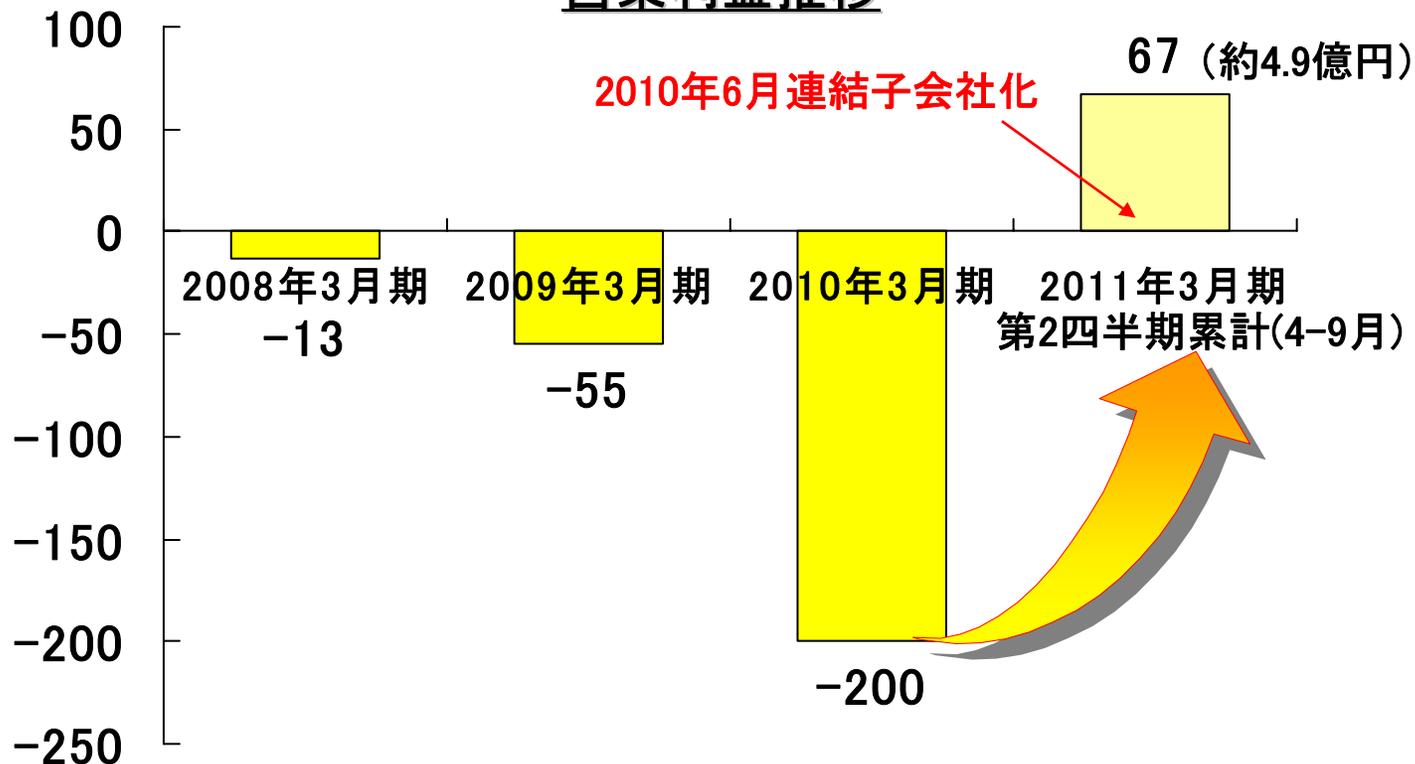
# グループ会社化した韓国投資会社 2社の業績は今期に入り黒字化②



**SBI Global Investment Co., Ltd.** (IBKTIC GLOBAL INVESTMENT ADVISORY CO., LTD)  
(連結子会社、韓国KOSDAQ上場)

単位:億韓国ウォン

## 営業利益推移



韓国金融市場で注目を集める金融商品であるSPACに注力しており、  
設立したファンドのうち1本が8月に上場済み

\*1億韓国ウォン = 734.3万円 (2010年9月30日時点)

# 出資先の海外金融機関は急速に成長

出資先海外銀行3行の今上半期の税引前利益は前年同期比で大きく向上



ティエン・ホン銀行(出資比率20.0%:持分法適用関連会社)

(単位:百万円)\*

	2009年12月期 上半期(1-6月)	2009年12月期 下半期(7-12月)	2010年12月期 上半期(1-6月)	前年同期比 増減率
税引前利益	385	438	544	41.4%



プンペン商業銀行(出資比率40.0%:持分法適用関連会社)

	2009年12月期 上半期(1-6月)	2009年12月期 下半期(7-12月)	2010年12月期 上半期(1-6月)	前年同期比 増減率
税引前利益	8	26	28	246.6%



セイロン商業銀行(コロンボ証券取引所上場、出資比率9.99%)

	2009年12月期 上半期(1-6月)	2009年12月期 下半期(7-12月)	2010年12月期 上半期(1-6月)	前年同期比 増減率
税引前利益	2,872	2,887	3,156	9.9%

➡ 2009年12月期の配当性向は41%

## (2) グローバルネットワークバリューの創出に向けて

- ① 概ね完了した有カパートナーとの提携によるファンド設立
- ② グローバルネットワークバリューの追求
- ③ 海外拠点網の拡充とグローバル金融コンテンツ事業の強化

# ① 概ね完了した有カパートナーとの提携によるファンド設立

# 中国三大名門校のすべてと投資ファンド運営で提携

2008年1月 合併ファンド設立

## 【清華ホールディングス】



- ・清華大学が100%保有するアセットマネジメントカンパニー
- ・同大学における技術移転やアセットマネジメント、国際的な業務提携などを担う

2008年2月 合併ファンド設立

## 【北京青鳥】



- ・北京大学が擁する企業グループ北京大学青鳥集団のグループ会社傘下
- ・中国屈指のハイテク企業

2010年10月 基本合意

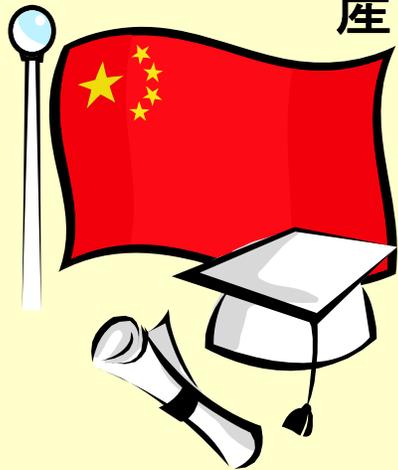
## 【復旦大学】



- ・傘下のベンチャー企業は復旦復華(上海A株)、上海復旦マイクロエレクトロニクス(香港GEM)、復旦張江生物医薬(香港GEM)などが上場

# 中国における大学とのファンド共同運営の意義

産・官・学各分野が非常に親密なリレーションシップを構築



UNIVERSITY

最先端の研究シーズを大学から  
次々に引き出して活用している

米国シリコンバレーのように、  
主要大学が中心となって広大な産業グループを形成

意義:

- 大学のリソース・教授陣等を活用した技術評価及び専門的見地からの様々なアドバイスが取得可能
- 資金募集の面でも、既に成功を収めている卒業生が経営する公開企業とのリレーションが活用可能
- 大学発ベンチャー企業には各々の大学から優秀な人材が集まる

# 様々なパートナーとの提携による海外VCファンド

ファンド名(略称)	設立時期	パートナー	出資約束金額	SBI 出資比率
New Horizon Fund 	05年5月	TEMASEK	100百万USD	50%
清華大学ファンド 	08年1月	清華ホールディングス(北京)	30百万USD	87.1%
北京大学ファンド 	08年2月	北京大青鳥環宇(北京)	100百万USD	50.1%
復旦大学ファンド 	11年半ば(予定)	復旦大学(上海)	Offshore: 約50百万USD以上 (SBI側) Onshore: 約30百万USD以上 (復旦大学側)	
中国三社との共同ファンド 	09年3月	招商証券、源裕投資、中信銀行	Offshore: 約20.5百万USD (SBI側) Onshore: 約9百万USD (中国側)	
台湾ファンド 	08年10月	台湾のIT企業創業者	22.5百万USD	66.7%
Vietnam Japan Fund 	08年4月	FPT	100百万USD	96.3%
SBI SOI Fund 	08年6月	慶応大学	5億円	100%
Hungary Fund 	09年5月	MFB Invest Ltd.	100百万EUR	60%
Malaysia Fund 	09年12月	PNB Equity Resource Corporation	50百万USD	50%
SBI-METROPOL Investment Fund 	10年5月	IFC METROPOL	100百万USD	50%
SBI-Islamic Fund 	10年7月	ブルネイ=ダルサラーム国・財務省	75百万SGD	50%
SBI-Jefferies Asia Fund 	10年7月	Jefferies & Group, Inc	50百万USD	80%
Jefferies-SBI USA Fund 	10年6月	Jefferies & Group, Inc	150百万USD	50%
ブラジルファンド 	11年初頭(予定)	Jardim Botânico Investimentos	125万USD	50%
アフリカファンド 	11年度(予定)	Invest AD (アブダビ)	100万USD	50%

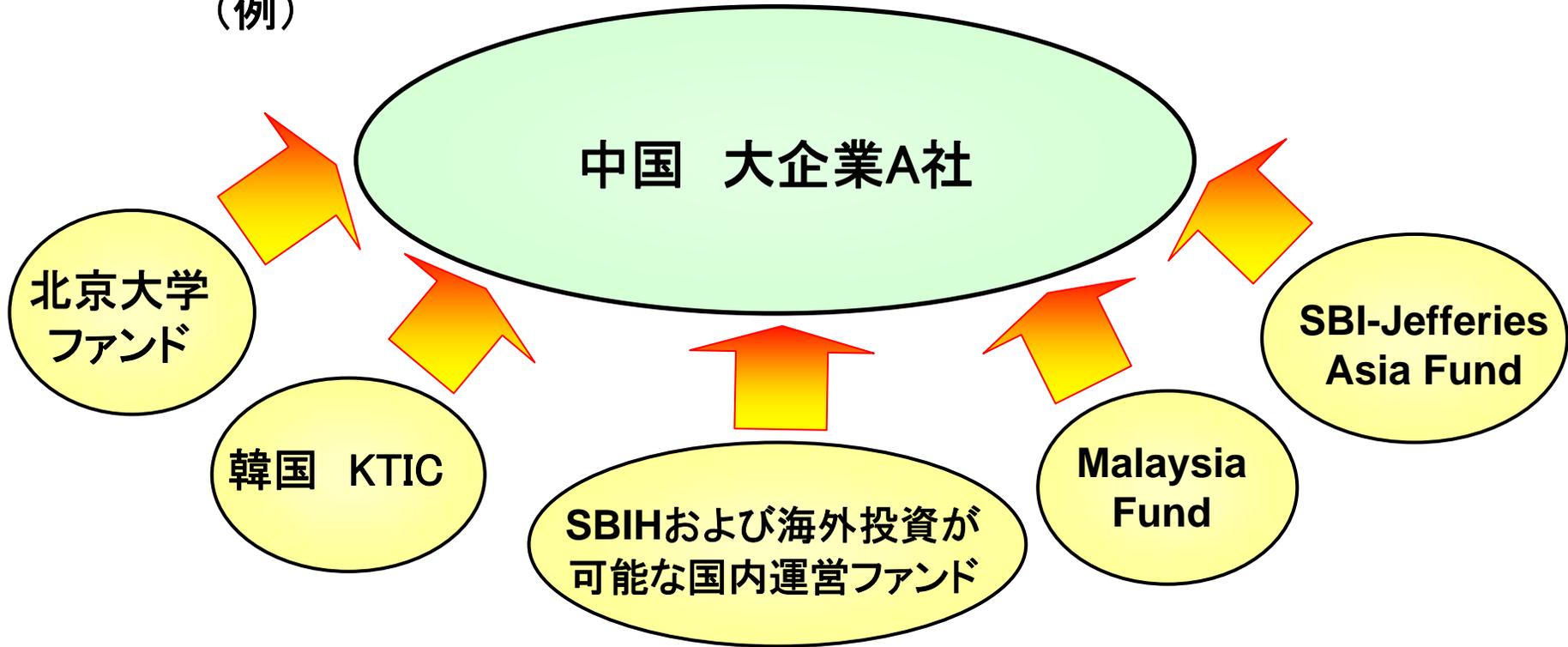
**インド、インドネシアにおいても新たなJVファンドの設立を予定**

## ② グローバルネットワークバリューの追求

- ( i ) ジョイントインベストメントによる投資規模の拡大
- ( ii ) 世界有力機関からの投資によるIPOバリューの向上
- ( iii ) 各国金融サービス事業の相互シナジーの創出

# ( i ) ジョイントインベストメントによる 投資規模の拡大

(例)



- 複数のファンドから出資を行うことで総額として大規模な投資が可能に
- 1社に対する各ファンドの出資制限の範囲内で、グループ全体としてその制限を超えた比率の出資が可能に

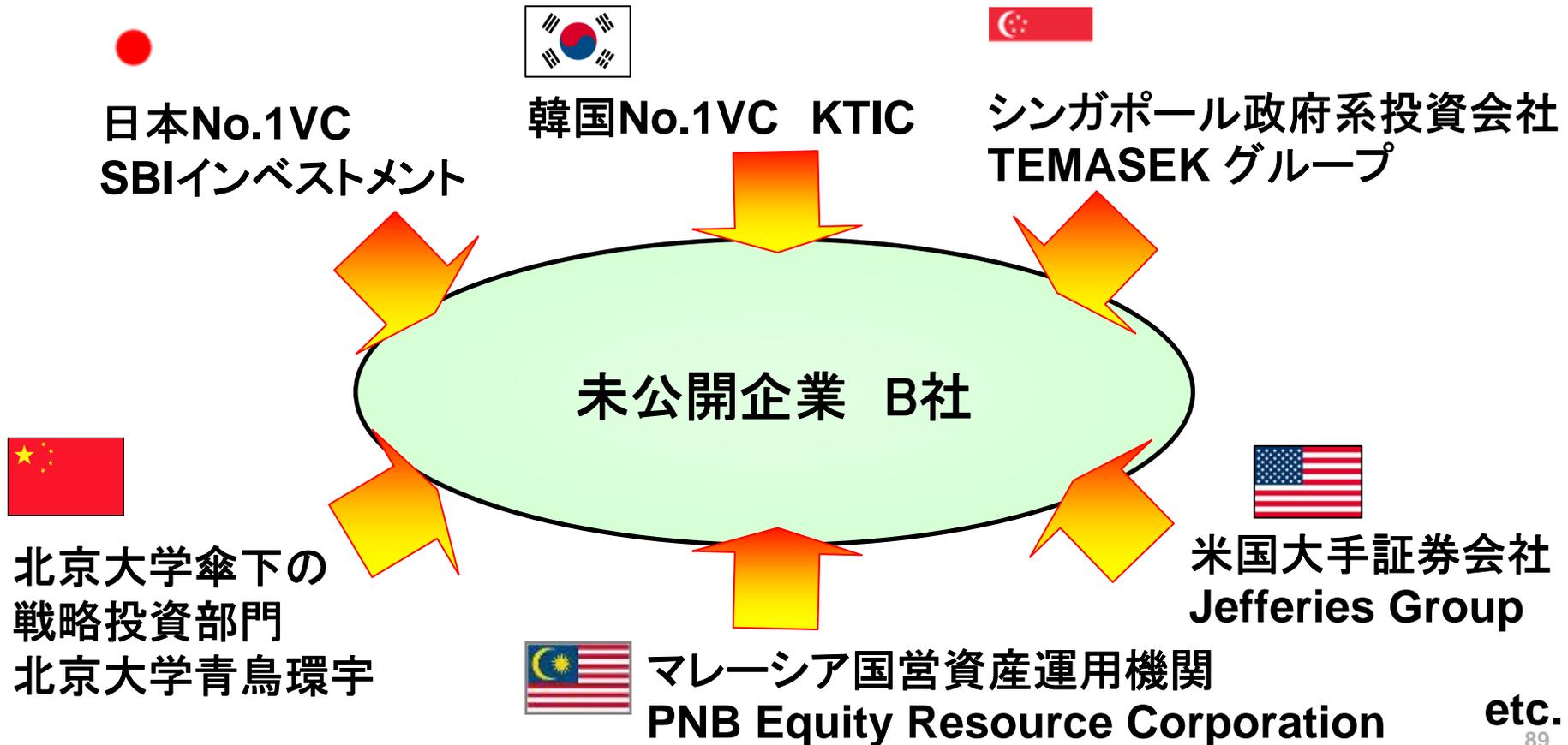


大企業に対しても出資比率を高めて経営への関与が可能となる

## (ii) 世界有力機関からの投資による IPOバリューの向上

上記複数のファンドが出資者として名を連ねることで  
IPO時のバリューが向上し、より高いリターンが期待できる

(例)



## **(iii) 各国金融サービス事業の相互シナジーの創出**

**iii) -1 証券事業**

**iii) -2 銀行事業**

**iii) -3 保険事業**

**iii) -4 今後の拡大予定地域**

# 日系金融機関で初となる カンボジアにおける証券事業フルライセンス認可取得



## SBIプノンペン証券

(2010年10月20日、フルライセンスの認可取得)

取引所開設後・・・ **証券引受** **株式買受受託** 等の証券業務

国有企業が上場する際の株式引受およびSBI証券と連携したカンボジア株式の日本における販売等、グローバルな業務展開を目指す

### カンボジア

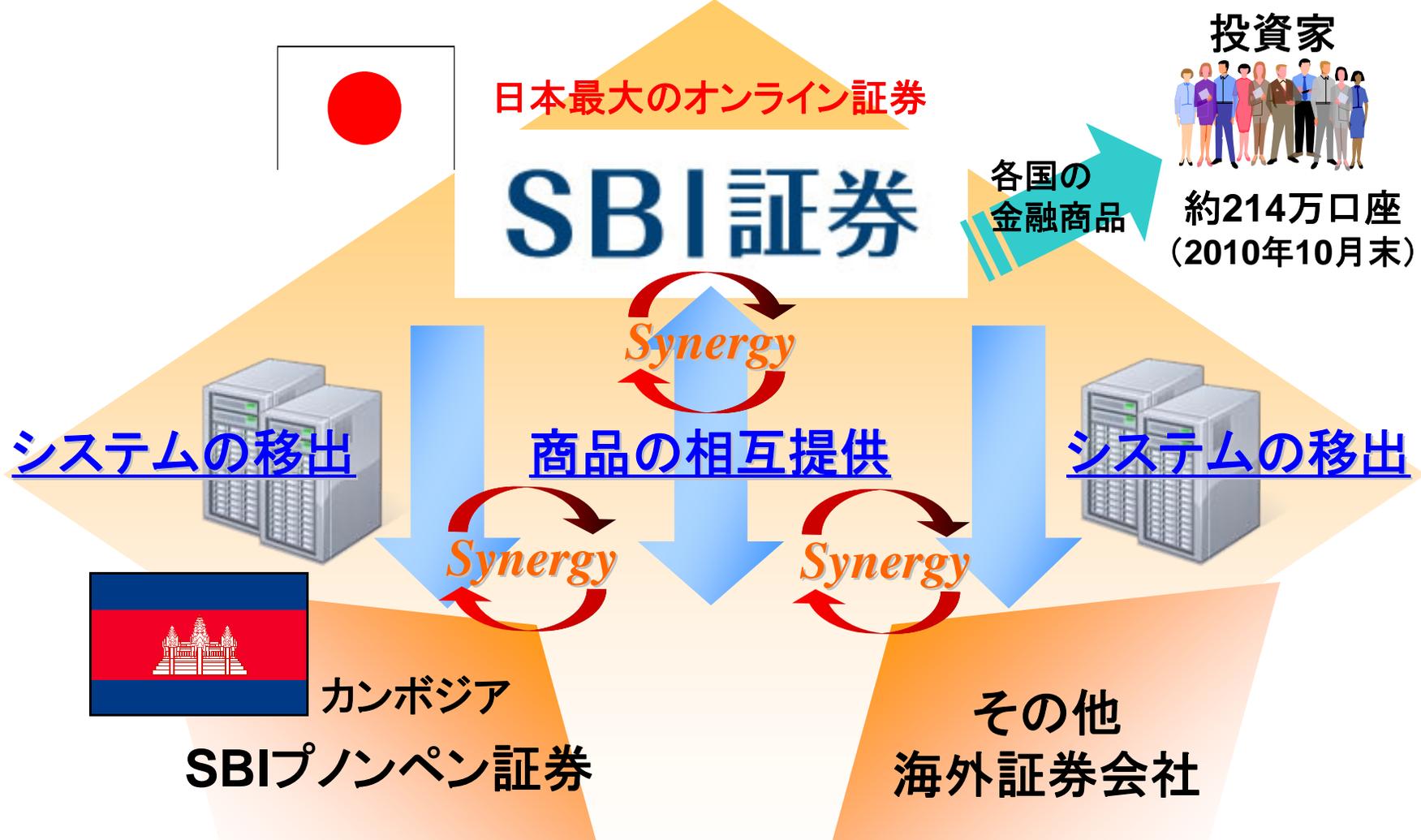
- 韓国や中国などの企業が数多く進出し、縫製などの製造業が成長段階に入っている
- 今後の同国の経済発展により金融市場も大きく成長すると期待される
- 国有企業を初めとする同国優良企業の上場が予定される

### プノンペン商業銀行

(当社40%出資／2008年9月開業)



# (例)証券事業のグローバルシナジー

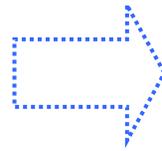


その他: 新興国の国営企業の民営化における証券等を引き受け、日本のマーケットで販売する(グローバルなアンダーライティング業務の展開)、等々

# グループ会社化された海外銀行との 相互シナジーを追求

## ～オビ銀行への出資によるオンラインバンキング事業の展開～

50%出資について基本合意済、株式取得後当社グループ化の予定



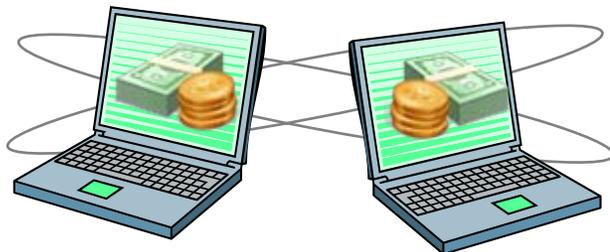
ロシア



**オビ銀行**  
(1994年設立)

SBIグループが日本で培ったオンラインバンキング事業のノウハウ

システムの安全性・安定性に優れ、より利便性の高いオンラインバンキングサービスの提供へ



<2009年12月期(通期)の業績※>

経常収益	31.9億円
当期純利益	4.3億円
資本金	29.9億円
総資産	311.2億円

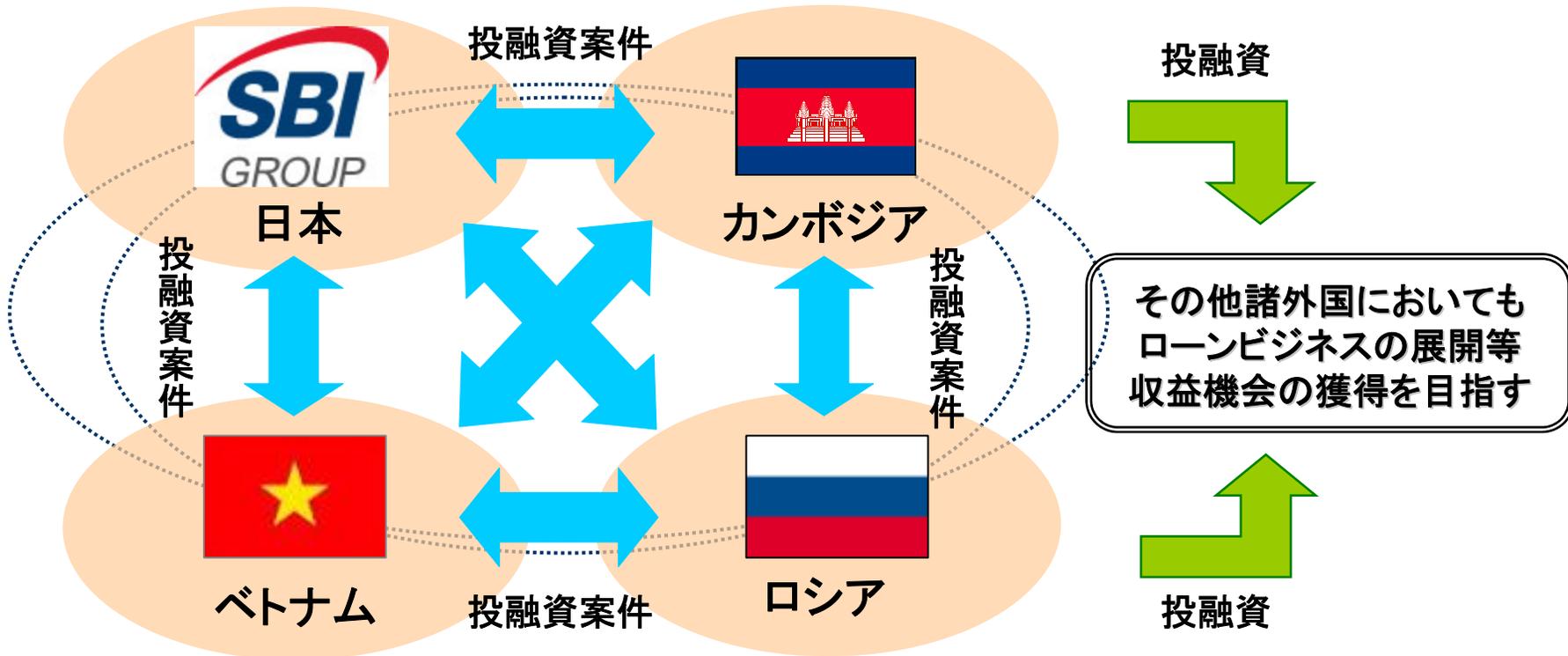
口座数	4,861口座
預金残高	256.5億円
ローン残高	78.2億円

※ 換算レートは(2009/12/31のレート)を使用

# (例) 銀行事業のグローバルシナジー

SBIグループと各海外銀行間で相互に投融資機会の提供を図り、各国における銀行事業の成長加速を目指す。

イメージ:



日本企業の各国進出に際して、当該企業の売掛金を担保にしたり、親会社の保証をとるなどして、金融面から支援する・・・等々

※各国の法規制に則り、各銀行独自の審査を行うことを前提とする。94

# 中国の損害保険会社「天安保険社」

新車販売台数が世界一となった中国では、今後の更なる自動車市場の拡大に伴い自動車保険市場の拡大が見込まれる



2010年7月に株式取得  
(出資比率:7.65%)

役員を1名派遣予定

SBIグループが有するオンライン  
保険事業のノウハウの提供

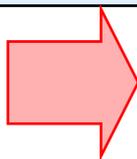
→ オンライン化を進める



## 天安保険社

- ・収入保険料(2009年):70億元(約902億円)※
- ・支店数:中国国内32支店
- ・設立:1994年

※1元=12.89円にて換算



2~3年以内のIPOを目指す

# 新たにインド、インドネシアにおける金融事業の展開、ベトナムにおける証券事業への参入を予定

【ロシア】  
オビ銀行  
(設立:1994年)



【中国】  
天安保険社(損害保険)  
(設立:1994年)



【インド】  
証券業、銀行業、保険、  
為替のOTC取引の展開  
を予定



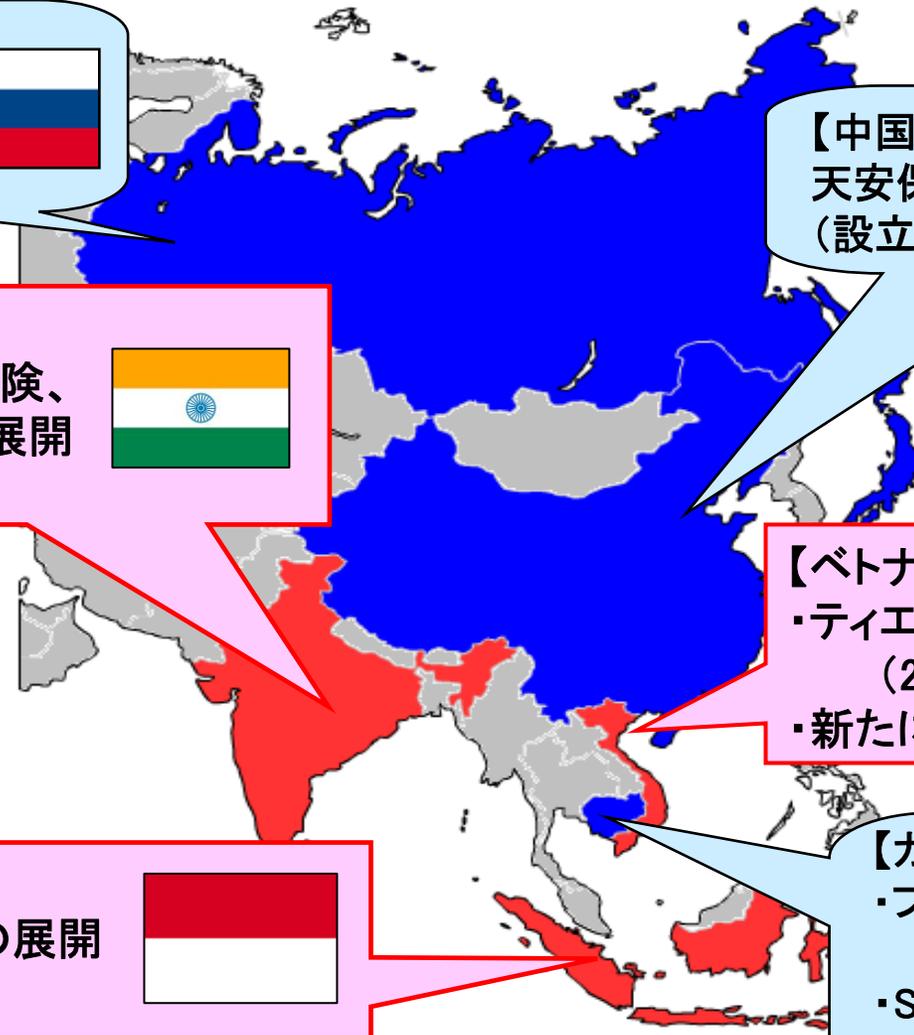
【ベトナム】  
・ティエン・ホン銀行  
(2008年5月開業)  
・新たに証券事業の展開を予定



【インドネシア】  
証券業、銀行業の展開  
を予定



【カンボジア】  
・プノンペン商業銀行  
(2008年9月開業)  
・SBIプノンペン証券  
(2010年10月認可取得)



### ③ 海外拠点網の拡充とグローバル金融コンテンツ事業の強化

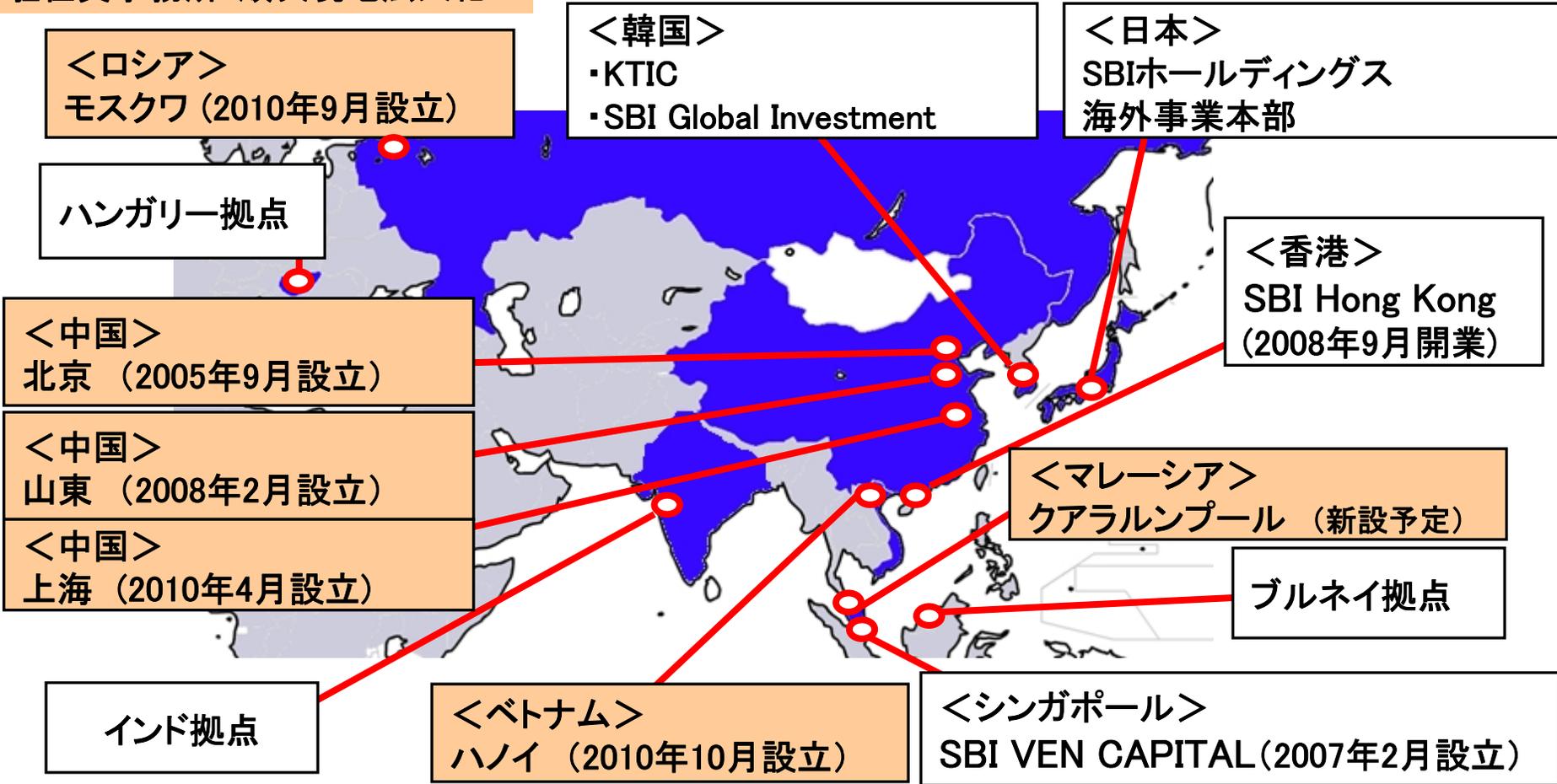
( i ) 拡充を進める海外拠点網

( ii ) グローバル金融コンテンツ事業の強化

# ( i ) 拡充を進める海外拠点網

健全で収益力の高い海外組織体制を目指す

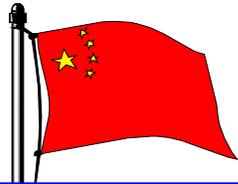
駐在員事務所：順次現地法人化へ



2011年3月期上半期 海外事業の営業利益：**約20億円**

# (ii) グローバル金融コンテンツ事業の強化

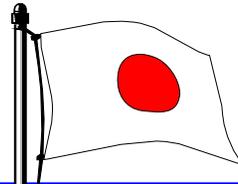
～情報を制する者が金融ビジネスを制す～



サーチナ  
中国等の海外情報

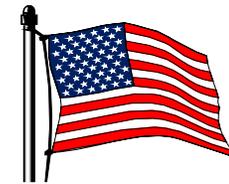


2010年2月 子会社化



MORNINGSTAR  
モーニングスター・株式新聞  
日本株・投資信託情報

1998年8月 ウェブページ開設



MORNINGSTAR  
米国モーニングスター  
米国、英国、スイス、中国、  
インド、ブラジル株レポートを  
モーニングスターに配信

THE WALL STREET JOURNAL.  
ウォール・ストリート・ジャーナル 日本版 japan.WSJ.com

WSJ日本版  
独自視点の海外経済情報

2009年12月 サービス開始

SBI Finance<sup>TM</sup>

総合金融ポータルサイト  
2010年9月開設

中国証券報  
新華社ネットワークを活用した  
情報提供

2010年10月 JV設立契約締結

インド及びベトナム圏などの高い成長が見込まれる地域に  
関する経済・金融情報に対するニーズをとらえるべく、  
今後は金融コンテンツ事業を世界規模で拡充

## 4. 数年後のSBIグループはどうなっていますか？

- (1) インターネットの進化と深化を捉えた成長の加速
- (2) 株式市況に左右されにくいビジネスの開花

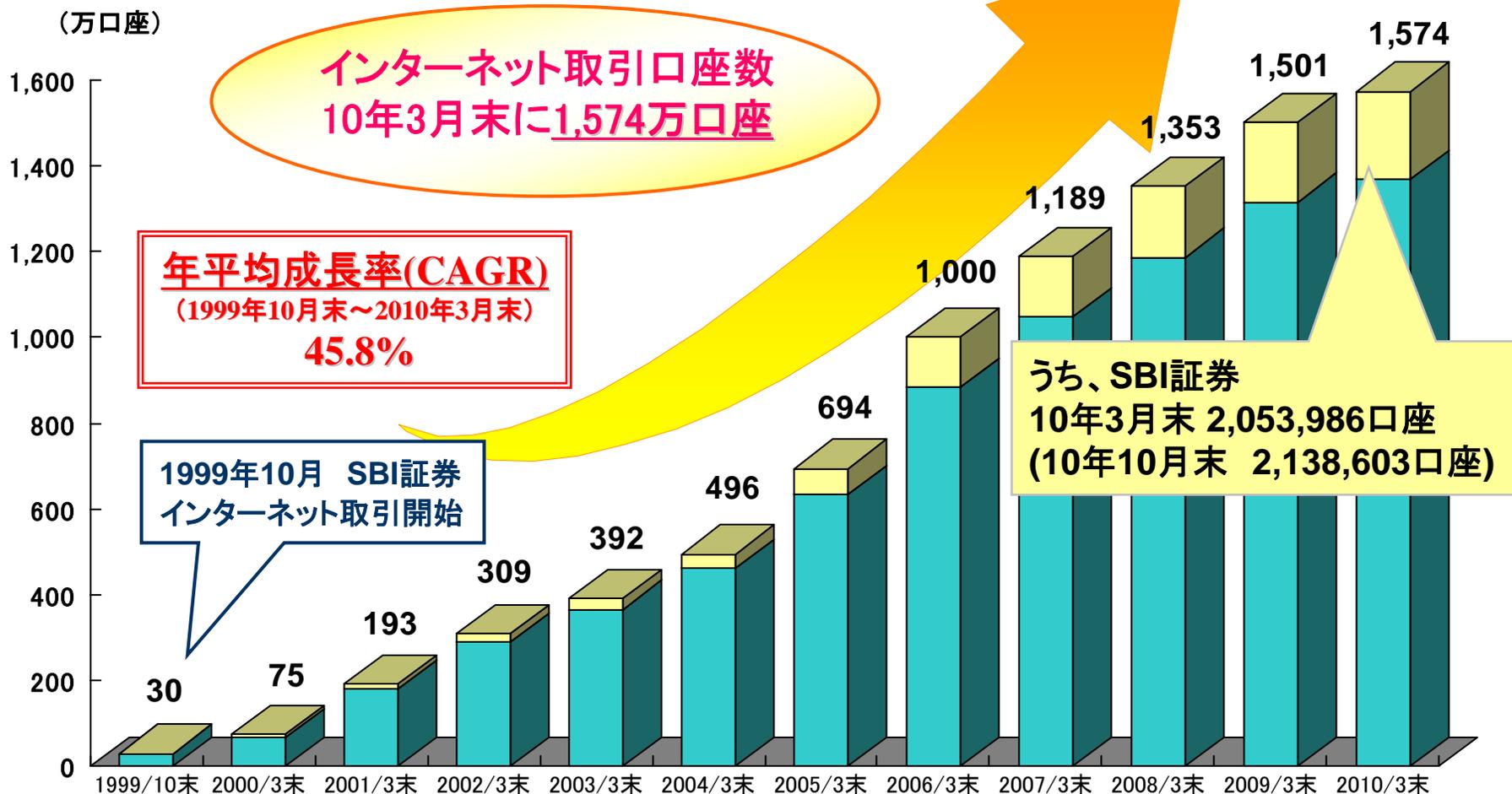
## (1) インターネットの進化と深化を捉えた成長の加速

速度の向上やユビキタス化、Web上での表現方法の充実などのインターネットの「進化」により、これまでインターネットが利用されていなかった分野へもインターネットが「深化」して活用されていく

# 引き続き拡大を続けるオンライン証券口座

## インターネット取引証券口座数の推移

(1999年10月末～2010年3月末)



データ出所: 日本証券業協会「インターネット取引に関する調査結果」(2010年3月末)、統計開始は1999年10月末

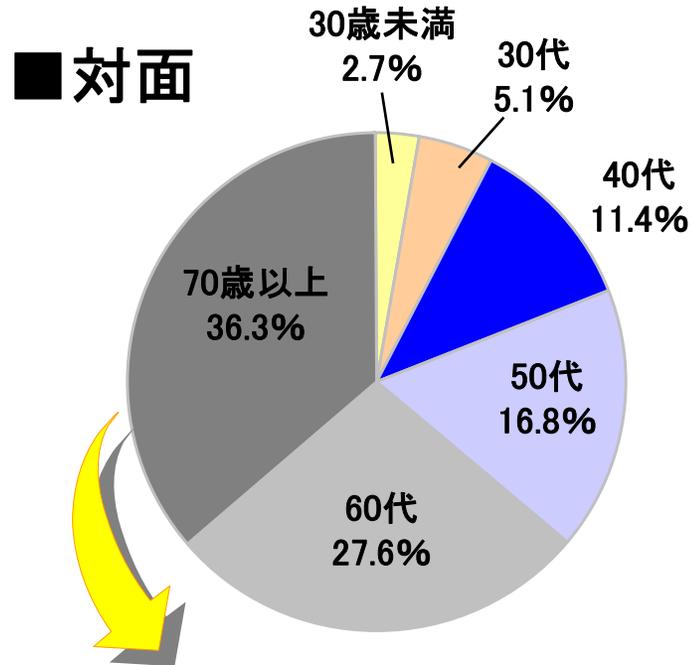
# 本格的なインターネット世代が成人へ

日本の商用インターネット  
開始: 1992年

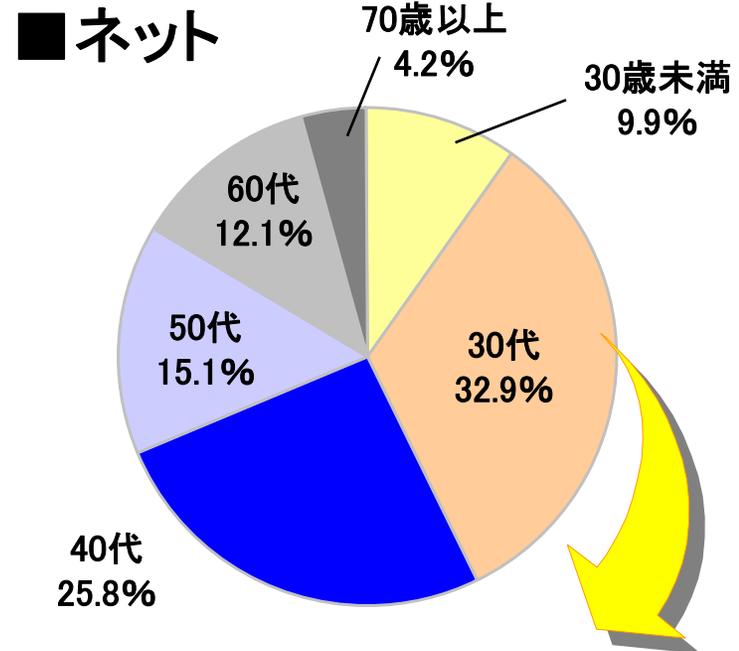


子供の頃からネットに慣れ親しんだ世代が2010年頃から本格的な購買行動・金融活動を開始

## SBI証券のチャネル別顧客層 (2010年10月末現在)



対面の顧客は高齢層の占める割合が高い

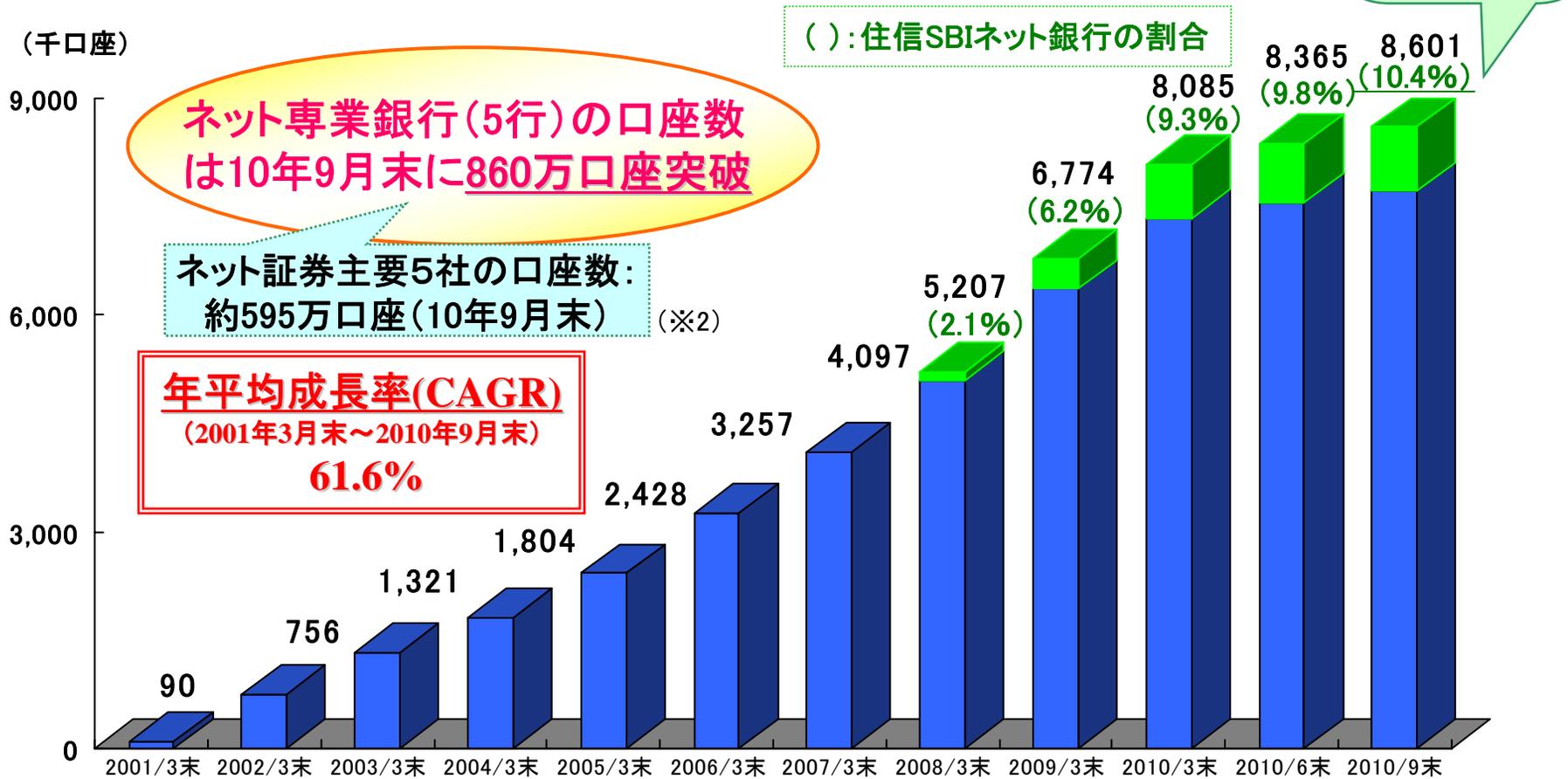


時間とともに現在20代・30代の顧客の資産は増加、大部分は対面取引に移らず、一顧客当たりの手数料は増加

※ 法人の口座数を含みません。

## インターネット專業銀行5行の口座数推移

(2001年3月末～2010年9月末) (※1)



(※1) 各行公表資料より当社にて集計。なお、インターネット專業銀行は住信SBIネット銀行、ジャパンネット銀行、ソニー銀行、楽天銀行、じぶん銀行。

(※2) SBI証券、マネックス証券、楽天証券、松井証券、カブドットコム証券の5社。各社公表資料より当社にて集計。

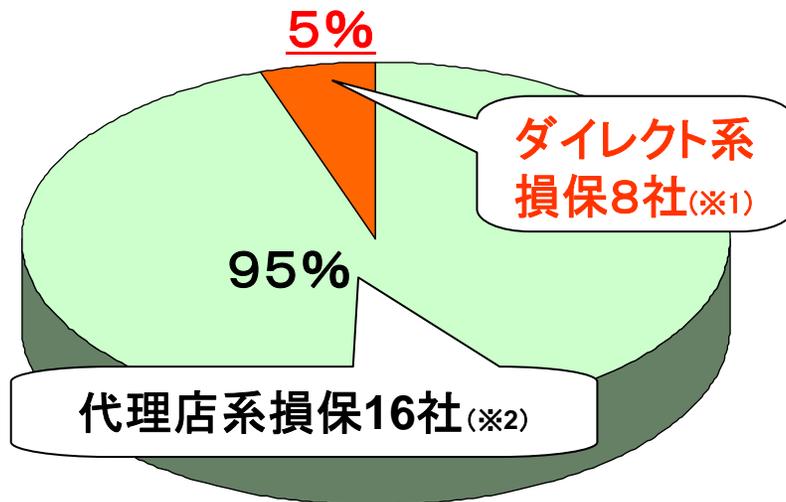
# 伸びる余地の大きいネット自動車保険

## 自動車保険における業界構成比

【2009年度 元受正味保険料】(括弧内は増減率)

代理店系	3兆3,113億円 (▲1.3)
<b>ダイレクト系</b>	<b>1,835億円 (+8.0)</b>
合計	3兆4,949億円 (▲0.8)

【2009年度 元受正味保険料におけるシェア】



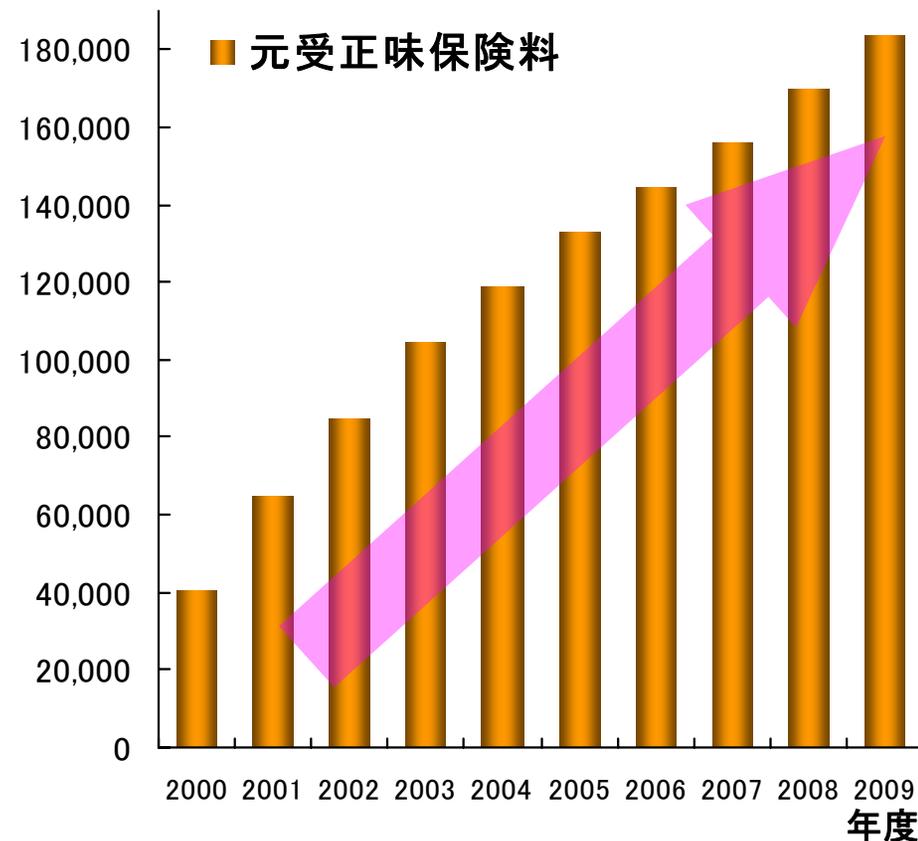
(※1)ダイレクト系損保8社: ソニー損保、三井ダイレクト、そんぼ24、イーデザイン、チューリッヒ、アクサ、アメリカンホーム、SBI損保

(※2)代理店系損保16社: 東海日動火災保険、損保ジャパン、三井住友海上火災保険、日本興亜損害保険、あいおい損害保険、ニッセイ同和損害保険、日新火災海上保険、富士火災海上保険、共栄火災海上保険、セコム損害保険、朝日火災海上保険、大同火災海上保険、ジェイアイ傷害火災保険、スミセイ損害保険、明治安田損害保険、アニコム損害保険

(出典) 各社開示資料をもとにSBI損保にて作成(一部、各社未公表数値については同社推定値にて代用)

## 伸び続けるダイレクト系損保

(単位: 百万円)



# インターネット金融における「深化」

## 業種における「深化」

より複雑な金融商品も次第にネット取引が主流に

ネット証券

1999年10月  
SBI証券がインターネット  
取引を開始

ネット銀行

2007年9月  
住信SBIネット銀行  
が営業開始

ネット損保

2008年1月  
SBI損保が  
営業開始

ネット生保



## 業種内における「深化」

業種内においても  
より多くの取引がネットに移行していく

(例)

ネット銀行:



(資産運用機能)

# iPhoneアプリも続々とリリース

## SBI証券



- 注文発注から口座管理までワンストップで利用可能
- 板画面から指値注文も可能
- 主要ネット証券のiPhone用アプリの中で唯一PTS取引に対応

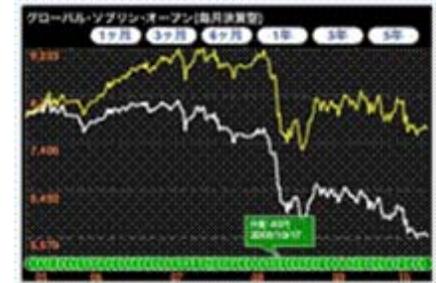


## モーニングスター

10月19日、アンドロイド端末対応アプリもリリース！



- 気になる銘柄やファンドを登録し瞬時に確認できるウォッチリスト機能を搭載
- 国内全上場株式・ETF、投資信託情報を検索可能
- 全12カテゴリーのニュース・コラム・レポート・動画が閲覧可能



## Wall Street Journal 日本版



- マクロ経済分析や鋭い論説などに定評のあるWSJの記事を日本語で閲覧可能
- 記事を一時的に保存することでオフライン環境でも閲覧可能



## (2) 株式市況に左右されにくいビジネスの開花

## ①ストック型の事業

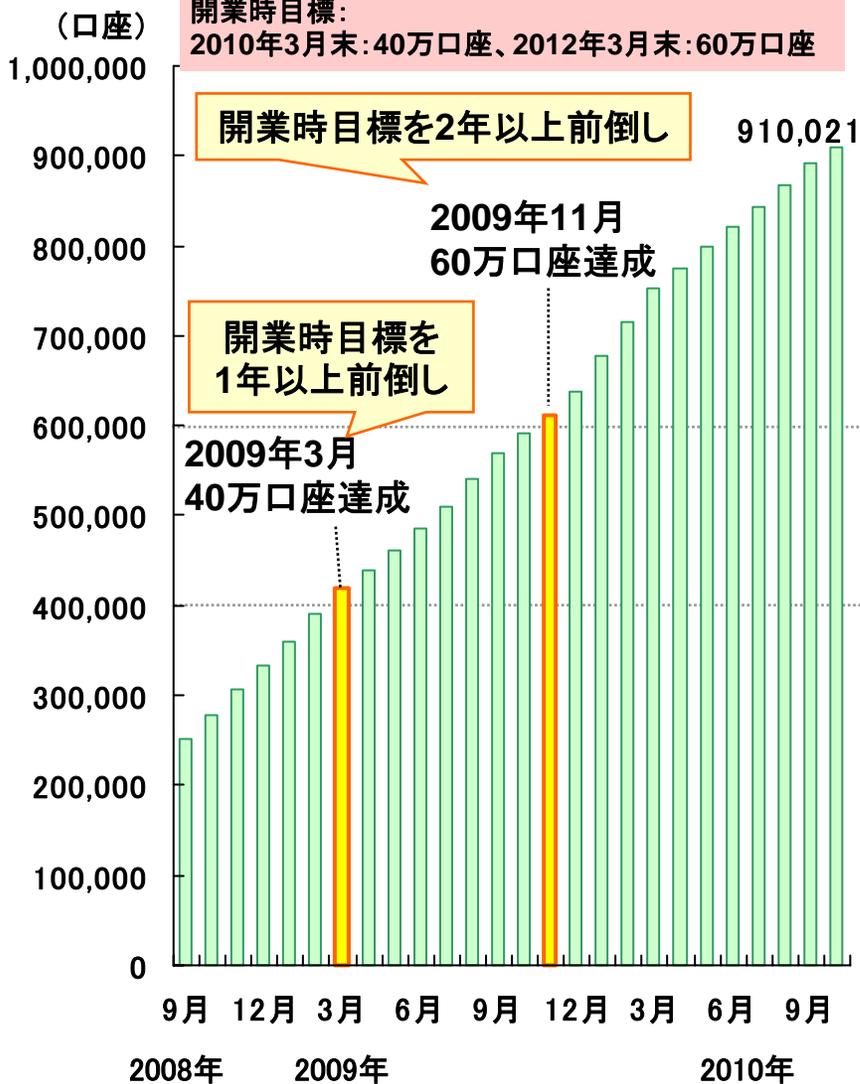
- ・住信SBIネット銀行
- ・SBIモーゲージ
- ・SBI損保

# 住信SBIネット銀行の口座数ならびに預金残高の推移

## 口座数の推移

2010年10月末:910,021口座

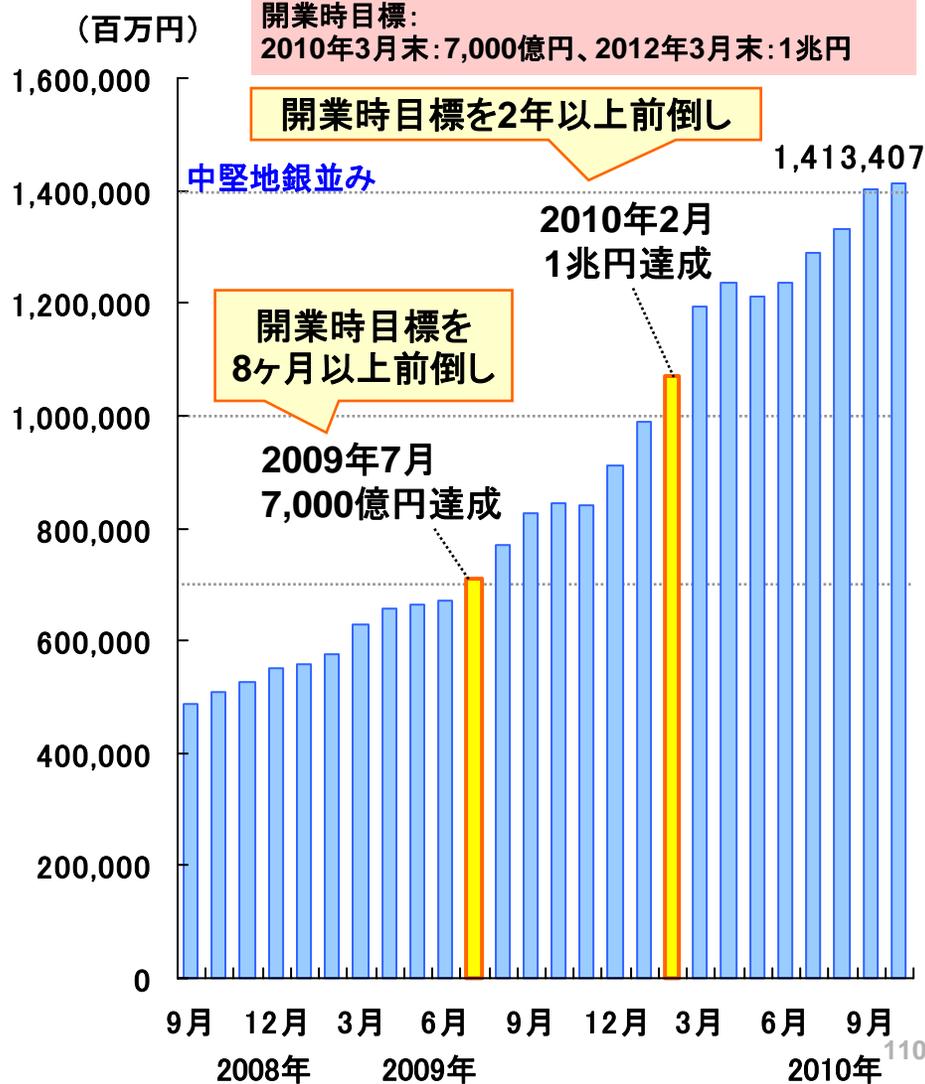
開業時目標:  
2010年3月末:40万口座、2012年3月末:60万口座



## 預金残高の推移

2010年10月末:1兆4,134億円

開業時目標:  
2010年3月末:7,000億円、2012年3月末:1兆円



# 低金利時代のネット銀行の活用

## 円普通預金(100万円未満)の金利

	大手都市銀行 3行(※2)平均	住信SBIネット	ソニー	楽天	ジャパンネット
年利(%)	0.02 ←→ 0.04		0.02	0.03	0.04

## 100万円を円定期預金(預入期間1年)に預けた場合の利息

	大手都市銀行 3行(注2)平均	住信SBIネット	ソニー	楽天	ジャパンネット
利息(円)	300 ←→ 2,260		1,920	2,100	1,900

(※1) いずれも税引き前、2010年11月4日現在の各行ウェブサイト公表資料より当社にて作成

(※2) 三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行の3行

## ～顧客満足度調査でも上位を獲得～

### ★オリコン顧客満足度ランキング・ネット銀行分野(2010年6月)

3年以内にネット銀行に口座を開設し、実際にその口座を利用して半年以内にインターネットバンキングを行った4,093人が選んだ! 顧客満足度の高いネット銀行ベスト15!!

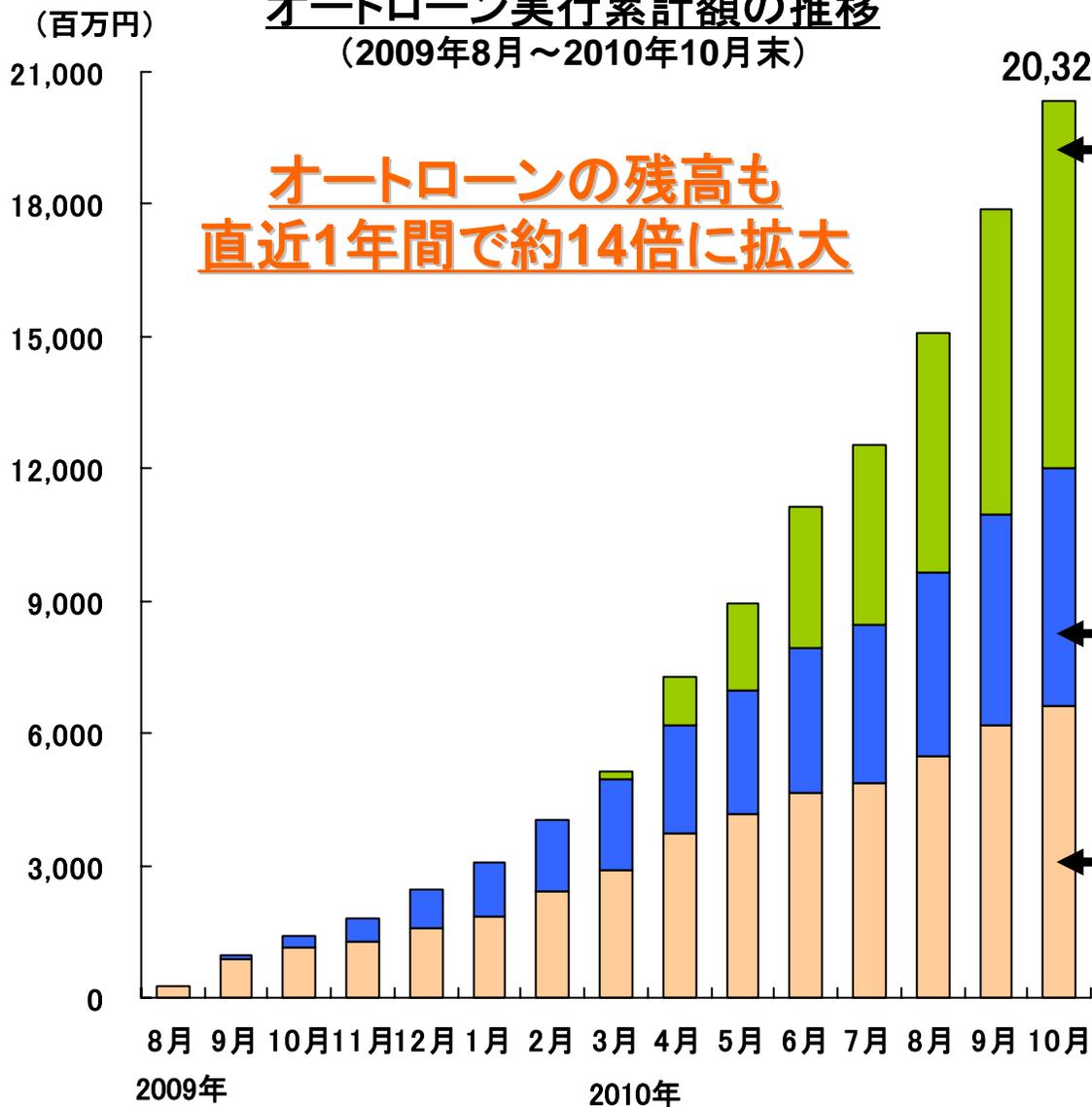
⇒ **第1位** (78.28点)



※ 第2位 セブン銀行(74.36点)  
第3位 ゆうちょダイレクト(73.51点)

# 運用手段の多様化①オートローン

**オートローン実行累計額の推移**  
(2009年8月～2010年10月末)



**オートローンの残高も  
直近1年間で約14倍に拡大**

経由: ※括弧内は割合

**SBI Credit**  
(40.9%)

中古車販売店を中心とした  
約2,500社の加盟店網を通じ、  
自動車ローンを提供

2010年7月1日 株式譲受、当社子会社化  
10月1日 (株)ジー・ワンクレジット  
サービスから商号変更

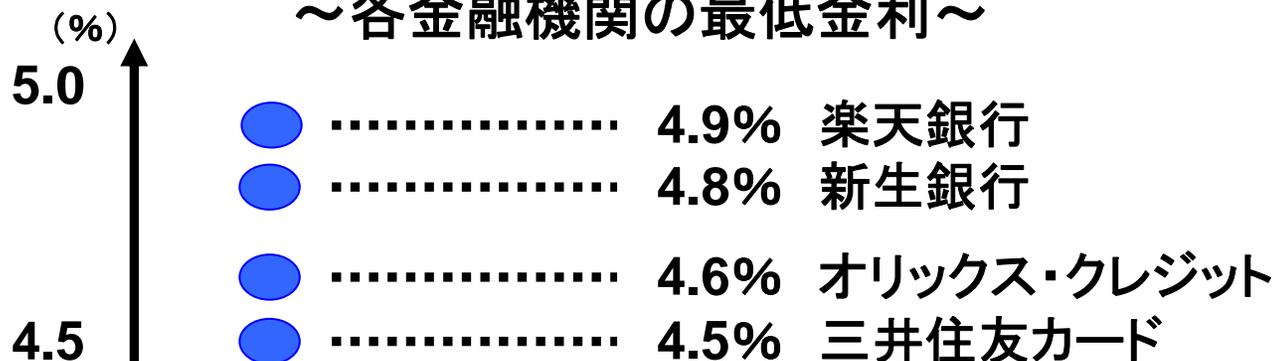
**SBI AutoSupport**  
(26.5%)

その他(信販会社経由等)  
(32.6%)

# 運用手段の多様化②カードローン

適用金利の最低金利を年5.5%から3.5%へ引き下げ。ご利用限度額500万円超～700万円以下の無担保・カードローン商品を新設。

## ～各金融機関の最低金利～



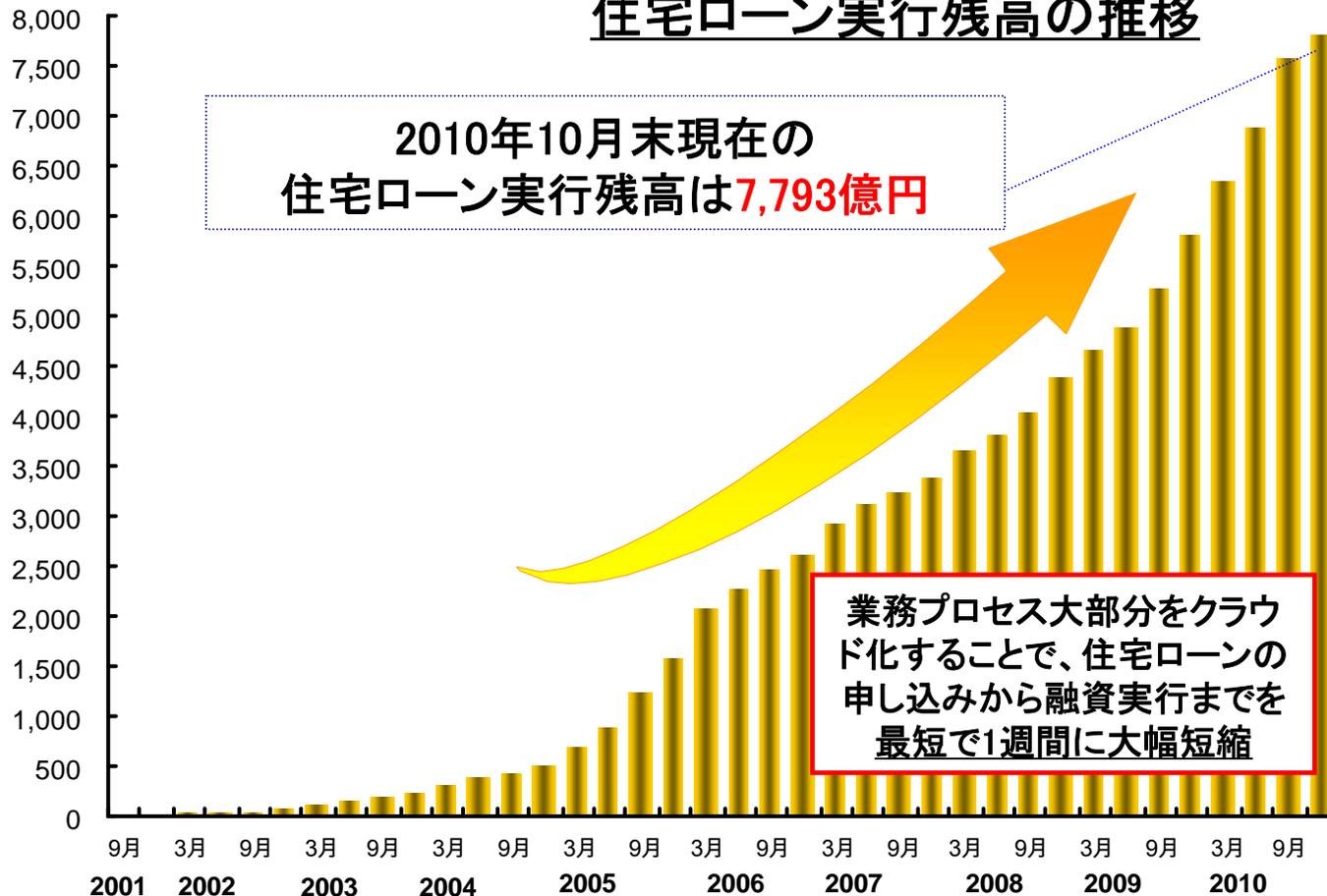
※  
新聞記事

他社のカードローン、自動車ローン、教育ローン等の借り換えを狙う

住信SBIネット銀行

# 金利優遇策を追い風に残高を一層拡大させるSBIモーゲージ

## 住宅ローン実行残高の推移



2010年10月末現在の  
住宅ローン実行残高は**7,793億円**

業務プロセス大部分をクラウド化することで、住宅ローンの申し込みから融資実行までを最短で1週間に大幅短縮

融資実行額

2010年3月期上半期  
**805億円**



2011年3月期上半期  
**1,478億円**  
(83.6%増加)

- **2.150% (※)** という最低水準の金利を提供

(※) 買取型・借入期間21~35年の2010年11月融資実行金利(団信別)

- 2010年4-9月累計「フラット35」シェア: **14.73%** 全339取扱金融機関中 **第1位**

(SBIモーゲージ調べ。シェアは融資実行金額による。保証型含む)

# 業界最安値水準、顧客満足度No.1の 自動車保険料が支持され躍進するSBI損保



週刊ダイヤモンドの「自動車保険料ランキング」で、  
**SBI損保が2年連続第1位**に選ばれました！(※1)

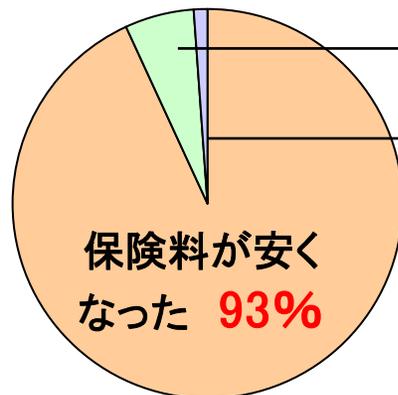


オリコン顧客満足度ランキング「保険料の満足度」で  
**SBI損保が第1位**を獲得しました！(※2)

## 週刊ダイヤモンド「自動車保険料ランキング」(2010年3月20日号より)

順位	社名	自動車保険料(車両保険なし)
1位	<b>SBI損保</b>	<b>44,480</b>
2位	アメリカンホーム保険	47,340
3位	三井ダイレクト損害保険	48,910

SBI損保のアンケートでは、**93%**の方が「**保険料が安くなった**」と回答。



ほとんど変わらない 6%

安くならなかった 1%

【調査期間】:2010/7/29~8/2  
【調査方法】インターネットアンケート【調査対象】SBI損保の自動車保険にお申込みいただいた方 2,616名

保険料算出の条件等  
車名:ホンダ フィット、型式:1.3G(GE6)、初度登録年月:平成22年2月、契約種類:新規加入、契約対象:個人(男性)、年齢:35歳、住所:東京都、使用目的:日常・レジャー、年間の走行距離:1万キロメートル、免許証の色:ブルー、適用の範囲:家族限定、等級:6等級、対人・対物賠償:無制限、人身傷害:5000万円、搭乗者傷害:1000万円、車両保険なし、新車割引、インターネット割引・証券不発行割引適用(週刊ダイヤモンド調べ) \* お客さまの条件やお選びいただいた補償内容によって保険料が異なる場合があります。

## ②バイオ関連事業

# SBIアラプロモの進捗状況

## 将来が大きく期待されるSBIアラプロモの業況

【テレビ放映情報】  
2010年11月28日(日)  
15:00~15:30



BS-TBS「神様からの宿題～無限の可能性を秘めた“ALA”にかける男達～」

(再放送: 12月5日(日)16:00~16:30)

**医** 2010年6月  
脳腫瘍診断薬 第3相臨床試験開始

**美** 2010年4月  
スキンケア Lala Solomon シリーズ 発売

**医** 今後、様々な医薬品の研究開発が具現化する見込み

**美** 2010年1月  
★2010年10月～ トライアルセット発売  
スキンケア AL SCIENCE シリーズ 発売  
第2弾 ローションモイスタチャー

**健** 2010年2月  
サプリ NatuALA-Bio 発売  
★2010年9月～ トライアルパック発売

**美** ALAを利用した新たな化粧品を研究・開発中

**美** 2009年10月  
★2010年10月～ トライアルセット発売  
スキンケア AL SCIENCE シリーズ 発売  
第1弾 エモリエントクリーム

**健** 海外複数拠点において新たなサプリメントの実証研究中

**美** 2009年1月  
美容クリーム 花蜜 発売

**美** 2009年1月  
新商品 はたらくて 発売

**医** 2009年6月  
独MedacとJV設立

- 美** …美容化粧品
- 医** …医薬品
- 健** …健康食品

2008年4月  
JV設立



# SBIバイオテック

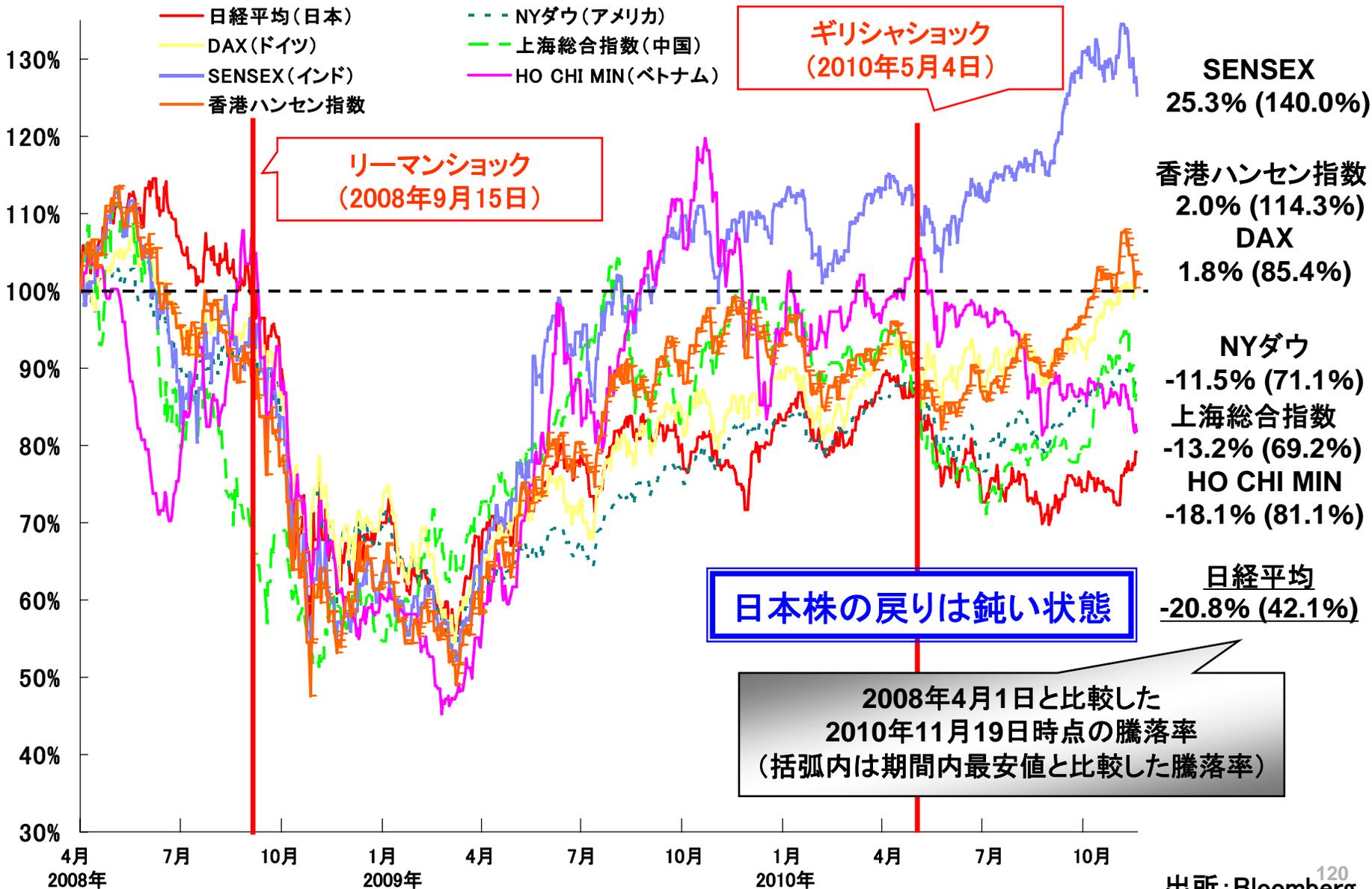
## 各国において創薬プロジェクト等が進捗

- ・**免疫調節医薬(GNKG168)**    
中国の医薬開発ベンチャーHuapu社との提携により、米国にて臨床試験(フェーズⅠ)が進行中。北米医師グループより小児急性白血病への適応拡大の要請を受け、共同臨床試験を準備中。外資製薬企業との提携交渉開始。
- ・**免疫細胞療法**   
米国ベイラー研究所との提携により、米国にて臨床試験(フェーズⅡ)治験中。現在、日本における臨床研究および臨床試験も準備中。
- ・**がんや自己免疫疾患に対する抗体の研究開発**   
米国MedImmune社(Astrazenecaグループ)と提携したILT7抗体に続き、BST2抗体についても国内外の有力製薬企業と提携交渉中。
- ・**新規抗がん剤開発**   
韓国クリスタルジェノミクス社との提携により発見したリード化合物(新薬候補の化合物)について、2010年4月に国際特許出願済。現在、国内バイオベンチャーとの提携により発見したリード化合物についても、特許出願準備中。

5. 株価については、どのように考えていますか？

# 2008年4月1日以降の各国主要指数の推移

(2008年4月1日 ~ 2010年11月19日)



# リーマンショック以降のSBIホールディングス 株価推移

(2008年9月16日 ~ 2010年11月22日)



# 公募増資(2010年6月実施)による調達資金の使途

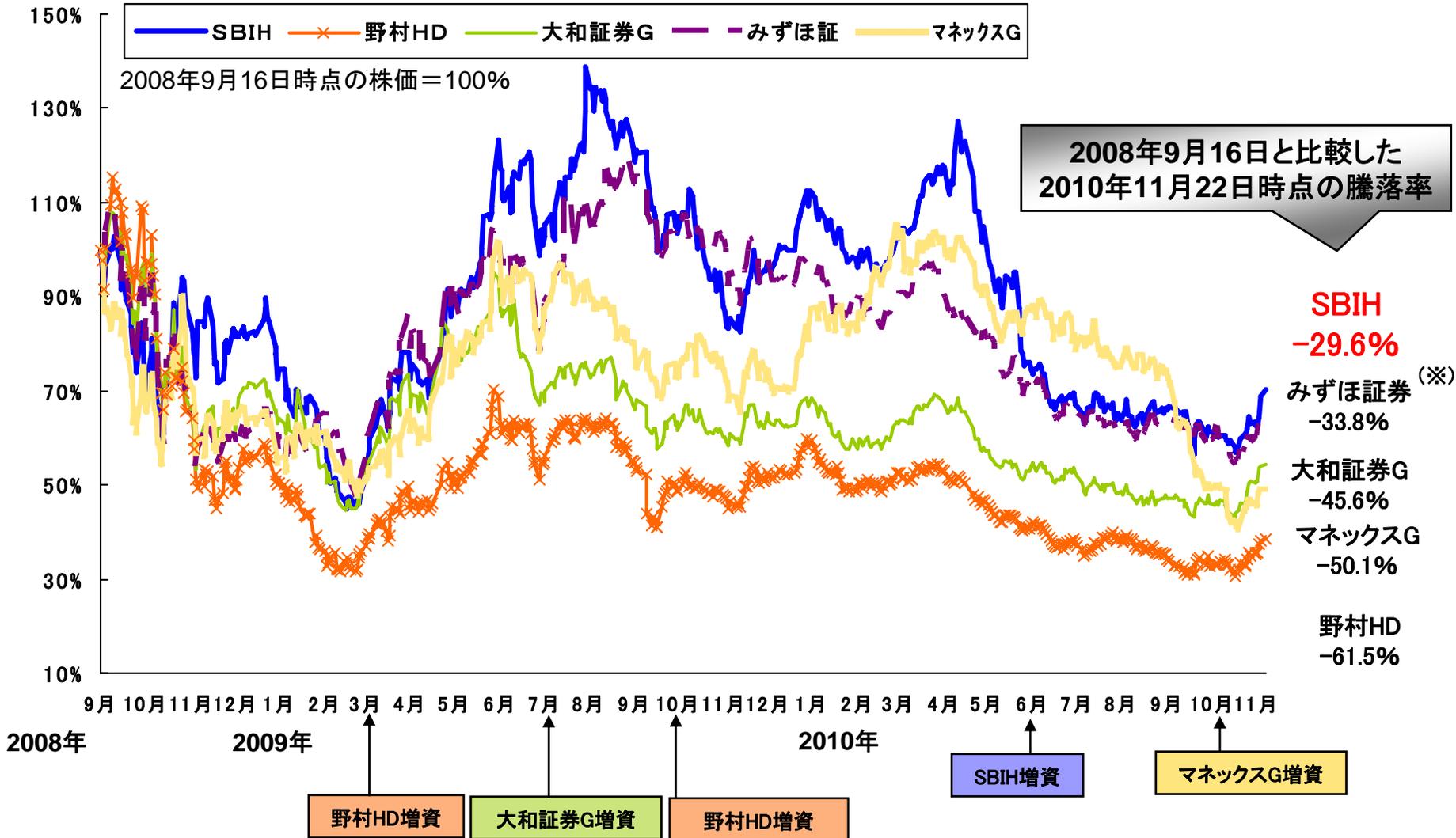
今後の中長期的な成長に向けた国内外への投資に充当

公募増資による手取金総額(6月23日入金)	353億円
	
調達資金を活用して実施した投資※	173億円
国内ファンドへの自己投資	11億円
海外ファンド(アメリカ、中国、台湾、ベトナム、ブルネイ等)への自己投資	55億円
海外金融機関(セイロン商業銀行、中国天安保険社等)への出資等	107億円

※ 11月22日までに実施した投資

# リーマンショック以降の株価推移 証券各社との比較

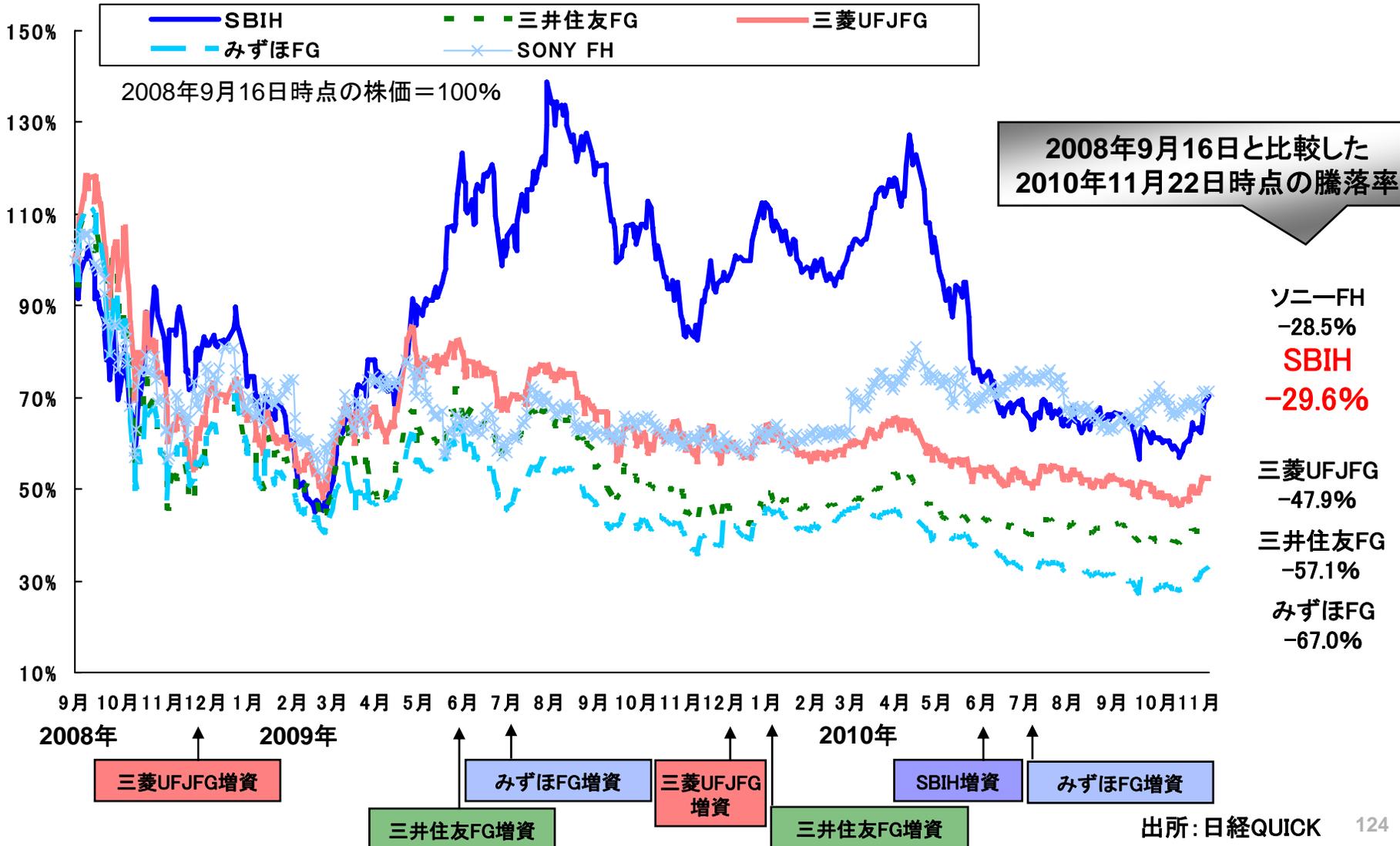
(2008年9月16日～2010年11月22日)



(\*) 2009年5月7日、旧新光証券を存続会社として旧みずほ証券と合併

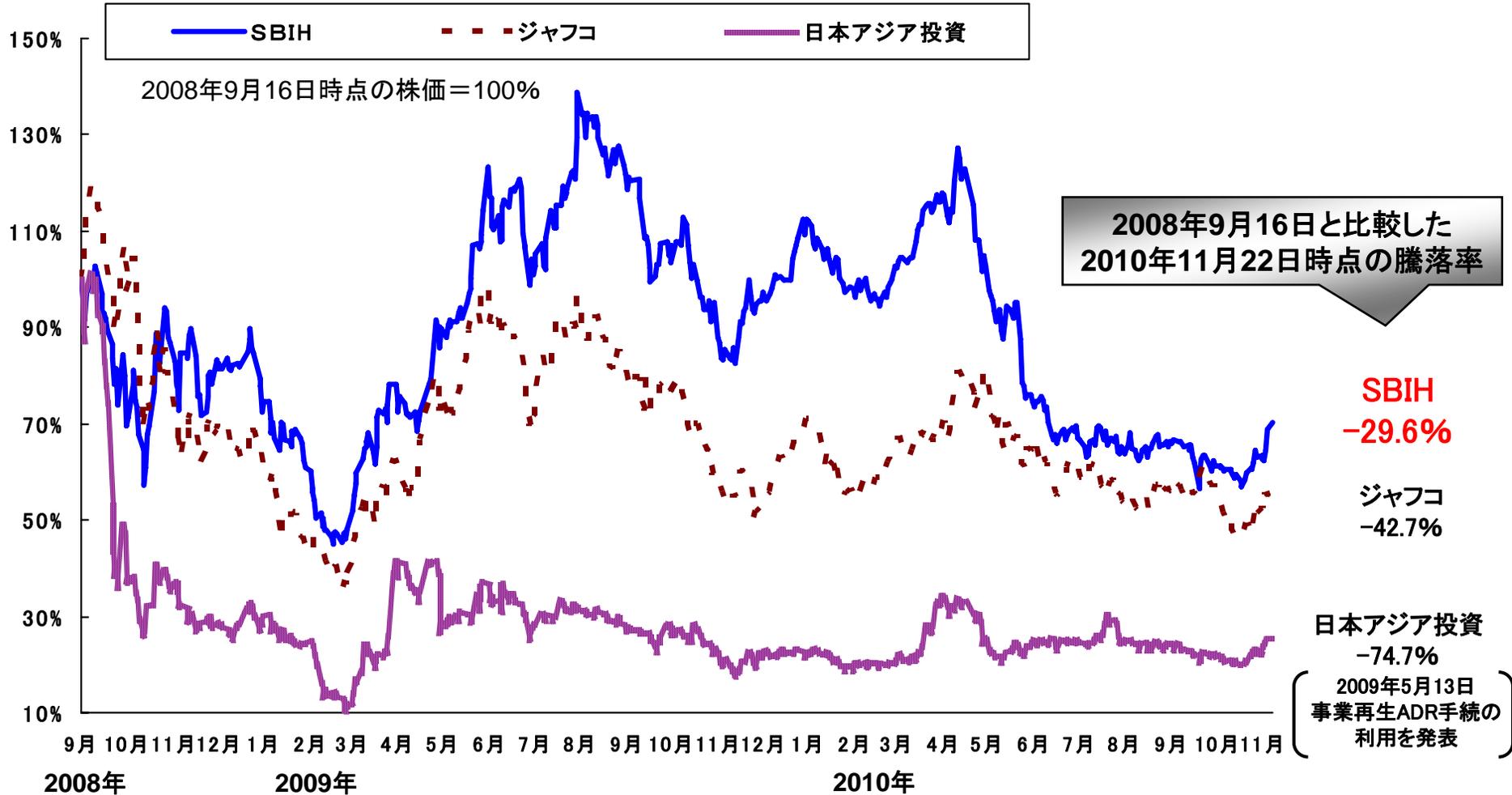
# リーマンショック以降の株価推移 メガバンクおよびソニーフィナンシャルHとの比較

(2008年9月16日～2010年11月22日)



# リーマンショック以降の株価推移 ベンチャーキャピタル各社との比較

(2008年9月16日～2010年11月22日)

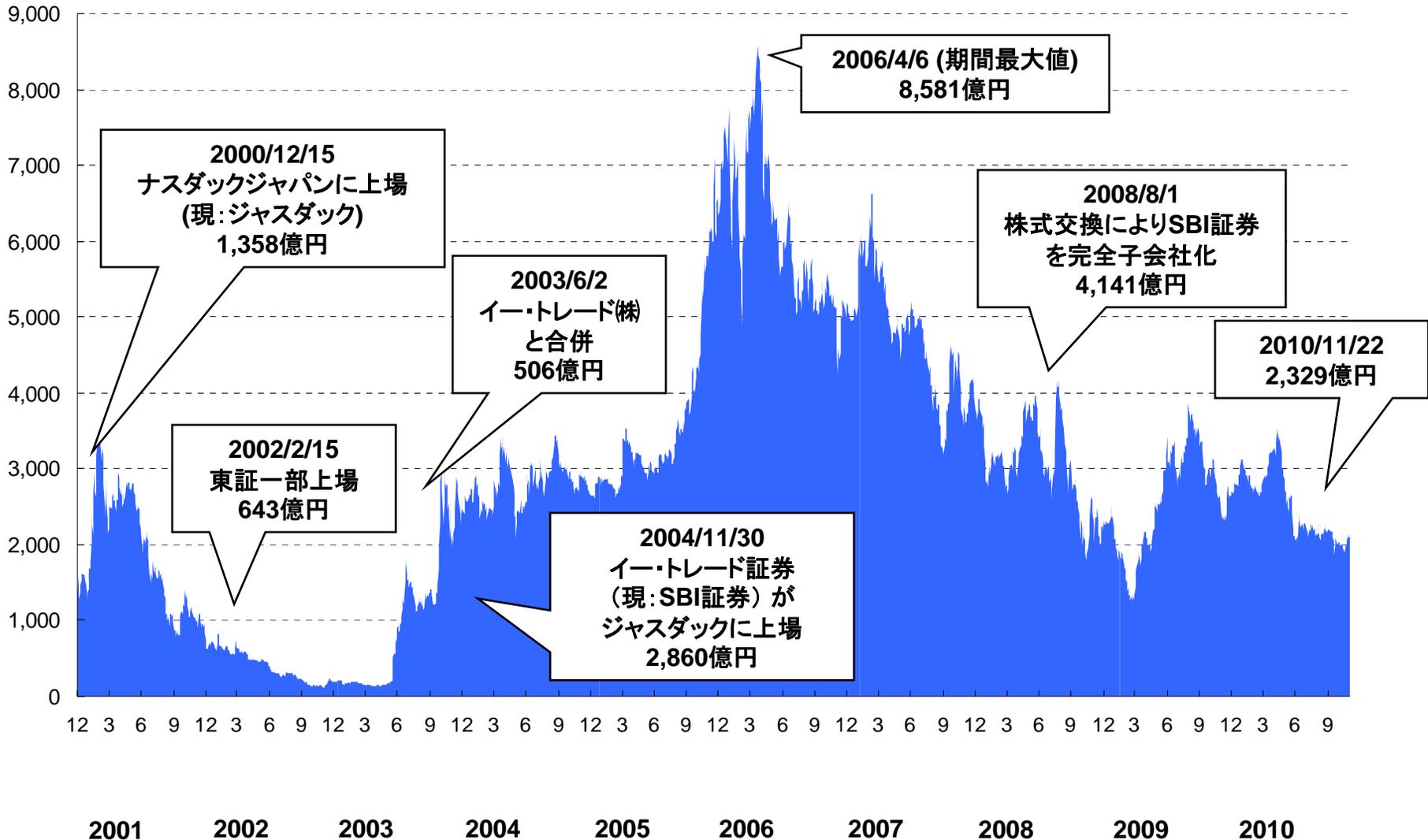


# SBIホールディングスの時価総額推移

(2000/12/15 (※) ~ 2010/11/22)

(※) ソフトバンクインベストメントとして、ナスダックジャパンに上場

(億円)



# 上場企業1000社の時価総額の伸びランキングで48位に

## (社長就任後)時価総額の伸びランキング

上場企業1000社の2010年7月16日時点の社長を対象に、在任期間または上場後の時価総額騰落率を調べたうえで、同じ期間の日経平均株価の騰落率との差をポイントで表して上位をランキングした。

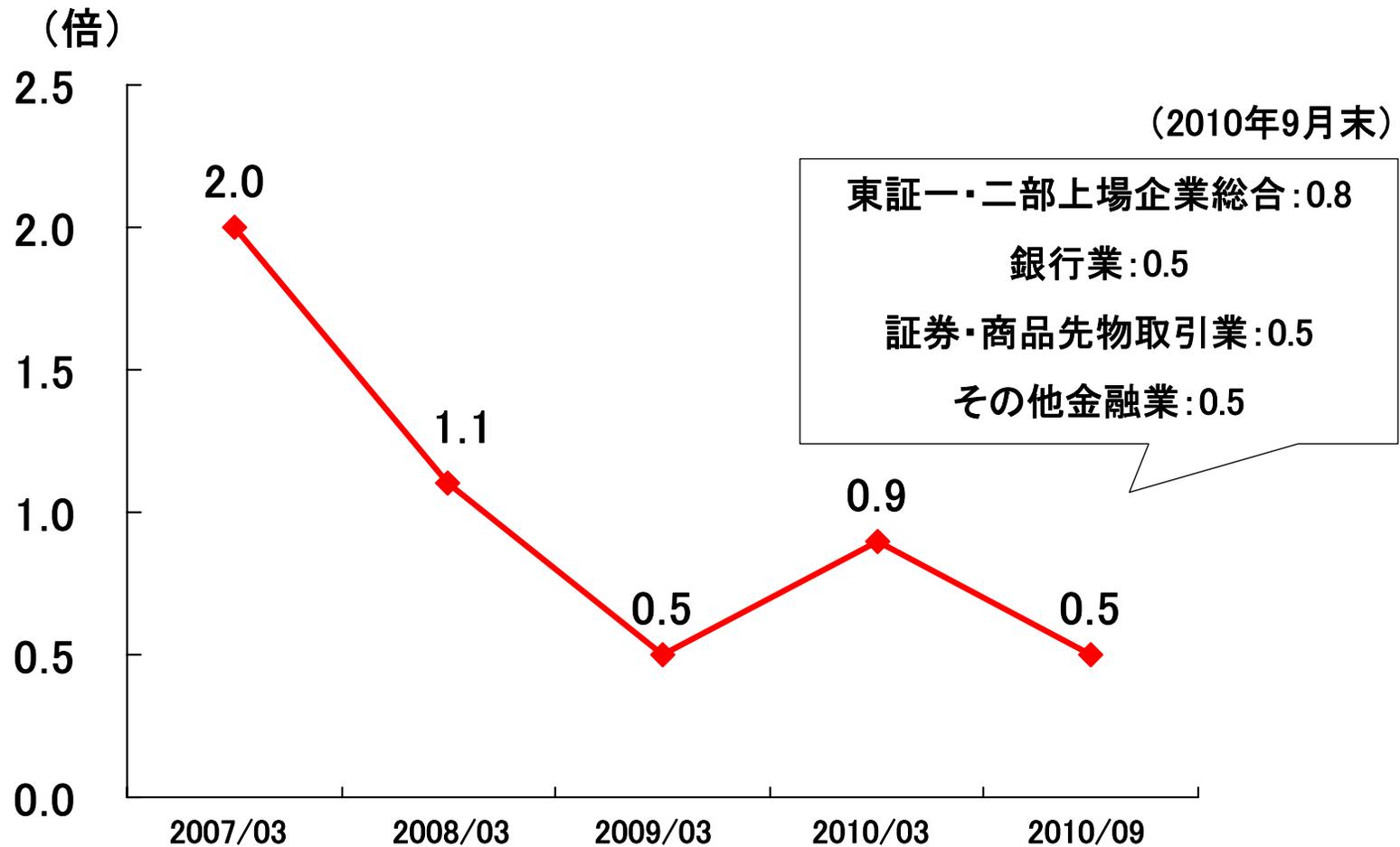
新聞記事

順位	企業名	社長名	時価総額 増減率
48	SBI	北尾吉孝	2.6倍※

※イー・トレード株式会社と合併した  
2003年6月から2010年7月16日まで

(参考)2002年2月15日の東証一部  
上場から2010年11月22日までの  
時価総額増減率は**3.6倍**

# SBIホールディングス PBRの推移

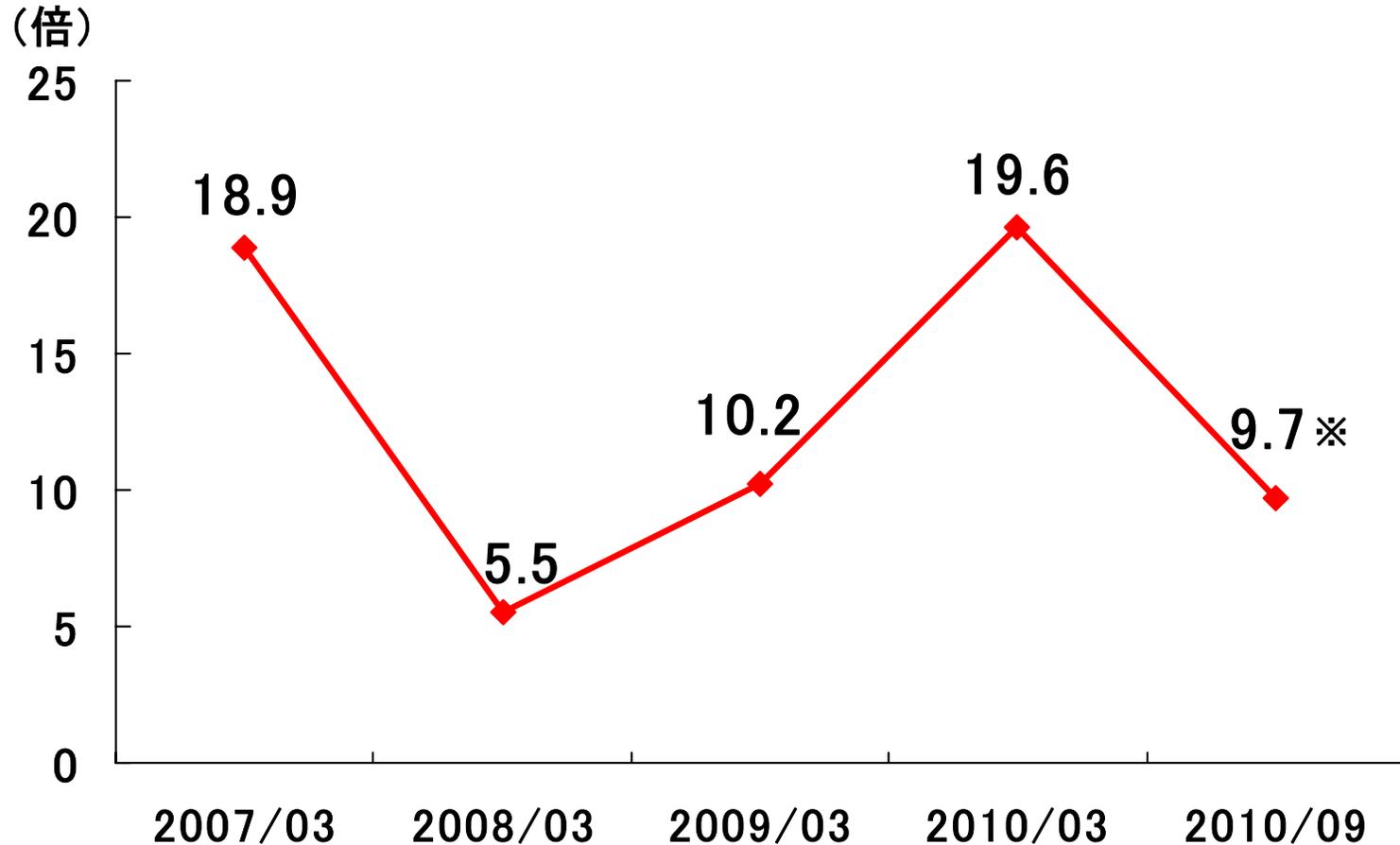


(※) PBR = 各期末当社東証終値 ÷ (各期末一株当たり純資産)

出所: 東証HP  
(連結ベース、マザーズを除く)

# SBIホールディングス 株価EBITDA倍率の推移

(株価EBITDA倍率 = 各期末当社東証終値 ÷ 1株当たりEBITDA)



※ 2011年3月期上半期のEBITDAを2倍にし、同期間の期中平均株式数で除して1株当たりEBITDAを算出

# モルガンスタンレーMUFG証券が当社レーティングを開始

(2010年8月31日～)

**2011年3月期第2四半期  
決算発表後のレポート  
(2011年10月29日発行)**

レポート記事

**10年度2Q決算：  
厳しい事業環境下、緩やかながらも利益基盤を強化**

**投資判断：Overweight**

**目標株価：13,000円**

# SBIホールディングス 株主構成の推移

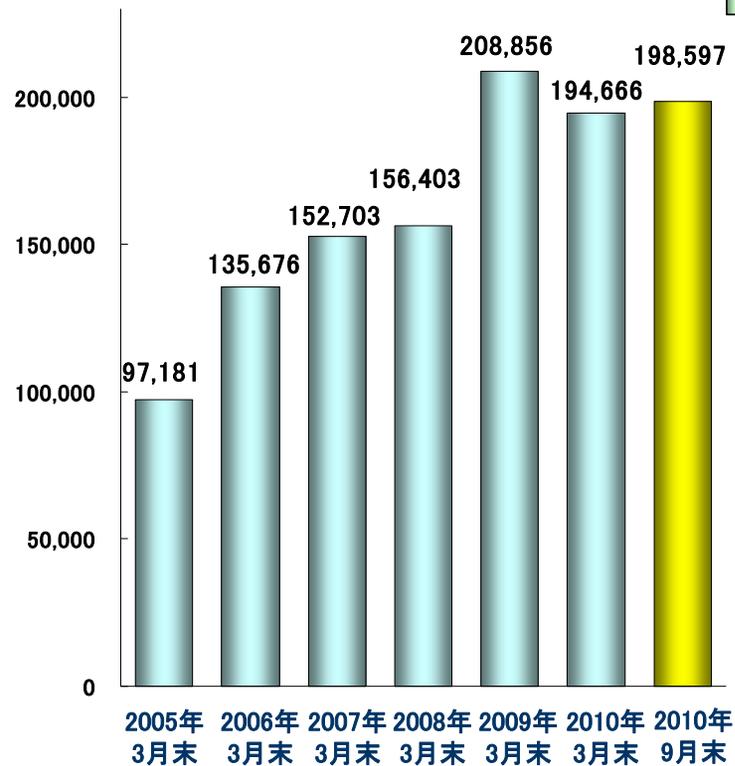


## 2009年3月期から外国人投資家の保有比率が急上昇

2008年3月末 24.2% → 2009年3月末 44.2% → 2010年3月末 45.2% → **2010年9月末 45.5%**

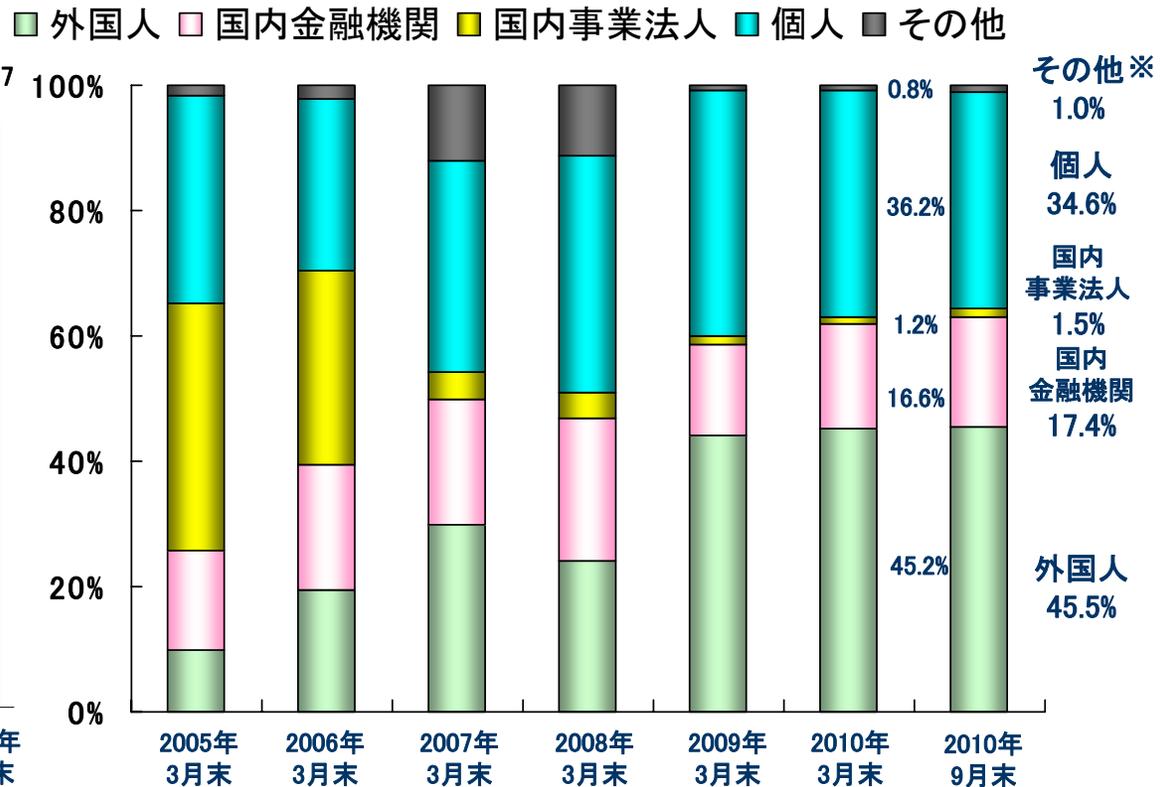
### 株主数の推移

(単位:名)



(端株主を含む)

### 株主構成比率の推移



※その他には「自己株式」0.07%を含む

*<http://www.sbigroup.co.jp>*